No.	挿図番号	図版番号	出土地点	石材	玉種	工程	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)
H-219			Ⅰ区南端付近　包含層	碧玉		剥片	1.7	0.8	0.4	0.41
H-220			1号墳周溝内(南西溝)	碧玉		剥片	1.7	1.5	0.3	0.81
H-221			Ⅰ区南東付近　包含層	碧玉		剥片	1.8	1.1	0.4	0.86
H-222			1号墳周溝内(南西溝)	碧玉		剥片	1.8	1.0	0.5	1.05
H-223			Ⅰ区南東付近　包含層	碧玉		剥片	2.8	1.5	0.7	2.76
H-224			Ⅰ区南東付近　包含層	碧玉		剥片	2.2	1.6	0.4	1.13
H-225			Ⅰ区南東付近　包含層	碧玉		剥片	1.8	1.3	0.4	1.03
H-226			Ⅰ区南東付近　包含層	碧玉		剥片	1.5	0.8	0.2	0.32
H-227			Ⅰ区南東付近　包含層	碧玉		剥片	2.9	1.9	0.4	2.37
H-228			Ⅰ区南東付近　包含層	碧玉		剥片	2.2	1.2	0.3	0.96
H-229			Ⅰ区南東付近　包含層	碧玉		剥片	2.1	1.5	0.2	0.51
H-230			Ⅰ区南端付近　包含層	碧玉		剥片	1.6	0.9	0.7	1.10
H-231			Ⅰ区南端付近　包含層	碧玉		剥片	3.0	1.7	0.7	3.38
H-232			Ⅰ区南端付近　包含層	碧玉		剥片	1.7	0.8	0.3	0.39
H-233			Ⅰ区南端付近　包含層	碧玉		剥片	1.9	1.2	0.3	0.74
H-234			Ⅰ区南端付近　包含層	碧玉		剥片	2.0	1.7	0.2	0.87
H-235			1号墳墳頂部　旧表土中	碧玉		剥片	1.0	0.5	0.2	0.11
H-236			Ⅰ区南端付近　包含層	碧玉		剥片	1.4	0.7	0.3	0.33
H-237			1号墳墳頂部　旧表土中	碧玉		剥片	0.9	0.5	0.2	0.14
H-238			Ⅰ区西端付近　包含層	碧玉		剥片	1.8	0.8	0.4	0.58
H-239			Ⅰ区南端付近　包含層	碧玉		剥片	2.3	1.2	0.4	1.25
H-240			Ⅰ区南東付近　包含層	碧玉		剥片	1.7	1.8	0.4	1.92
H-241			Ⅰ区南東付近　包含層	碧玉		剥片	3.2	1.3	0.8	2.46
H-242			Ⅰ区南端付近　包含層	碧玉		剥片	1.8	0.6	0.5	0.58
H-243			Ⅰ区南東付近　包含層	碧玉		剥片	2.0	1.2	0.3	1.22
H-244			Ⅰ区南東付近　包含層	碧玉		剥片	0.8	0.5	0.1	0.11
H-245			Ⅰ区南東付近　包含層	碧玉		剥片	1.5	1.3	0.4	0.97
H-246			Ⅰ区南東付近　包含層	碧玉		剥片	1.4	0.9	0.3	0.41
H-247			Ⅰ区南東付近　包含層	碧玉		剥片	1.5	0.9	0.4	0.69
H-248			Ⅰ区南東付近　包含層	碧玉		剥片	1.0	0.8	0.5	0.40
H-249			Ⅰ区南東付近　包含層	碧玉		剥片	1.5	1.2	0.2	0.46
H-250			Ⅰ区南東付近　包含層	碧玉		剥片	2.0	1.5	0.5	1.36
H-251			Ⅰ区南東付近　包含層	碧玉		剥片	1.1	0.8	0.3	0.30
H-252			Ⅰ区南東付近　包含層	碧玉		剥片	1.3	0.6	0.3	0.22
H-253			Ⅰ区南東付近　包含層	碧玉		剥片	1.7	0.7	0.4	0.61
H-254			Ⅰ区南東付近　包含層	碧玉		剥片	1.6	0.7	0.5	0.41
H-255			Ⅰ区南東付近　包含層	碧玉		剥片	0.9	0.6	0.1	0.11
H-256			Ⅰ区南東付近　包含層	碧玉		剥片	1.8	0.8	0.3	0.51
H-257			Ⅰ区南東付近　包含層	碧玉		剥片	1.7	1.1	0.3	0.61
H-258			Ⅰ区東壁付近　包含層	碧玉		剥片	1.2	0.7	0.2	0.19
H-259			1号墳周溝内(南西溝)	碧玉		剥片	1.8	0.7	0.3	0.59
H-260			Ⅰ区南東付近　包含層	碧玉		剥片	1.9	1.2	0.5	1.69
H-261			1号墳周溝内(南西溝)	碧玉		剥片	1.5	1.2	0.2	0.55
H-262			Ⅰ区東壁付近　包含層	碧玉		剥片	3.8	3.0	1.5	15.76
H-263			Ⅰ区南東付近　包含層	碧玉		剥片	2.5	2.0	0.4	2.29
H-264			1号墳周溝内(南西溝)	碧玉		剥片	1.6	1.2	0.5	0.61
H-265			1号墳周溝内(南西溝)	碧玉		剥片	2.3	1.6	0.7	2.48
H-266			1号墳周溝内(南西溝)	碧玉		剥片	1.8	1.7	0.4	1.37

No.	挿図番号	図版番号	出土地点	石材	玉種	工程	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)
H-267			1号墳周溝内(南西溝)	碧玉		剥片	1.5	1.2	0.5	1.04
H-268			Ⅱ区掘削土中	碧玉		剥片	2.6	1.7	0.4	2.65
H-269			Ⅰ区南東付近　包含層	碧玉		剥片	1.5	0.5	0.2	0.28
H-270			Ⅰ区南東付近　包含層	碧玉		剥片	2.3	0.9	0.8	1.35
H-271			Ⅰ区南端付近　包含層	碧玉		剥片	2.3	1.8	0.7	2.50
H-272			調査区外掘削土中	碧玉		剥片	1.8	1.7	0.4	1.70
H-273			Ⅰ区南東付近　包含層	碧玉		剥片	4.1	2.0	1.0	6.75
H-274			Ⅰ号墳南東墳裾付近盛土層	碧玉		剥片	2.4	1.3	0.5	2.38
H-275			Ⅰ区南東付近　包含層	碧玉		剥片	1.6	1.1	0.3	0.60
H-276			1号墳墳頂部　盛土層	碧玉		剥片	3.2	2.3	0.9	4.39
H-277			1号墳墳頂部　旧表土中	碧玉		剥片	2.8	1.9	0.4	2.16
H-278			Ⅰ区南東付近　包含層	碧玉		剥片	2.0	1.4	0.5	2.17
H-279			Ⅰ区南東付近　包含層	碧玉		剥片	1.9	1.5	0.2	0.73
H-280			Ⅰ区南端付近　包含層	碧玉		剥片	2.5	0.7	0.4	1.12
H-281			1号墳周溝内(北西溝)	碧玉		剥片	1.4	1.0	0.3	0.51
H-282			1号墳周溝内(北西溝)	碧玉		剥片	1.2	0.8	0.4	0.49
H-283			1号墳周溝内(南西溝)	碧玉		剥片	1.3	0.7	0.5	0.46
H-284			Ⅰ区南端付近　包含層	碧玉		剥片	1.5	1.0	0.2	0.35
H-285			Ⅰ区南端付近　包含層	碧玉		剥片	1.8	1.0	0.2	0.40
H-286			Ⅱ区掘削土中	碧玉		剥片	2.2	1.6	0.9	3.04
H-287			Ⅰ区南端付近　包含層	碧玉		剥片	2.1	1.5	0.4	1.23
H-288			Ⅰ区南端付近　包含層	碧玉		剥片	4.1	2.9	1.2	11.72
H-289			1号墳周溝内(南西溝)	碧玉		剥片	2.3	1.5	0.5	1.72
H-290			Ⅰ区南東付近　包含層	碧玉		剥片	1.7	1.4	0.6	1.27
H-291			Ⅰ区南東付近　包含層	碧玉		剥片	1.8	1.2	0.3	0.86
H-292			1号墳墳頂部　旧表土中	碧玉		剥片	1.1	0.8	0.1	0.12
H-293			Ⅰ区南端付近　包含層	碧玉		剥片	1.8	1.5	0.4	1.35
H-294			Ⅰ区南端付近　包含層	碧玉		剥片	2.4	1.4	0.5	1.92
H-295			Ⅰ区南端付近　包含層	碧玉		剥片	1.5	0.8	0.2	0.28
H-296			Ⅰ区西端付近　包含層	碧玉		剥片	1.4	1.2	0.6	0.99
H-297			Ⅰ区西端付近　包含層	碧玉		剥片	1.6	0.7	0.2	0.32
H-298			Ⅰ区南東付近　表土中	碧玉		剥片	1.7	1.0	0.1	0.34
H-299			Ⅰ区南東付近　表土中	碧玉		剥片	2.1	1.2	0.7	1.48
H-300			Ⅱ区掘削土中	碧玉		剥片	1.9	0.9	0.3	0.52
H-301			Ⅰ区南端付近　包含層	碧玉		剥片	1.2	0.9	0.2	0.25

合計300点　(内26点はⅡ区出土)

＜めのう＞

No.	挿図番号	図版番号	出土地点	石材	玉種類	工程	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)
M-1	103-2	70	Ⅰ区南端付近　包含層	めのう		側面打裂（側面打製品）	2.4	2.8	2.5	24.84
M-2	103-1	70	Ⅰ区東壁付近　包含層	めのう	勾玉	側面打裂（側面打製品）	3.5	2.4	1.8	14.77
M-3	103-3	70	Ⅰ区南端付近　包含層	めのう	勾玉	側面打裂（側面打製品）	3.9	2.5	1.2	10.83
M-4	103-4	70	Ⅰ区南西付近　包含層	めのう	勾玉	側面打裂（調整剥片）	4.2	3.3	2.2	31.66
M-5			Ⅰ区南端付近　包含層	めのう	勾玉	側面打裂（調整剥片）	3.4	1.8	1.4	10.46
M-6			Ⅱ区掘削土中	めのう		素材剥片（板状）	3.6	1.4	1.2	9.69
M-7			Ⅰ区南端付近　包含層	めのう		素材剥片（板状）	3.0	2.6	1.3	11.02
M-8			Ⅰ区南東付近　包含層	めのう		素材剥片（板状）	5.5	3.2	1.8	34.09
M-9			Ⅰ区南端付近　包含層	めのう		素材剥片（板状）	3.4	2.7	1.6	18.08
M-10			Ⅰ区東壁付近　包含層	めのう		素材剥片（板状）	3.6	3.2	1.3	15.85
M-11			Ⅰ区南東付近　包含層	めのう		素材剥片（礫状）	6.3	3.8	2.7	56.11
M-12			Ⅱ区掘削土中	めのう		素材剥片（礫状）	5.1	2.7	2.1	37.69
M-13			Ⅱ区掘削土中	めのう		素材剥片（板状）	3.7	1.7	1.4	11.88
M-14	103-5	70	Ⅰ区南端付近　包含層	めのう		素材剥片（礫状）	3.5	3.6	2.8	33.40
M-15	103-6	70	Ⅰ区南端付近　包含層	めのう		素材剥片（礫状）	3.8	3.0	2.5	35.31
M-16			Ⅰ区南端付近　包含層	めのう		素材剥片（板状）	5.6	2.8	1.4	28.48
M-17			Ⅰ区南端付近　包含層	めのう		素材剥片（板状）	4.0	2.8	1.1	14.35
M-18			Ⅰ区東壁付近　包含層	めのう		素材剥片（礫状）	4.4	3.0	2.0	29.95
M-19	103-7	70	1号墳周溝内（南西溝）	めのう		石核（礫状）	3.8	4.7	3.9	104.59
M-20			Ⅰ区南端付近　包含層	めのう		石核（板状）	7.3	4.6	2.3	62.28
M-21			Ⅰ区南東付近　包含層	めのう		石核（礫状）	5.1	5.1	3.4	87.29
M-22			Ⅰ区南端付近　包含層	めのう		剥片	2.8	1.7	1.4	8.62
M-23			1号墳周溝内（南西溝）	めのう		剥片	4.1	2.9	2.4	22.46
M-24			Ⅰ区北東付近　包含層	めのう		剥片	4.8	2.5	1.7	16.60
M-25			Ⅱ区掘削土中	めのう		剥片	4.1	2.2	1.7	11.53
M-26			1号墳墳頂部　旧表土中	めのう		剥片	3.8	3.5	2.0	18.28
M-27			Ⅱ区掘削土中	めのう		剥片	3.8	1.9	1.2	7.09
M-28			1号墳墳頂部　旧表土中	めのう		剥片	3.7	1.7	1.2	6.89
M-29			Ⅰ区南端付近　包含層	めのう		剥片	3.2	1.8	1.5	6.11
M-30			1号墳周溝内（南西溝）	めのう		剥片	2.8	2.2	1.1	5.19
M-31			Ⅱ区掘削土中	めのう		剥片	4.5	2.3	1.5	19.64
M-32			1号墳墳頂部　旧表土中	めのう		剥片	2.2	1.6	0.6	1.40
M-33			1号墳墳頂部　表土中	めのう		剥片	3.2	1.7	1.1	5.37
M-34			1号墳墳頂部　旧表土中	めのう		剥片	2.8	1.9	0.9	3.42
M-35			1号墳周溝内（南東溝）	めのう		剥片	3.5	2.0	1.2	5.62
M-36			Ⅰ区南端付近　包含層	めのう		剥片	3.3	2.2	0.8	6.25
M-37			1号墳墳頂部　旧表土中	めのう		剥片	2.0	1.3	0.4	0.95
M-38			Ⅰ区東壁付近　包含層	めのう		剥片	2.9	2.1	1.0	4.57
M-39			1号墳周溝内（南西溝）	めのう		剥片	3.3	1.0	0.3	1.84
M-40			Ⅰ区南東付近　包含層	めのう		剥片	3.4	1.8	1.2	6.34
M-41			Ⅰ区南端付近　包含層	めのう		剥片	3.3	2.5	0.6	6.16
M-42			1号墳墳頂部　旧表土中	めのう		剥片	2.8	2.5	0.6	4.79

No.	挿図番号	図版番号	出土地点	石材	玉種類	工程	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)
M-43			Ⅰ区南端付近　包含層	めのう		剥片	1.7	1.5	0.7	2.57
M-44			Ⅰ区南東付近　包含層	めのう		剥片	2.2	2.0	0.5	2.12
M-45			Ⅱ区掘削土中	めのう		剥片	4.1	3.2	0.7	9.09
M-46			1号墳墳頂部　旧表土中	めのう		剥片	3.2	2.4	0.5	4.46
M-47			1号墳墳頂部　旧表土中	めのう		剥片	2.3	1.8	0.6	2.04
M-48			Ⅰ区南端付近　包含層	めのう		剥片	3.1	2.0	0.8	4.05
M-49			Ⅰ区南端付近　包含層	めのう		剥片	1.8	1.5	0.4	1.17
M-50			1号墳墳頂部　旧表土中	めのう		剥片	3.0	1.5	0.7	3.36

合計50点　（内7点はⅡ区出土）

＜水晶＞

No.	挿図番号	図版番号	出土地点	石材	玉種類	工程	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)
S-1	104-1	70	Ⅰ区南西付近　包含層	水晶		素材剥片（板状）	4.2	3.0	1.5	14.99
S-2			1号墳周溝内（南東溝）	水晶		剥片	1.8	1.4	0.6	1.59
S-3			Ⅱ区表土中	水晶		剥片	2.1	1.0	0.5	1.08
S-4			Ⅰ区南端付近　包含層	水晶		剥片	2.2	1.2	0.7	2.17

合計4点　（内1点はⅡ区出土）

＜黒曜石剥片＞

No.	挿図番号	図版番号	出土地点	石材	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)
K-1			1号墳周溝内（北西溝）	黒曜石	5.1	2.3	1.1	12.78
K-2			Ⅱ区掘削土中	黒曜石	2.9	1.8	0.9	4.12
K-3			1号墳周溝内（南西溝）	黒曜石	1.9	1.8	0.6	1.97
K-4			Ⅱ区掘削土中	黒曜石	2.2	1.7	0.7	2.38
K-5			Ⅰ区南端付近　包含層	黒曜石	2.9	2.2	0.6	2.92
K-6			Ⅰ区南端付近　包含層	黒曜石	1.6	1.0	0.2	0.38
K-7			1号墳南西墳裾付近	黒曜石	3.4	1.3	0.5	2.05
K-8			1号墳周溝内（南西溝）	黒曜石	2.1	1.2	0.3	0.97

合計8点　（内2点はⅡ区出土）

第3節　小　結

今回の調査成果と課題について要点を整理し若干の所見を述べまとめにかえる。

＜縦の木古墳群について＞

1号墳の築造時期　報告のとおり、古墳に直接伴う出土遺物が少なく時期比定には慎重を要する。しかし、墳丘盛土が旧表土層である古墳時代前期初頭（草田6～7期）頃の遺物包含層の上層に施されていることから、この時期が古墳築造の上限を示すものと推定される。一方、埋葬施設である土壙上方から出土した土師器の杯形土器は古墳時代中期頃、土壙底面から出土した鉄鏃は古墳時代前半期（須恵器出現以前）、同じく刀子は中期頃の様相を呈するものと判断された。墳丘・周溝周辺から古墳時代の須恵器がほとんど出土しないこともこれらを傍証する。

したがって、遺構、遺物の諸特徴から、縦の木1号墳は古墳時代中期前半頃に築成された可能性が高いと思われる。

2号墳の築造時期　周辺からは古墳に伴う遺物が一切出土せず判然としない。1号墳との前後関係も層序関係に切り合い等が認められず不明と言わざるを得ない。ただし、1号墳に近接し、類似する規模や形態の墳丘が想定されることから、1号墳とそう遠からぬ時期（古墳時代中期頃）の築造と推定して大過ないと思われる。

その他の問題　1号墳・2号墳の周溝内で確認された、いわゆる「陸橋」状の構造はその機能と意味に不明な点が多い。特に1号墳周溝内のものは、墳丘の北隅と南隅をあえて外した位置に認められた。はたして墓道としての機能があるのか、観念的、信仰的背景がなせる構造なのか、如何なる系譜関係の中で生まれたのかなど、今後の検討課題といえよう。

また、1号墳北西溝の埋土中から据え置かれたような状況で出土した奈良時代以後の須恵器平瓶や、南東溝から南西溝において溝がある程度埋没した段階の土層から検出された多量の炭化物、焼土塊は何を物語るのであろう。いずれも古墳築造時期に直接関係しない状況が認められるので、築造後の古墳周辺で何らかの供献的、祭祀・呪的行為がなされたことを想起させるものである。こうした点についても今後検討していく必要がある。

＜Ⅰ区包含層出土の玉作関係資料について＞(註1)

古墳時代前期初頭頃の遺物包含層からは、碧玉、瑪瑙、水晶からなる約320点の玉類未成品・剥片、また玉作に関わる工具の可能性が伺える鉄器（錐状製品）や石器（台石、磨石、砥石）が出土した。未成品からは、碧玉製管玉・勾玉、瑪瑙製勾玉の製作意図も看取された。これは、この古墳群付近の緩斜面上に玉作工房跡など何らかの玉作関連遺構の存在を示唆する。

既述のとおり、玉作関係遺物の全てが古墳時代前期初頭頃の所産と断定はしかねるが、出土状況を検討する限りその蓋然性は極めて高い。だとすれば、出雲地域の古墳時代における玉作開始期の様相を知るうえで注目すべき資料に位置付けられる。

出雲における古墳時代の玉生産に関しては、近年の発掘調査の増加に伴い関係遺跡、遺物が飛躍的にその数を増しつつある。こうした状況を視野に入れ、近年では米田克彦氏によって網羅的な資料集成・分析が試みられ、その実態が徐々に明らかになりつつある。

（参考：米田克彦「出雲における古墳時代の玉生産」『島根考古学会誌』第15集　1998年

＊以下、文中の「」内は、同論文から引用）

ここでは、米田氏による最新の研究成果を参考にして、当遺跡出土の玉作関係資料の位置付けを

検討する。

当遺跡の資料について特筆すべき点としては、まず、古墳時代前期初頭頃という時期の古さが挙げられる。すなわち、出雲地域において古墳時代前期にさかのぼる玉作遺跡は、古墳時代中期以後に比べその数は極めて少ないのである。これまでに、出雲地方の弥生時代終末から古墳時代前期にかけての主要な玉作遺跡は二例しか知られず、どちらも八束郡玉湯町玉造地内国史跡内で発見されている。史跡出雲玉作跡宮ノ上地区（Ｆ地区４－ｄ層、Ｅ地区Ｔ５区16層等）と史跡出雲玉作跡向畑地区（71ＣⅡ号工房跡）がそれである。両遺跡とも玉の原材産出地である花仙山にほど近い丘陵部に位置しており、当遺跡と直線距離にして約２㎞程しか離れていない。時期的には土器の詳細な検討を経なければなるまいが、両遺跡とおよそ近い時期と考えられる。この点は、出雲における古墳時代の玉作は玉湯町花仙山周辺で開始されたとする従来の知見と矛盾しない。

また、当遺跡から検出された玉材が碧玉、瑪瑙、水晶である点、未成品から推定される玉の種類に碧玉製の管玉・勾玉、瑪瑙製の勾玉があげられる点（水晶製は不明である）については、史跡出雲玉作跡向畑地区と共通点が多い。これは、弥生時代終末期頃の玉材である碧玉・水晶に加え、瑪瑙を使用することを主な表徴とする古墳時代前期（米田氏による出雲玉作３期）の様相と一致しているといえよう。

一方、玉の製作技術の比較という視点に立つと、米田氏の研究成果と齟齬の生じる点がある。製作工程全体の復元を試みないで、包含層出土の限られた未成品の一部から指摘するのは早計かもしれないが、あえて指摘しておきたい。

それは、碧玉製勾玉未成品（一次研磨前後）にみる腹部のエグリの整形方法に関して端的に表れる。

この工程における勾玉未成品の形状は、整形方法の相違により次のように分類されてきた。

一つは平面形状がＣ字形を呈するもの（調整剥離によって勾玉腹部のエグリを成形するもの）で、もう一つは半月形を呈するもの（勾玉背部に調整剥離はあるが、腹部にはあまり認められず、半月形のものを研磨してエグリを成形すると推定されるもの）である。

米田氏の研究によれば古墳時代を通じ出雲地域では、「安来地域はＣ字形、東出雲地域はＣ字形と半月形、花仙山周辺地域は半月形、大東地域はＣ字形というように今のところ地域差を明確に示」すものと指摘された。

ところが、今回出土した一次研磨前後の未成品を見ると、明瞭に半月形を呈するものは無く、むしろＣ字形に近いものが顕著に認められる。当遺跡を花仙山周辺遺跡としてとらえるならば、唯一の例外ということになる。

一方、瑪瑙製勾玉について検討したところ、資料は限られるが、いずれもＣ字形よりも半月形に近い形状が伺える。この点については、「出雲のほとんどの玉作遺跡では、瑪瑙製勾玉は半月形に整形して研磨」を行っているとした米田氏の見解と一致する。

しかし、当然の結果として「花仙山周辺では勾玉は石材に関係なく、側面打裂工程において半月形に整形する」という見解とは矛盾が生じる。そして、むしろ「安来地域・東出雲地域（勝負遺跡）・大東地域の勾玉は、碧玉ではＣ字形、瑪瑙では半月形に整形するというように、石材によって製作技術が異なる」という様相と共通性が生じてくる。

こうした事象は、花仙山周辺の玉作遺跡においても、玉の製作技術について遺跡間で何らかの差

違が存在しうることを示唆している。

これらが何に起因して生じる差違なのか、時期差か、地域差か、工人集団による差か、石材質による物理的制約によるものか、等々、これまでの研究成果に再考を促す結果といえる。

以上、些細な事柄ではあるが、樅の木古墳群付近出土の玉作関係資料に関する所見を述べた。

古墳時代の玉作関係遺跡は今後もその数を増すものと思われる。その都度、詳細な観察、分析、類例の集成を試み、通説の検証を重ねて玉生産の実態に迫ることが肝要と思われる。

（註）

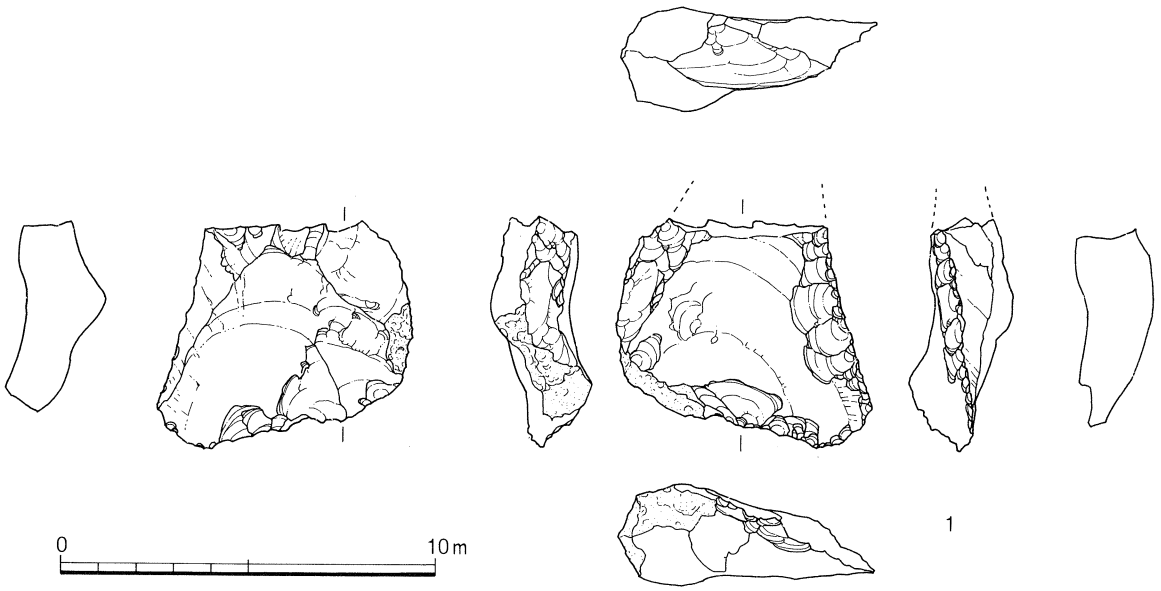
1．玉類の分類方法については、柳浦俊一氏の御教示を得た。

2．石器の分類、図化については、丹羽野裕氏の御教示、御協力を得た。

≪ 追　記 ≫

報告書作成に伴う遺物整理中、新たに打製石器１点が検出されたので、追記して報告する。(註2)

下図は、樅の木１号墳の墳頂部盛土下の旧表土（黒色土）中から出土した玉髄製のスクレーパーと推定される石器である。自然面を残す大形の剥片を素材に製作されている。上端部は欠損しており全体の形状は定かでないが、元来は先が尖ったような形状を呈していた可能性がある。背面、腹面ともに同方向からの三角形状の剥離面を顕著に認めることができる。黄褐色を呈し、長さ5.6cm、幅7.2cm、厚さ2.0cm、重量83.42ｇを測る。



追加図　1号墳墳頂部盛土下旧表土出土石器実測図（S＝1：2）

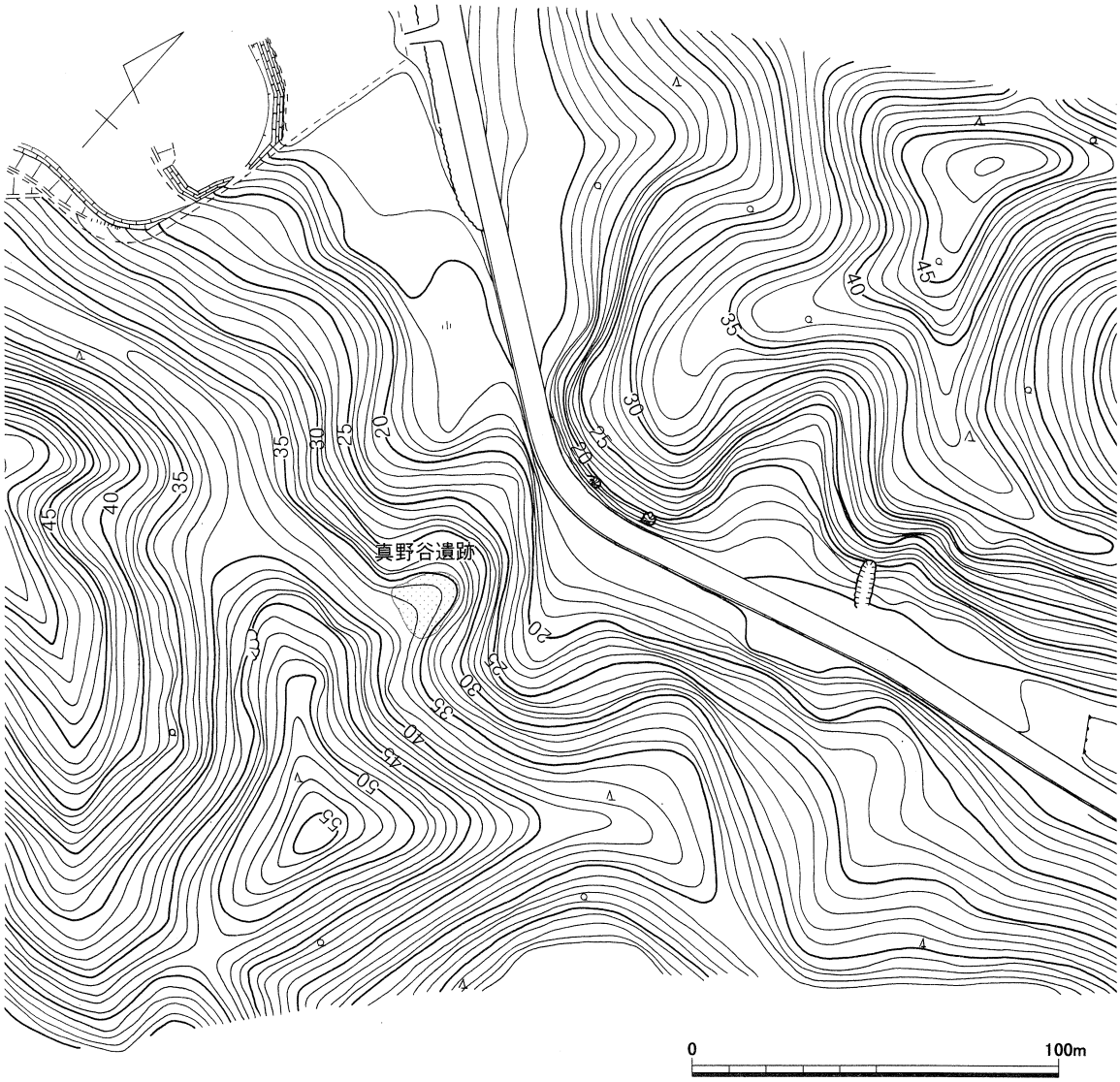
第８章　真野谷遺跡

第１節　調査の経過と概要

真野谷遺跡は八束郡玉湯町大字布志名の低丘陵上に位置している。宍道湖からは約0.5㎞のところで、すぐ下には県道（旧国道）がはしっており、東には樅の木古墳群がある。

現地調査は平成10年４月14日から開始した。まず最初に、諸条件整備の遅れにより草木が茂っている状況であったため、木の伐採・草刈りから取りかかった。それと並行して、遺跡の正確な範囲を確認するために４月15日～４月17日まで試掘調査を行った。試掘トレンチは全部で10か所設定した。その結果、第１～第９トレンチでは顕著な遺構・遺物が存在しないことがわかったが、遺跡の東端の第10トレンチでは１基の石棺が確認された。そこで第10トレンチ周辺のマウンド状の高まりえを中心に約400㎡を本調査の範囲とした。

本調査は11月５日より開始し、石棺１基と溝状遺構を検出・調査した。そして12月17日に平板測量を行いすべての調査を終了した。



第109図　真野谷遺跡位置図（S＝1/2000）

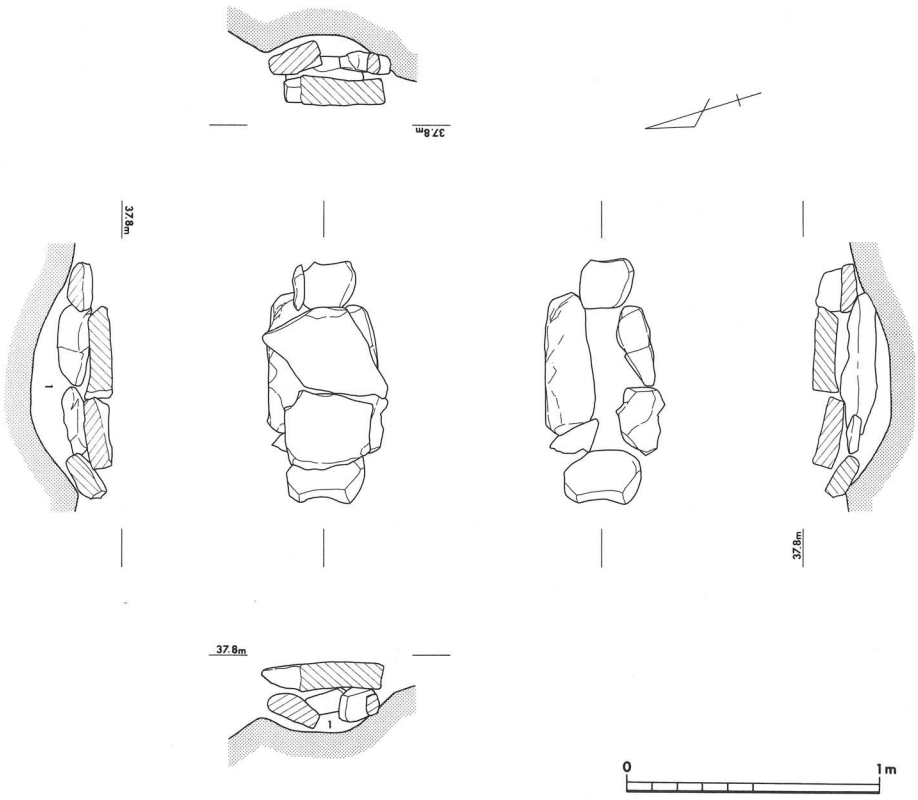
第２節　調査の結果

調査の結果、石棺を１基と溝状遺構を確認した。以下、遺構ごとに述べる。

１．石棺

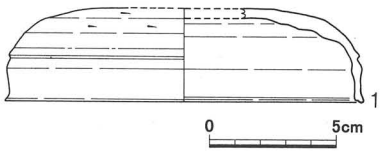
（石棺） 本調査区の北側緩斜面、標高37ｍのところで確認した。石棺は主軸がＮ－73°－Ｗでほぼ東西方向に向いている。棺の規模は内法で長さ55㎝、幅12㎝、深さ17㎝を測る小形のものである。棺は大小合わせて６つの厚みのある石で構成され、２枚の蓋石で覆われていた。小口石は側石の外側に配されていた。側石は東側の１つだけが立てられていたが、他のものは横に倒して使われていた。側石が土圧により倒れた可能性も考えられるが、石材が厚いことと掘りかたがなだらかであることから、はじめから石を倒して使ったものと考えられる。検出時には既に棺内に土砂が流入していた。

（墓壙） 石棺を納めている墓壙は地山をわずかに掘り込んだもので楕円形をなしている。



第110図　石棺実測図（S＝1/30）

（出土遺物） 棺外から須恵器の坏蓋の破片が出土した。破片のため詳細は不明であるが、天井部の形態は直線的で、口唇部には１条の沈線が巡る。また体部外面には段状の沈線が１条巡る。調整は外面天井部に丁寧な回転ヘラ削り、口縁部と内面には回転ナデが施してある。



第111図　出土遺物実測図（S＝1/3）

（時期）出土した遺物は大谷編年出雲２期の範疇に[註1]はいるものと思われる。このことから、６世紀前半代と考えられる。

2．溝状遺構

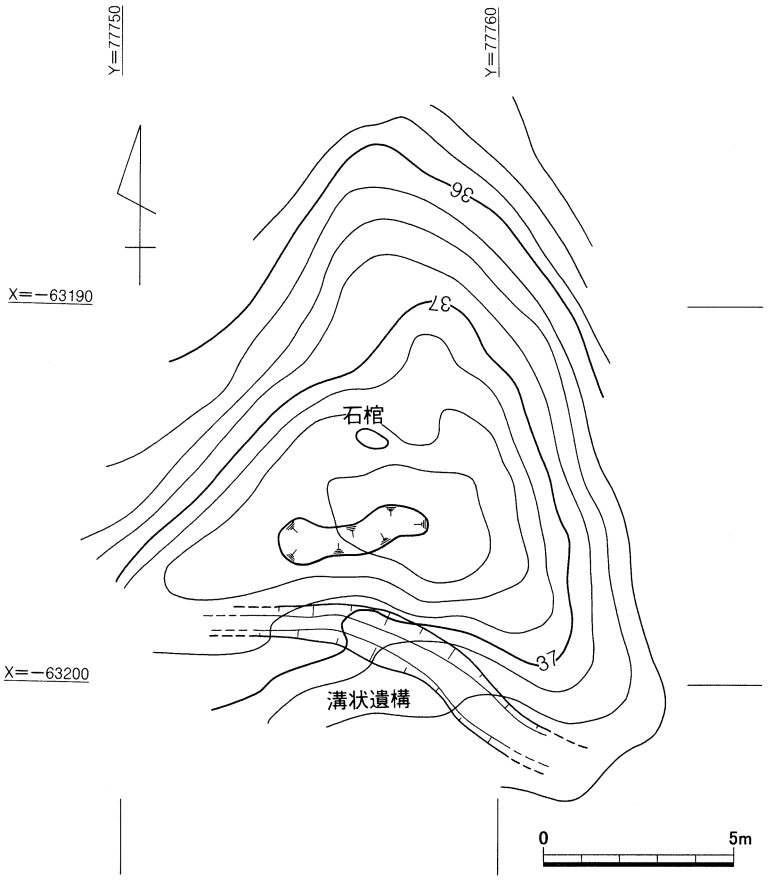
溝状遺構は本調査区南側に位置している。東西にのびており、幅約1.2mを測るものであるが詳細については明らかにできなかった。また出土遺物などもなく時期についても不明である。

第3節　まとめ

真野谷遺跡からは1基の石棺を確認した。この石棺に伴う墳丘の存在も考えたが、盛土や地形の改変といったことは認められなかった。東側、西側では崩落している様子も確認されており、すでに流出した可能性も考えられないわけではないが、単独で存在した石棺墓であった可能性が高いものと思われる。この石棺は6世紀前半代としては構造上あまり類例の見られないものであり、今後の類例資料の出土を待って当遺跡の評価を進めていきたい。

（註）

1．大谷晃二1994「出雲地域の須恵器の編年と地域色」『島根考古学会誌』第11集　島根考古学会



第112図　地形測量図（調査後）（S＝1/200）

第９章　杉谷遺跡

第１節　遺跡の位置と調査の概要

杉谷遺跡は、八束郡玉湯町湯町1303番地外に所在する。北西方向約0.8㎞に宍道湖を望んで開口する谷地形の南側丘陵斜面に立地し、標高17～20ｍを測る。南方背後に玉材産出地である花仙山を望み、同山とは尾根続きの丘陵麓部にあたる。

発掘調査は、平成９年度に実施されたトレンチ調査（第114図示の試掘坑）の結果を受け、平成10年度に実施した。

調査前の現地は主に植林と竹林からなる山林であったが、地表面観察によって開墾等による旧地形の著しい改変が顕著に認められた。地元住民の伝承によると昭和40年代頃まで棚田状の水田として利用され、その後植林が行なわれた場所という。また遺跡周辺は地滑り地帯で脆弱な地盤としても知られていた。調査中も付近は湿潤で、地表面、地表下を常に湧水が流れているような状態であった。

発掘調査は、平成10年（1988）４月14日に着手した。まず、調査前の地形観察、地形測量、調査区設定を実施した。

平成９年度のトレンチ調査の結果によると、遺物が出土したのは第114図の３本のトレンチのうち中央の一本だけである。その東西のトレンチ及び図示していないが調査区外に設定した他のトレンチからはからは、遺構・遺物は検出されなかった。また耕作、植林に伴う開墾により地山面に至るまで撹乱された痕跡も多く見られた。

こうした所見をもとに遺構・遺物の存在する可能性が高い地点を推測した。そして約500㎡の調査区を設定（第113・114図）し、全面発掘を開始した。

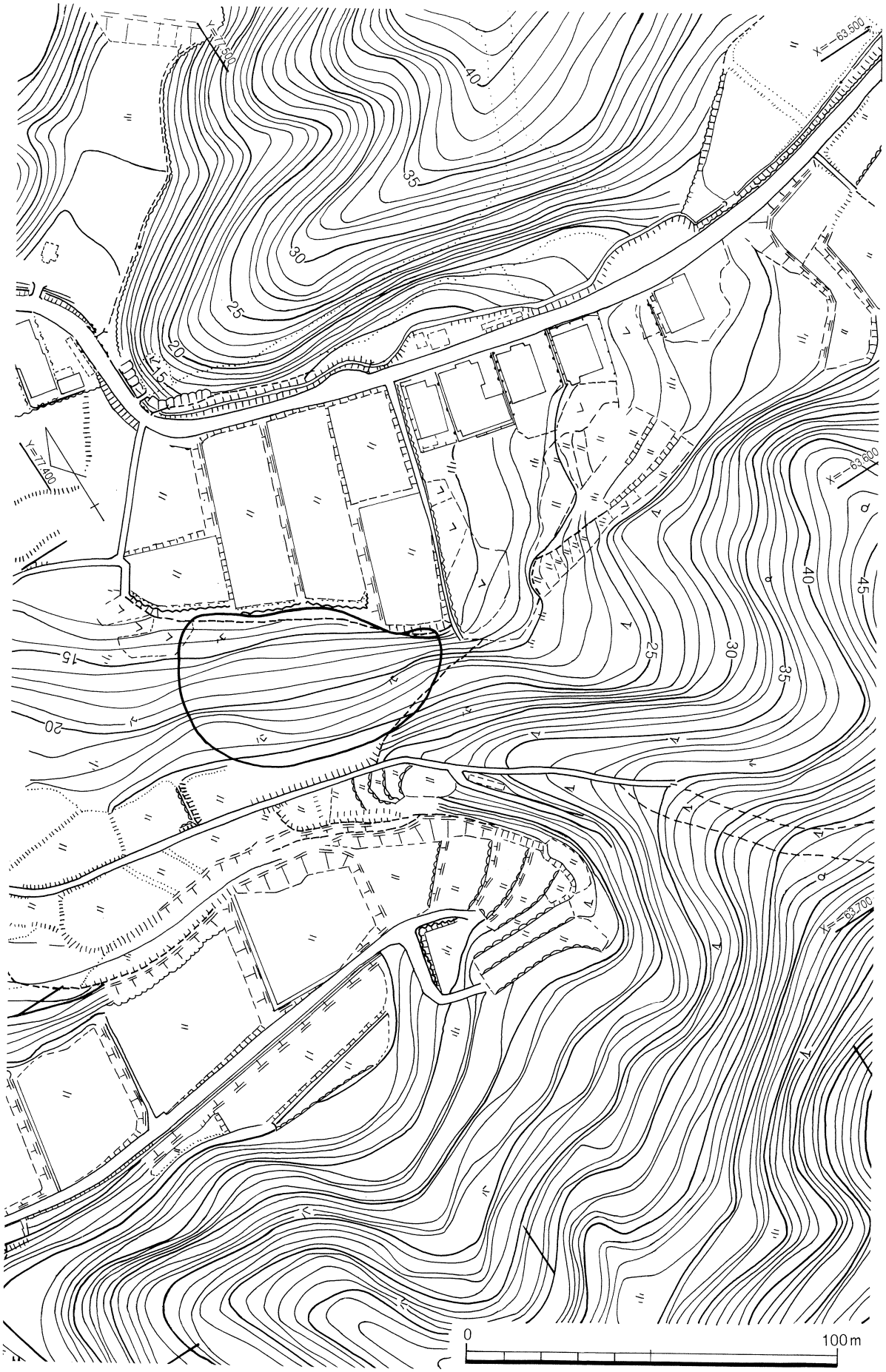
地表面には、植林、竹林の木根が著しくはびこり、人力による掘削は難渋を極めた。そこで、重機掘削（深さ約30㎝）を実施し、その後人力による掘削に切り換えた。

調査は春の好天候に恵まれ順調に推移し、同年５月22日には作業員を撤収した。調査開始から実働のべ約20日間の現地調査であった。

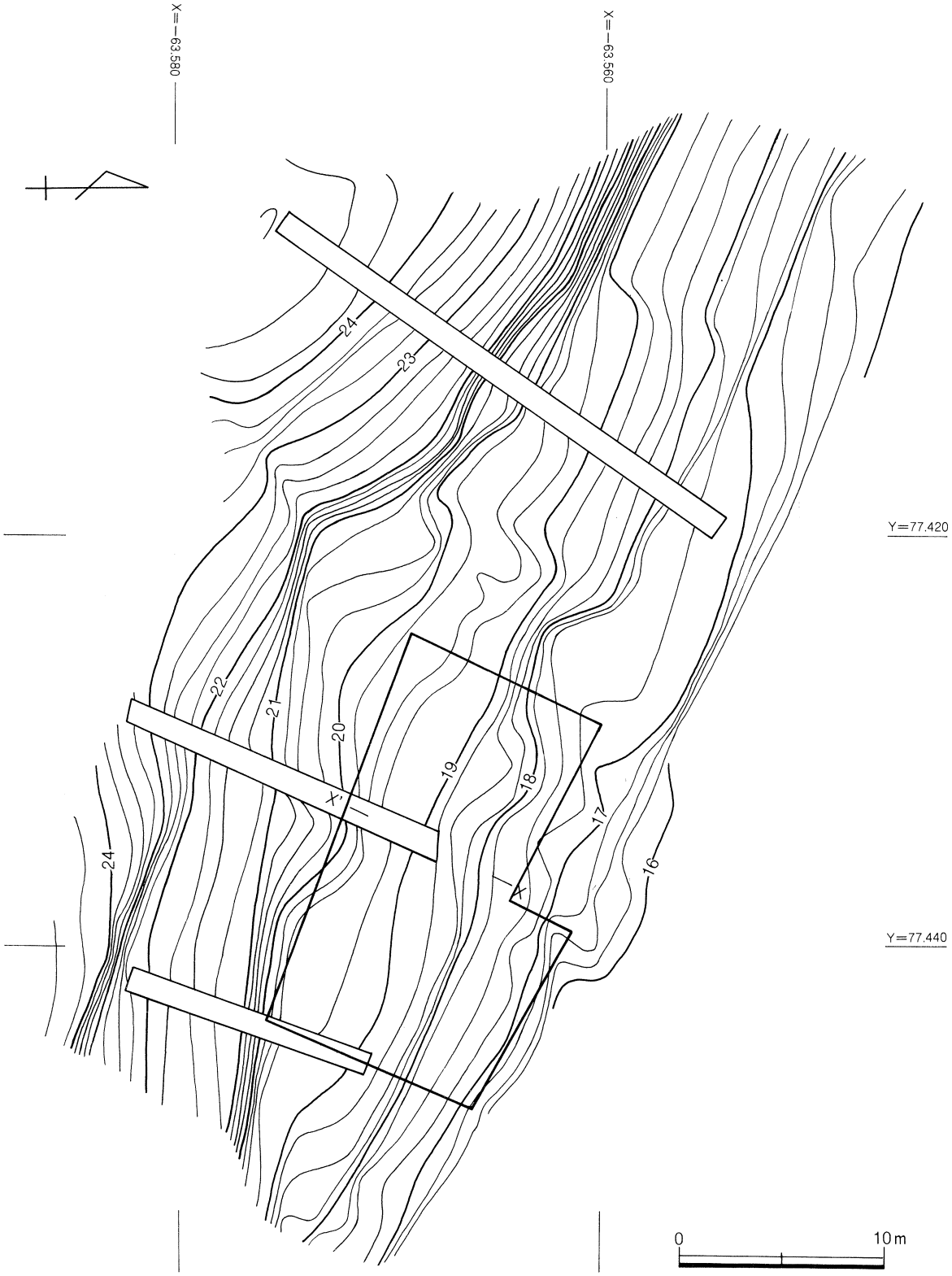
発掘調査の結果、遺構として古墳時代中期後葉頃の玉作工房跡１、時期と性格が判然としない溝１、土坑１、溝か土坑らしき掘り込み１を地山面にて検出した。

遺物としては、玉作工房跡周辺をはじめとする調査区全体から、碧玉製勾玉・管玉の各種未成品や剥片、瑪瑙製勾玉の各種未成品や剥片、水晶製の玉類未成品や剥片、滑石剥片、砥石類等の玉作関係資料が大量に出土している。

また、直接遺構に伴わないが、古墳時代中期から中世頃に至る多種多様な土器類が包含層から混在して出土した。さらに調査後の整理作業中（平成12年７月）には、同じく包含層から、湧別技法を用いたと推定される後期旧石器の玉髄製細石刃１点・削片１点等を含む旧石器類が発見された。当時の石器製作技術とその伝播の様相を知るうえで極めて有益な資料として注目されている。



第113図　調査対象地位置図（S＝1：1500）

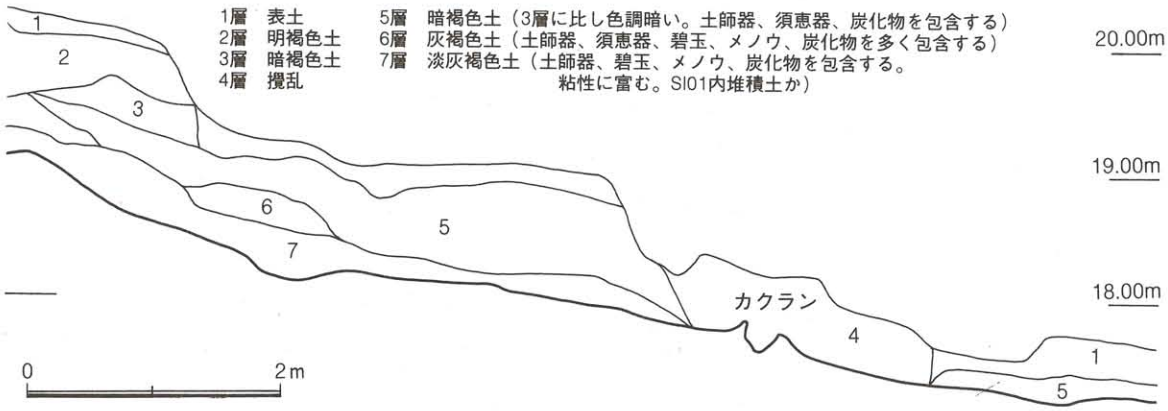


第114図　調査前地形測量図・調査区設定図（S＝1：300）（X'-Xは基本土層断面）

第２節　調査の結果

１：基本層序（第114・115図）

基本的な土層の堆積状況は、図示したとおりX'－X断面において代表される。前述したとおり、現地表面は開墾等による棚田状の地形改変が顕著であった。それに伴う撹乱土の堆積も広く認められ、表土から地山面まではおよそ１～1.5mの深さを測った。



第115図　基本土層断面図（X'-X）（S=1：60）

表土層（1層）は植林、水田耕作に伴う湿潤な耕作土からなり、木根が著しくはびこり深さにして約20～30cmを測った。

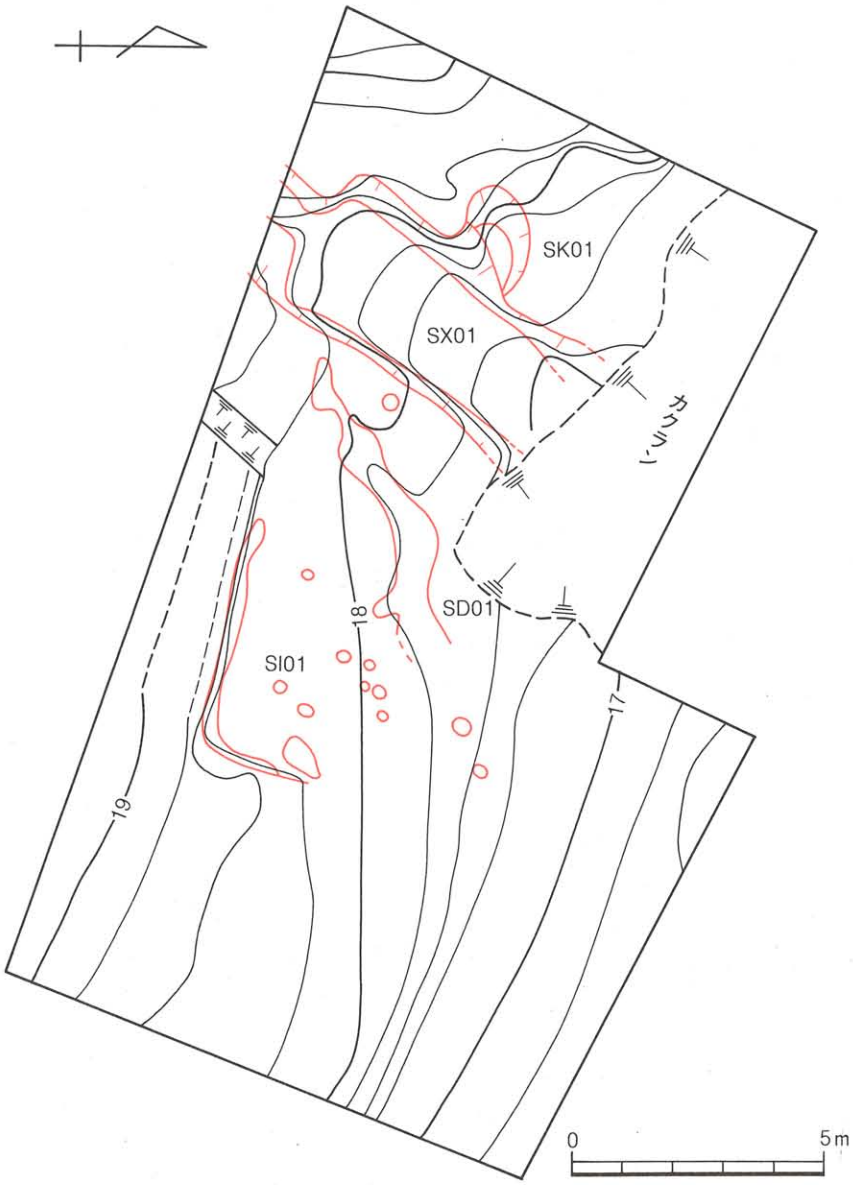
その下層は明褐色土（2層）及び暗褐色土（3層）の無遺物層が部分的に堆積していた。開墾等に伴う攪乱土、二次堆積土の可能性が高い。

地表面から地山面までに至る攪乱（4層）は開墾等によるものと推測され、調査区内に点々と認められた。

遺物包含層は、さらに下層の暗褐色土（5層）、灰褐色土（6層）、淡灰褐色土（7層）と認識された。厚いところで地山上約1m前後の堆積が認められ、5層・6層は、調査区内の地山上でほぼ普遍的に認められた土層である。

5層・6層は包含する遺物に時期幅があり古墳時代から中世に至る時期の土師器片・須恵器片や玉類、石器類等多様な遺物が混在していた。

これは両層が、ある時期に堆積した攪乱土・二次堆積土から成る可能性を如実に物語る。



第116図　調査後地形測量図・遺構配置図（S=1：150）

これに対し、地山上の淡灰褐色土（７層）は、X′—X土層断面を設定した限られた範囲でのみ堆積が確認された。しかも包含する遺物はおよそ古墳時代中期後半頃の土師器片と玉類の未成品や剥片に限定される。検出範囲から察するに後述するSI01内の堆積土であった可能性が高い。トレンチ調査の際、SI01を検出できず、壁面等を破壊していた蓋然性が高いと思われる。

発掘調査は、以上の基本層序を把握しつつ、１層ずつ平面的に掘り下げることに努めた。しかし、遺構外堆積土の分層は容易にできず、結果的には単層扱いとして遺構検出面（地山面）まで掘り下げることが多かった。

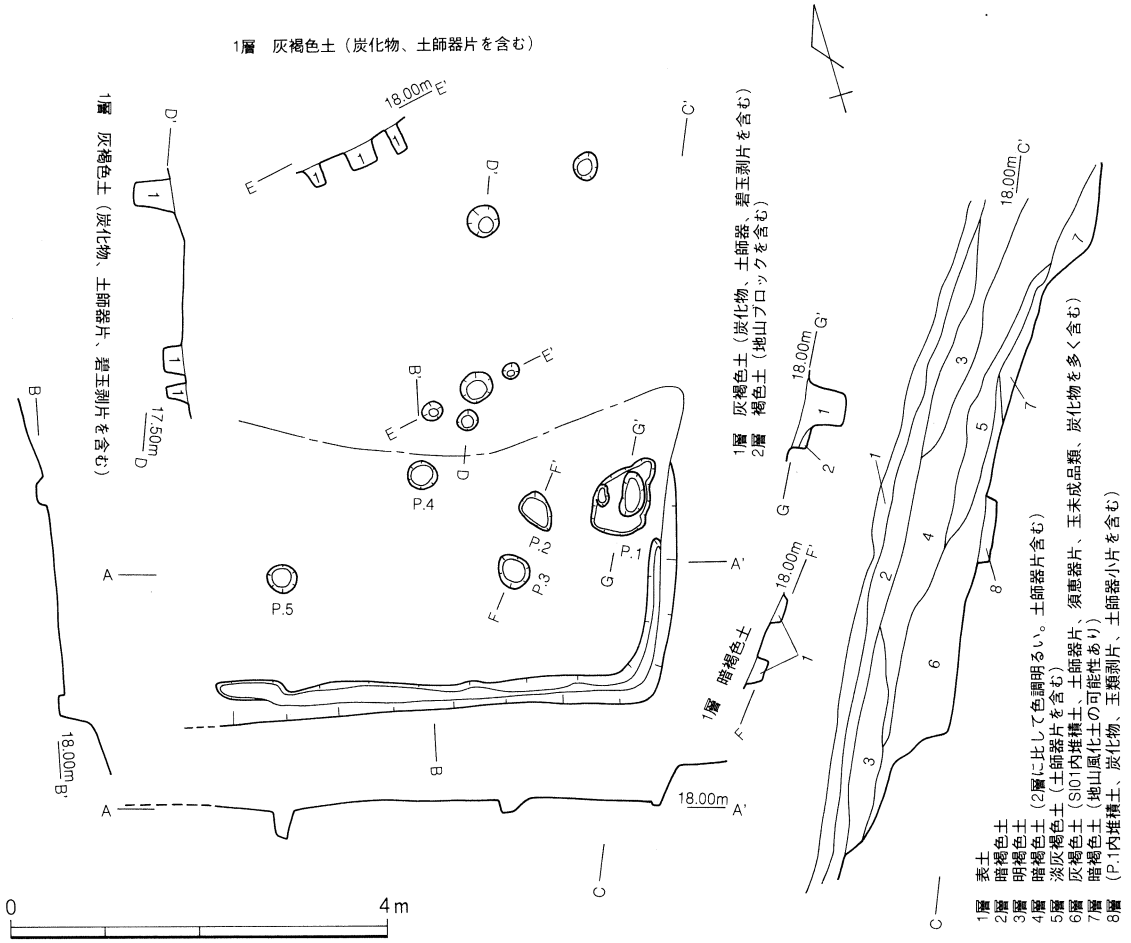
したがって、後述する遺構に伴わない遺物の出土層位名（２節末の一覧表の表記を含む）は遺物採取の際、便宜的に付したもので厳密な層位比定を行なった結果ではない。この点、注意されたい。

２：遺構と遺物

（１）SI01（第117図）

位置　調査区の中央やや南東よりの緩斜面上に位置する。南方側壁面の一辺が斜面にほぼ並行する立地にある。床面は、標高約18m前後を測る。

規模・形状　床面の一部と二辺の壁面の一部が残存しており、遺構の全容を留めていない。後世の開墾や自然流失の影響によるものと推察される。したがって、全体の規模、形状は判然としないが、おそらく方形プランの竪穴建物跡と推定される。



第117図　SI01実測図（S＝1：80）

明確な遺構検出面は地山面で、南方壁と東方壁の一部、床面・周溝の一部、複数のピットを検出した。残存部の規模は、南方壁上面の一辺が長さ約4.5m、壁の高さ約0.6m、東方壁上面の一辺が長さ約2.5m、壁の高さ約0.4m前後を測る。

覆土　図示したとおり、1・2・3層は無遺物層で後世の撹乱が顕著である。4・5・6層が遺物包含層である。4・5層は土師器片を包含するが、6層からは土師器片・須恵器片とともに多量の玉類未成品や剥片、炭化物、旧石器類等が出土する。ピット内も基本的に6層と同質の土層が堆積している。SI01の廃絶時期に最も近い時期の堆積土がこの6層であると推察される。7層は無遺物層で、地山面より若干締まりに欠けるが色調、土質は極似している。おそらく地山が風化した土層と判断される。なお、各層とも現地形の斜面なりに南方から北方へ傾斜して堆積していることが伺える。

床面　検出できたのは地山面で、およそ東西長約4.5m、南北幅約3m以内の範囲が残存する。現地形と同じく北方へと若干傾斜している。この傾斜がSI01建造時の状況を反映するものか否かは、地滑り地帯ということもあって定かではない。残存する二辺の壁沿いには周溝が認められるが、東壁北側は途中で途切れている。周溝の規模は、深さ約10cm以内、底面幅約10～15cmを測り、一定してはいない。

柱穴・ピット　床面残存部から5個のピットを検出した。

床面中程の二つのピット（p.5－p.3）は、南壁とほぼ並行し約2.5mの心芯距離を測る。位置的に一対となる規格性が伺え、この建物の主柱穴の一部を担った可能性が高い。p.5は最大径約30cm、深さ約35cm、p.3は最大径約40cm、深さ約20cmを測る。

その他のピット（p.4，p.2）は、配置が不規則で確実にこの建物に伴う柱穴か否かは判然としない。ただし、規模や形状、堆積土が類似することからその可能性はある。

また、床面の東壁付近からは、これらと規模や形状が異なるピット（p.1）が検出された。長径約90cm、短径約60cm、深さ約15cm以内を測る不整形の浅い掘り込みの内側に、不整な半円形のピット2つが掘られている特徴的なものである。内側のピットは深い方が長径約50cm、短径約25cm、深さ約50cm、浅い方が長径約25cm、短径約15cm、深さ3cm以内を測り、両者は約10cm程の間隔である。土層観察によるとこれらの層序に切り合い関係は認められず灰褐色土層が単層堆積していた。この灰褐色土層からは多くの碧玉剥片をはじめ土師器小片、炭化物が出土している。

さて、このピット（p.1）の性格は不明確であるが通常の建物に伴う柱穴とは考えにくい。後述するように、SI01は玉作工房跡の可能性が極めて高いので、同工房跡で顕著に認められる「壁際ピット」「工作用ピット」と呼称される特殊なものに位置付けておきたい。しかし、工房内においてこのピットが如何なる機能を果たしたのかは今のところ不明である。

一方、SI01床面下方の地山上斜面からも6個のピットを検出した。検出地点がSI01に近接し、床面上のものと規模や形状、堆積土に類似点が多いのでこの遺構に伴う可能性もあるが判然としない。

第118図　SI01床面直上付近遺物出土状況実測図（番号は遺物実測図の番号に対応）（S＝1：30）

遺物出土状況（第118図）

覆土の項で述べたとおりSI01に伴う可能性がある遺物は、主に床面地山上に堆積する灰褐色土層（第117図６層）から出土している。

このうち建物の廃絶時期に最も近い様相を示すと推察される床面直上付近及びピット内からの出土遺物も多数検出されている。土師器・須恵器小片約100点のほか、碧玉・瑪瑙・水晶製玉未成品及び剥片総量651点、5,226.29ｇの玉作関係資料がある。玉類の数量内訳は表31のとおりである。

これらの出土状況は第118図に図示したとおりである。これによると、土器類の分布には顕著な偏りが認められない。しかし、玉類（主に碧玉製玉未成品及び剥片）の分布状況には、Ａ：東壁付近、Ｂ：ｐ.３南側付近、Ｃ：ｐ.３西方付近、のおよそ３箇所に分散、偏在する傾向が伺える。

これを数量的にみるとＡ、Ｂ、Ｃの順番で個体数に顕著な差が認められた。

また、未成品の属性から検討すると、Ａは石核から素材剥片に該当する未成品が集中してみられ、Ｂは石核が認められず多数の剥片と素材剥片・調整剥片に該当する未成品が出土し、ＣはＡ同様に石核から素材剥片に該当する未成品が顕著に出土する傾向が認められる。

遺物の出土地点が、建物廃絶時の状況を完全に保持しているわけではあるまい。したがって、これらの分布状況が直ちに玉製作の作業工程に基づく建物内の場所の使い分けを示しているとは限らない。しかし、そのひとつの可能性を示唆する現象として注意すべき事象であろう。

一方、床面直上付近ではないが、ほぼ同時期の覆土と推察される灰褐色土層からは、土師器・須恵器の小片（コンテナ約１／３箱分）、多量の碧玉・瑪瑙・水晶・滑石等の玉類未成品・剥片総量約2,963点、7,603.51ｇ、砥石３点等の玉作関係資料、打製石器類３点等が出土している。玉類の数量内訳は表32のとおりである。

いずれも、SI01の廃絶時に建物内あるいは建物周辺に存在したものが土砂とともに自然堆積したような状況が伺えた。

出土遺物

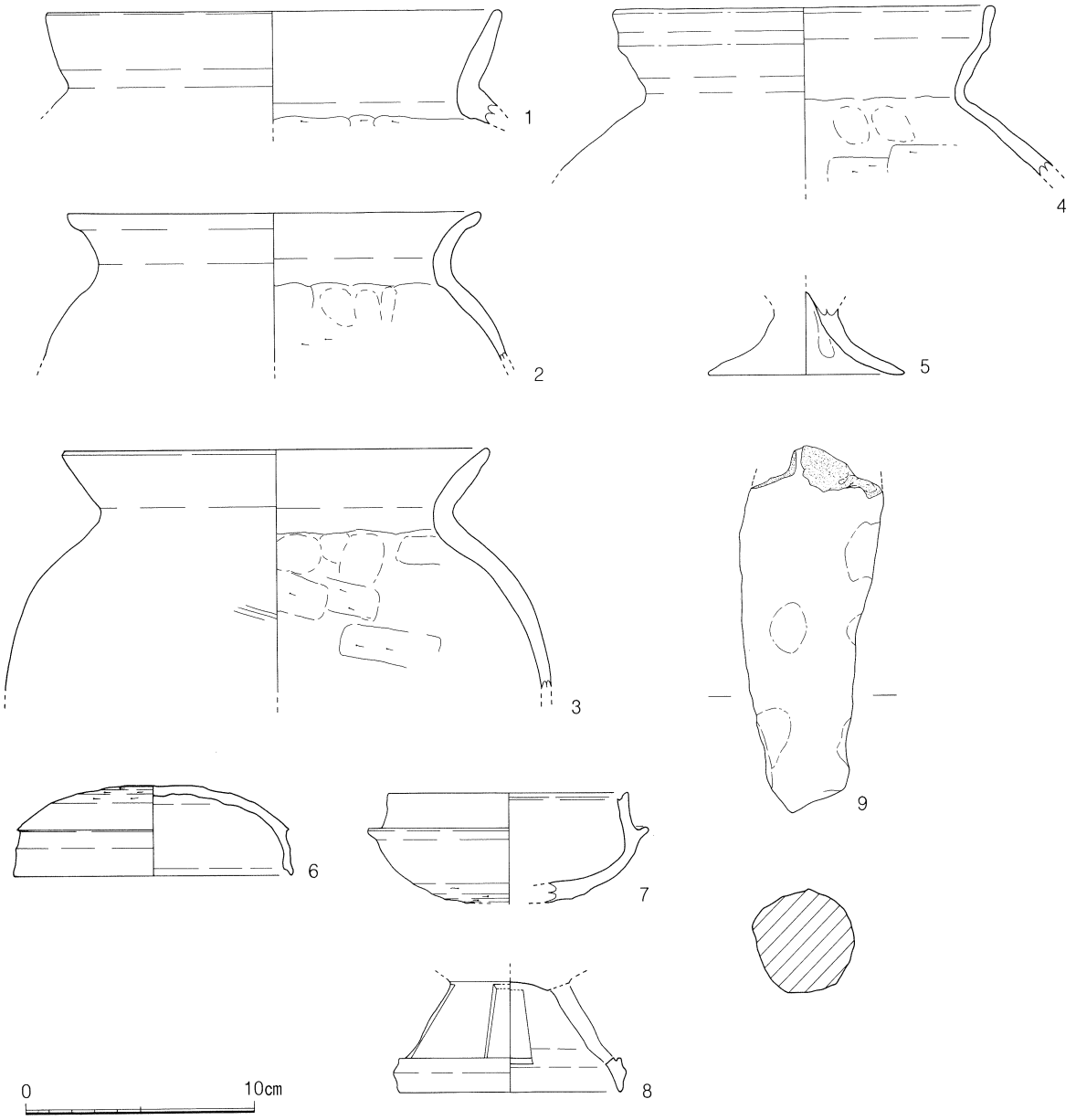
地山直上付近及び遺構覆土（灰褐色土層）中から出土した主な遺物は以下のとおりである。なお、覆土中から検出された打製石器類については、本遺構に直接伴わない遺物として別項で扱うこととする。

＜土器類＞（第119図）

土器片多数が出土したが、実測に耐えない細小片が多く９点のみを図化した。

119－１は、SI01床面直上付近から出土した土師器の甕片である。口縁部が「く」の字形に屈曲する。口縁部の約４分の１が残存し、復元口径19.8cmを測る。風化のため調整は不明瞭であるが、内外面の頸部から口唇部にかけてナデが、内面の頸部以下にヘラケズリが認められる。焼成は良好で淡橙～褐色を呈し、胎土には径１～４mmの砂粒を多く含む。古墳時代中期後半（松山編年Ⅳ期）[註1]頃の所産と考えられる。

119－２は、SI01床面直上付近から出土した土師器の甕片である。口縁部が大きく外反し端部が肥厚する。口縁～胴部の約６分の１が残存し、復元口径約18cmを測る。風化のため調整は不明瞭であるが、内面の頸部以下に指押さえとヘラケズリらしき痕跡が認められる。焼成は良好で内面は暗褐色、外面は淡黄褐色を呈し、胎土には径１～２mmの微細砂粒を多く含む。時期は判然としないが古墳時代中期頃の所産と考えられる。



第119図　SI01床面付近及び覆土中出土遺物実測図（S＝1：3）

119－3は、SI01床面直上付近から出土した土師器の甕片である。口縁部が「く」字形に大きく外反する。口縁～胴部の約6分の1が残存し、復元口径約18.5cmを測る。風化のため調整は不明瞭であるが、内外面の頸部から口縁端部にかけてヨコナデ、外面胴部の一部にハケメ調整、内面の頸部以下にヘラケズリらしき痕跡が微かに認められる。頸部外面には煤の付着も認められる。焼成は良好で内外面ともに黒褐色を呈し、胎土には径1～4㎜の砂粒を多く含む。時期は判然としないが、古墳時代中期後半（松山編年Ⅳ期）頃の所産と考えられる。

119－4は、平成9年度トレンチ調査において、SI01床面から西方へ約1.5m程離れた地点の地山直上面から出土した。口縁部が微かに外傾する退化した複合口縁をもつ土師器の壷片と思われる。SI01に伴う可能性もあるためここで掲載する。ほぼ完形で出土したが、胴部以下は残存状況が悪く図化を省略した。復元口径約16.3cmを測る。風化のため調整は不明瞭であるが、内外面の頸部から口縁端部にかけてヨコナデ、内面頸部以下の上方に指押さえ痕、下方に横方向のヘラケズリが微かに認められる。焼成は良好で内外面ともに暗褐色～黄白色を呈し、胎土には径1～3㎜の砂粒を

多く含む。時期は判然としないが古墳時代中期後半（松山編年Ⅲ期）頃の所産であろうか。

119－５は、SI01床面直上付近から出土した土師器の高杯片である。「ハ」の字形に大きく開く脚部の約３分の２が残存し、復元底径約8.5cmを測る。風化のため調整は不明瞭である。焼成は良好で内外面ともに明橙褐色を呈し、胎土には径２mm以下の微細砂粒を多く含む。時期は判然としないが、古墳時代中期後半頃の所産であろうか。

119－６は、SI01床面直上付近から出土した須恵器の杯蓋である。口縁端部をわずかに外反、肥厚させ、そこに凹面がめぐるものである。天井部と体部の境には明瞭な稜がめぐり突出している。約６分の１が残存し、復元口径12.2cm、器高3.9cmを測る。外面天井部には丁寧なヘラケズリ、他の内外面は回転ヨコナデを施す。焼成は良好で灰色を呈し径１～２mmの微細な砂粒を少量含む。古墳時代中期後半（大谷編年出雲１期）（註２）の所産である。

119－７は、SI01床面直上付近から出土した須恵器の杯身である。口縁部の立ち上がりは高く、口縁端部をわずかに外反、肥厚させ内面に凹面をめぐらせるものである。約３分の１が残存し、復元口径10.4cm、残存部の器高4.8cmを測る。底面付近には丁寧なヘラケズリ、他の内外面は回転ヨコナデを施す。焼成は良好で明灰色を呈し径１～２mmの白色の微細砂粒を含む。古墳時代中期後半（大谷編年出雲１期）の所産である。

119－８は、SI01床面直上付近から出土した須恵器の低脚高杯の脚部片と思われる。脚部の約３分の１が残存し、方形の透かし１段が四方に空くものと推定される。脚端部は下方へ鋭く突出し、外面には凹線で強調された稜がめぐる。復元底径約9.5cm、残存部の器高4.9cmを測る。内外面は回転ヨコナデを施す。焼成は良好で灰色を呈し白色の微細砂粒を含むが緻密である。大谷氏の分類による低脚無蓋高杯Ａ１型に該当し、古墳時代中期後半（大谷編年出雲１期）の所産である。

119－９は、SI01覆土の灰褐色土層から出土した棒状を呈する土製品の破損品である。上端部を欠損しており、残存部長約15.8cm、直径約６cm以下を測る。器表には点々と指押さえらしき痕が認められる。土師質で焼成は良好、胎土は明橙褐色を呈し径１mm以下の砂粒を多量に含む。遺構に伴わない包含層からも多数出土しているが、使途や時期は不明である。鍋など中世の土器に付随する脚部の破片かもしれない。SI01に直接伴う遺物とは考えられず、覆土中に流入、混在したものと判断される。

＜玉作関係資料＞

SI01床面直上付近及び覆土中から出土した碧玉、瑪瑙、水晶、滑石等の玉類未成品及び剥片や砥石類について述べる。これら未成品・剥片の総出土点数は3,614点、総重量は12,829.8ｇで、内訳は次表（表31・32）のとおりである。

総重量に占める各石材の重量を比較すると、床面直上付近・ピット内出土資料は、碧玉95.63％、瑪瑙3.07％、水晶1.30％、その他覆土中出土資料は、碧玉88.34％、瑪瑙7.01％、水晶3.48％、滑石0.31％、川原石（小石）0.86％と石材間の格差は歴然としいる。碧玉が圧倒的多数を占め、次いで少量の瑪瑙、水晶、滑石の順を示している。石材量の比較によれば、碧玉製玉類を主に製作していたことが顕著に伺える。

表31　SI01床面直上付近・ピット内出土の玉材　出土数と重量

数量＼石材		碧玉	めのう	水晶	総量
個体数（点）		620点	14点	17点	651点
重量　（g）		4,997.76 g	160.75g	67.78g	5,226.29g
総量に占める割合	個体数	95.24%	2.15%	2.61%	
	重量	95.63%	3.07%	1.30%	

表32　SI01覆土中出土の玉材　出土数と重量

数量＼石材		碧玉	めのう	水晶	滑石	川原石	総量
個体数（点）		2,806点	58点	75点	19点	5点	2,963点
重量　（g）		6,716.69g	533.19g	264.39g	23.83g	65.41g	7,603.51g
総量に占める割合	個体数	94.70%	1.96%	2.53%	0.64%	0.17%	
	重量	88.34%	7.01%	3.48%	0.31%	0.86%	

未成品の製作工程（推定）に基づく分類

まず、各石材ごとに未成品の製作工程（推定）に基づく分類を行い特徴的な資料を抽出した。玉類の製作工程は寺村光晴氏等[註3]によって復元され、一般的には、

1：荒割り　2：形割り　3：側面打裂　4：研磨　5：穿孔

の過程に大別されている。

この工程に従い、遺跡から出土する玉未成品の属性に応じた遺物そのものの分類を試みたのが、島根県内における最近の調査では松江市福富Ⅰ遺跡、八束郡東出雲町勝負遺跡の報告[註4]である。

ここでは、これらの成果を参考にして、主に碧玉・瑪瑙製の玉製品製作工程を推定復元し、以下のように完成品に近いものから工程をさかのぼって分類する。

なお、水晶製の未成品は、本遺跡での出土資料数が少なく製作工程の全体像について不明な点が多い。最近の報告では、碧玉・瑪瑙製の場合の一次研磨にかわり敲打による調整過程[註5]があることも指摘されている。したがって、本稿では一応以下の分類に従うが、全体工程を踏まえた厳密な分類でないことは注意されたい。

また、滑石については、全て剥片で明確な未成品は検出されなかったので、2節末の一覧表（表42）を報告にかえる。

「完成品」
いわゆる勾玉、管玉、丸玉など一定の形式をもつ玉製品

「仕上げ工程品」
ほぼ完成品に近い未成品。穿孔が認められる場合が多く仕上げ段階のもの

・穿孔

「一次研磨工程品」（碧玉・瑪瑙製未成品に該当する名称）
調整剥片が側面打裂工程を経てある程度製品に近い形状のものに研磨を施したもの

＊「敲打製形品」（水晶製未成品のみに該当する名称）
調整剥離が完了しある程度製品に近い形状のものに敲打による調整を施したもの

・研磨
＊敲打

「側面打裂工程品（いわゆる側面打製品、角柱状加工品、調整剥片含む）」
素材剥片に調整剥離を加えたものを総称する。調整剥離の進捗状況、形状によって、一般に側面打製品、角柱状加工品と呼ばれるものも含む。

・側面打裂

「素材剥片」
石核から剥離した直後の剥片で調整剥離の認められないもの

・形割り

「石核」
素材剥片を剥離するための材料。小型のものは素材剥片と区別が判然としない。およそ複数の素材剥片が採取可能と思われるものを総称する。

・荒割り

「原材」
石核が採取されたと思われる石塊。表面に自然面が多く認められる。

こうした分類に基づきSI01出土玉類の未成品及び剥片にみる工程別数量・重量を比較したのが表33である。なお、川原石については、明確に加工の痕跡が判然としないので分類からは除外した。

同表には、未成品からおよそ推定される玉製品の種類とその個数も合わせて示した。

SI01付近では少なくとも碧玉製勾玉５・管玉15、瑪瑙製勾玉３、水晶製玉１の製作意図が看取される。

表33　SI01床面直上付近・ピット内・覆土中出土　玉類の未成品（工程別）・剥片の数量と重量
（　）内は、およそ玉の種類が推定されるものの個体数

工程＼石材		碧玉	めのう	水晶	滑石
一次研磨工程品	個体数	3点（勾3）	0点		0点
	重　量	22.61g	0g		0g
（敲打整形品）	個体数			0個	
	重　量			0g	
側面打裂工程品	個体数	41点（勾2　管15）	9点（勾3）	13点（丸1）	0点
	重　量	520.88g	187.78g	62.2g	0g
素材剥片	個体数	82点	4点	7点	0点
	重　量	1,572.05g	98.75g	84.84g	0g
石核	個体数	44点	3点	1点	0点
	重　量	4,413.97g	190.97g	24.12g	0g
剥片	個体数	3,256点	56点	71点	19点
	重　量	5,184.94g	216.24g	161.01g	23.83g
合計	個体数	3,426点	72点	92点	19点
	重　量	11,714.45g	693.74g	332.17g	23.83g

以下、玉の石材ごとに主要遺物の観察結果と製作技術の諸相を概論する。なお、他の資料については第２節末の一覧表（表42）をもって報告にかえる。

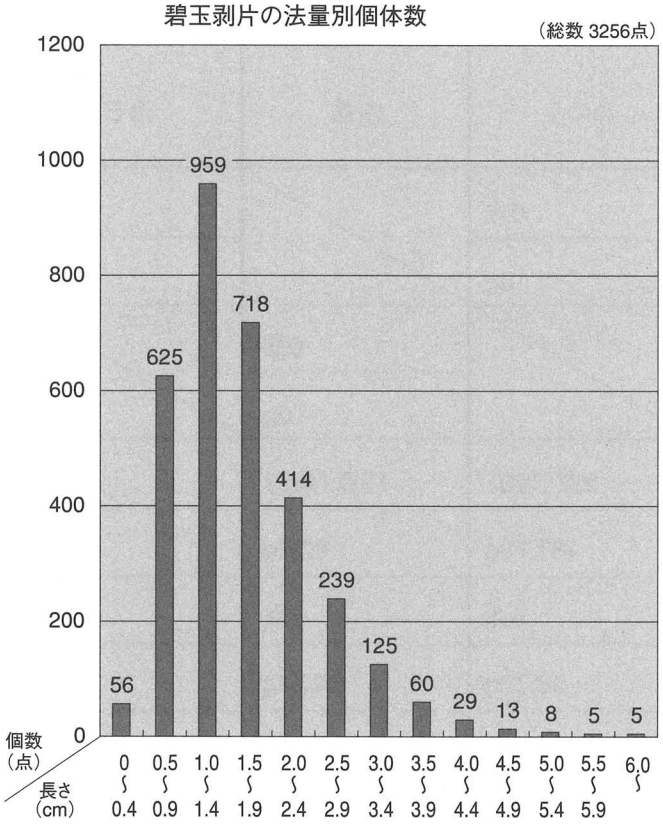
碧玉製未成品（第120・121・122図）

未成品については、石核から一次研磨工程にかけての資料が認められ、原材や仕上げ工程に該当する資料は認められなかった。

製作を意図した玉の種類については、製作過程の全体像が不確実な現状において類推するのは早計の感が否めない。しかし、未成品の形状からすると少なくとも、一次研磨工程品においては勾玉３、側面打裂工程品においては勾玉２・管玉15が確認される。

剥片につていは、3,256点、5,184.94ｇを検出した。剥片の諸属性からどのような情報を引き出すことができるか筆者の力量不足から判断できなかった。そこで、参考までに松江市福富Ⅰ遺跡や東出雲町勝負遺跡で試みられた法量別個体数の比較表（表34）を次に掲げ報告にかえる。ちなみに、福富Ⅰ遺跡・勝負遺跡では、長さ1.0～1.4㎝前後のものが最多であったが、当遺跡でも同様の傾向にある。

表34　SI01床面直上付近・ピット内・覆土中出土
碧玉剥片の法量別個体数



120－１は、覆土（灰褐色土）中から出土した勾玉の一次研磨工程品である。表面、上端面、腹部側面に水平・垂直方向の擦痕が認められる。いわゆる半月型に近い形状を呈し、全長3.4cm、最大幅2.1cm、厚さ0.9cmを測り、断面は長方形状である。

120－２は、覆土（灰褐色土）中から出土した勾玉の一次研磨工程品である。表面の一部に水平方向の擦痕が認められる。いわゆる半月型を呈し、全長3.0cm、最大幅1.6cm、厚さ1.1cmを測り、断面は長方形状である。

120－３は、覆土（灰褐色土）中から出土した勾玉を類推させる一次研磨工程品である。表面、背部側面の一部に水平方向の擦痕が認められる。いわゆる半月型を呈し、全長2.8cm、最大幅1.6cm、厚さ1.6cmを測り、断面は多角形状である。全体の形状と擦痕の様相から勾玉未成品と判断した。

120－４は、覆土（灰褐色土）中から出土した勾玉の側面打裂工程品（側面打製品）である。腹部側面を除き全体に調整剥離が認められる。いわゆる半月型を呈し、全長2.5cm、最大幅1.4cm、厚さ1.4cmを測り、断面は多角形状である。

120－５は、覆土（灰褐色土）中から出土した管玉の側面打裂工程品（角柱状加工品）である。全体に剥離調整が進んでいる。長さ2.9cm、最大幅1.7cm、厚さ1.6cmを測り、断面は多角形状である。

120－６は、床面直上から出土した側面打裂工程品（調整剥片）である。いびつな直方体状を呈し管玉未成品である可能性が高い。面によっては主要剥離面を顕著に残している。全長2.9cm、最大幅1.9cm、厚さ1.5cmを測り、断面は正方形～多角形状である。

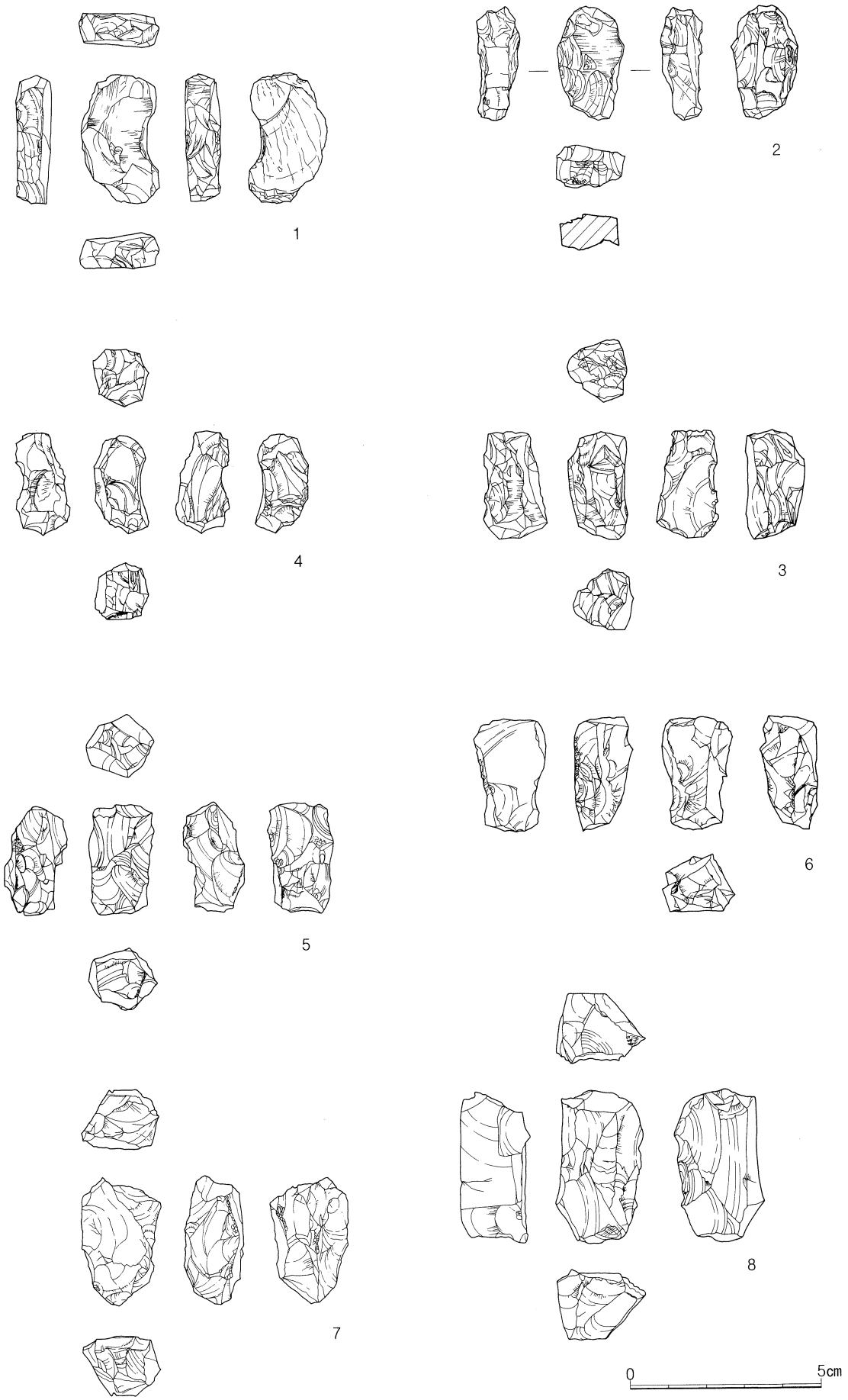
120－７は、覆土（灰褐色土）中から出土した側面打裂工程品（調整剥片）である。いびつな直方体状を呈し管玉未成品である可能性が高い。一面のみ自然面を顕著に残し、他面は細かな剥離調整が認められる。全長3.3cm、最大幅2.0cm、厚さ1.5cmを測り、断面は多角形状である。

120－８は、覆土（灰褐色土）中から出土した管玉の側面打裂工程品（調整剥片）と推測される。主要剥離が大きく残る面もあるが、剥離調整も認められる。全長3.9cm、最大幅3.3cm、厚さ1.8cmを測り、断面は歪な多角形状である。

121－９は、床面直上から出土した断面三角形を呈する素材剥片である。主要な剥離面が顕著に認められる。全長4.7cm、最大幅4.8cm、厚さ1.8cmを測る。

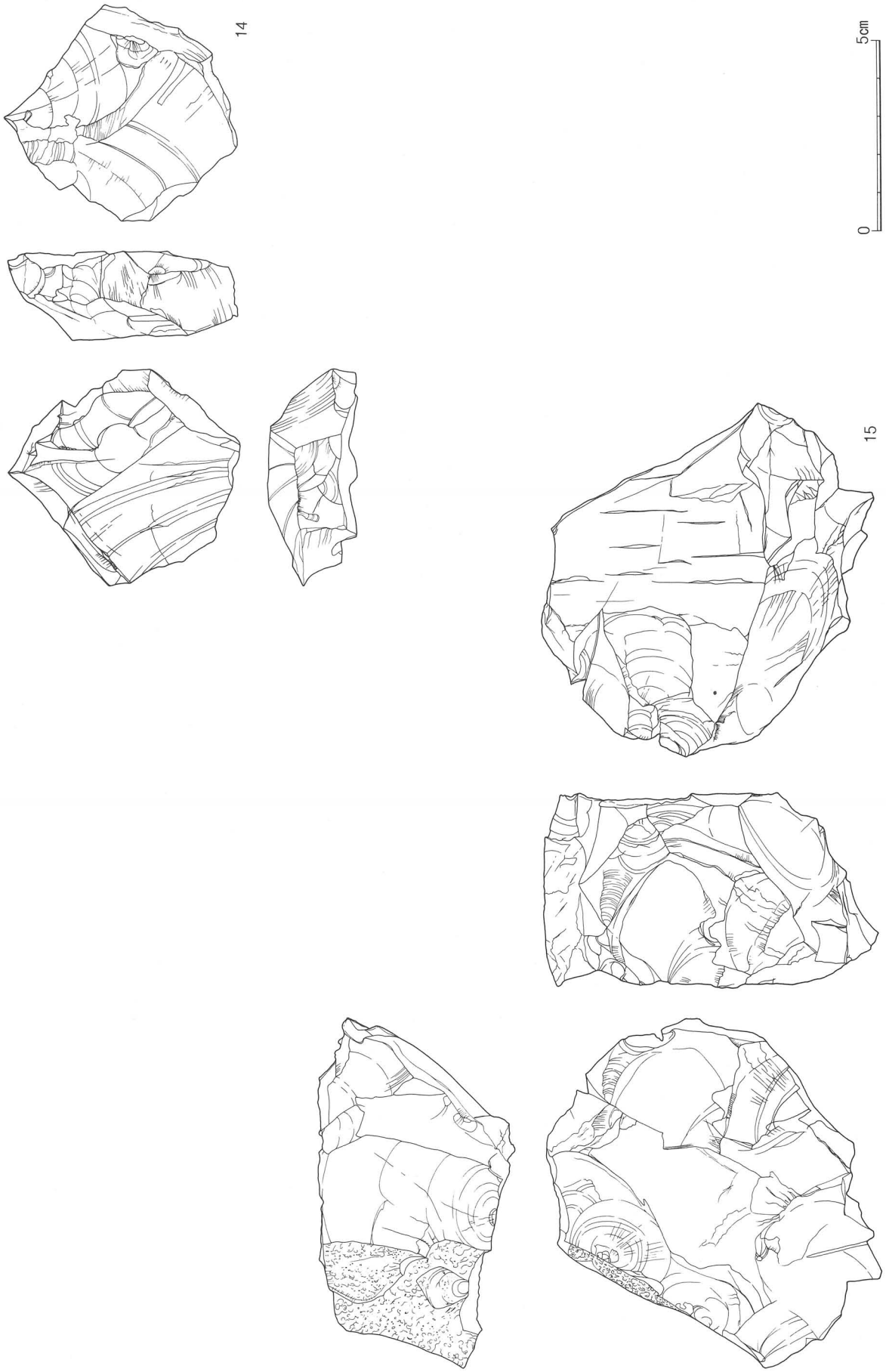
121－10は、床面直上から出土した断面長方形状を呈する素材剥片である。主要な剥離面が顕著に認められ、裏面は自然面の可能性がある。全長4.4cm、最大幅3.2cm、厚さ2.1cmを測る。

121－11は、覆土（灰褐色土）中から出土した断面三角形を呈する素材剥片である。一部自然面



第120図　SI01床面付近及び覆土中出土遺物実測図（碧玉製玉未成品）（1）（S＝2：3）

第121図　SI01床面付近及び覆土中出土遺物実測図（碧玉製玉未成品）（2）（S＝2：3）



第122図　SI01床面付近及び覆土中出土遺物実測図（碧玉製玉未成品）（3）（S＝2：3）

の可能性もあるが、全体に主要な剥離面が認められる。全長4.2cm、最大幅2.3cm、厚さ2.3cmを測る。

121－12は、覆土（灰褐色土）中から出土した断面長方形状を呈する板状の石核である。上端面に僅かに自然面が残るが、各面とも主要剥離面が顕著である。全長5.7cm、最大幅4.3cm、厚さ1.5cmを測る。

121－13は、覆土（灰褐色土）中から出土した直方体状を呈する板状の石核である。一部に自然面が残るが、各面とも主要剥離面が顕著である。全長4.9cm、最大幅5.6cm、厚さ2.7cmを測る。

122－14は、床面直上から出土した断面が歪な多角形状を呈する板状の石核である。各面とも主要剥離面が顕著に認められる。全長6.0cm、最大幅5.7cm、厚さ2.3cmを測る。

122－15は、床面直上から出土した断面が歪な多角形状を呈する板状の石核である。一面に自然面を残すほかは各面とも主要剥離面が顕著に認められる。全長8.8cm、最大幅9.2cm、厚さ5.1cmを測る。

瑪瑙製未成品（第123図）

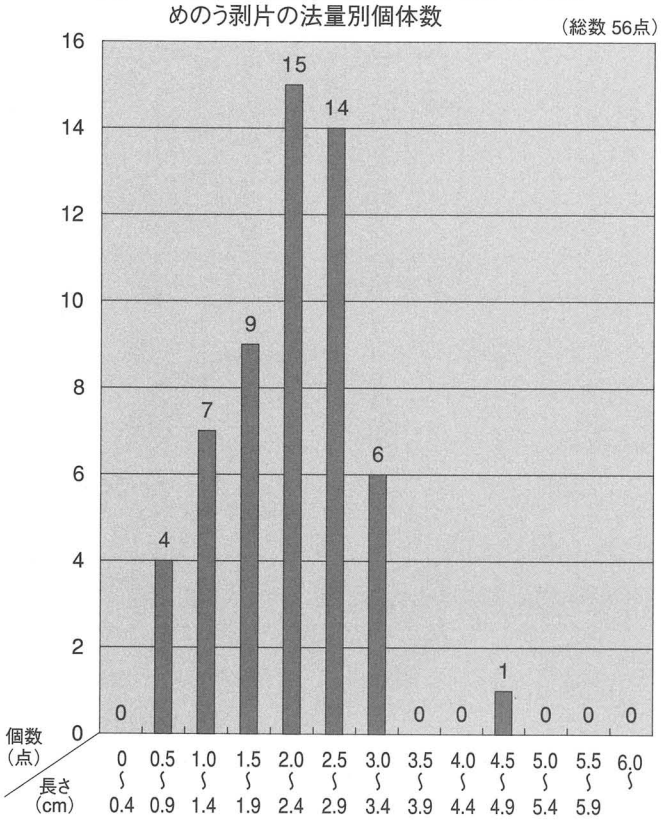
表33に示したとおり、未成品については石核から側面打裂工程にかけての資料が認められ、原材や一次研磨工程、仕上げ工程に該当する資料は検出されなかった。

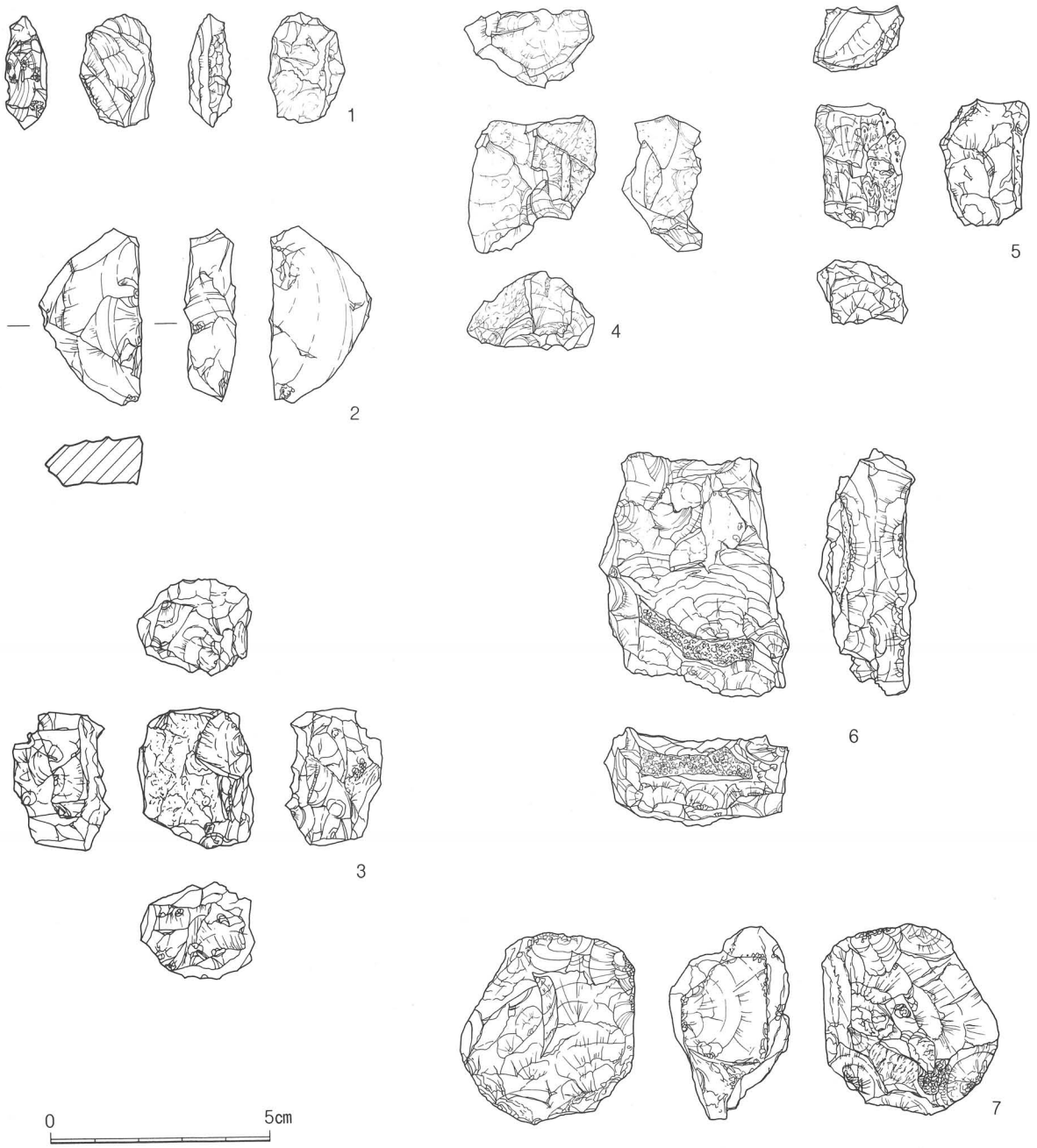
製作を意図した玉の種類については、碧玉同様早計の感はあるが、未成品の形状からすると、少なくとも側面打裂工程品において勾玉3を確認できる。

剥片につていは、56点、216.24ｇを検出した。剥片の諸属性からどのような情報を引き出すことができるか定かではないが、碧玉同様に法量別個体数の比較表（表35）を掲げ報告にかえる。

資料数が限定され慎重を要するが、前述の碧玉剥片では１センチ弱の資料が多かったのに対し、瑪瑙剥片では、その約倍、２センチ弱の資料に個体数のピークがある。

表35　SI01床面直上付近・ピット内・覆土中出土めのう剥片の法量別個体数





第123図　SI01床面付近及び覆土中出土遺物実測図（メノウ製玉未成品）（S＝2：3）

123－1は、床面直上から出土した勾玉の半月型を呈する側面打裂工程品（側面打製品に近い調整剥片）と推定される。裏面はほぼ自然面を残すが、その他は剥離調整が進んでいる。全長2.5cm、最大幅1.8cm、厚さ0.95cmを測り、断面は長方形状を呈する。

123－2は、覆土（灰褐色土）中から出土した勾玉の側面打裂工程品（調整剥片）と推定される。裏面はほぼ自然面を残すが、その他は剥離調整が始まっている。いわゆる半月型を呈し、全長4.0cm、最大幅2.3cm、厚さ1.1cmを測り、断面は長方形状である。

123－3は、覆土（灰褐色土）中から出土した側面打裂工程品（調整剥片）と推定される。形状から勾玉を企図した未成品の可能性はあるが判然としない。礫状を呈し表面一面はほぼ自然面を残すが、他面全体に細かな剥離調整が顕著に認められる。全長3.1cm、最大幅2.6cm、厚さ2.2cmを測り、断面は多角形状を呈する。

123－4は、床面直上から出土した断面三角形状を呈する素材剥片である。自然面が多く残るが、

一部に主要剥離面が認められる。全長3.1cm、最大幅2.9cm、厚さ1.8cmを測る。

123－５は、覆土（灰褐色土）中から出土した断面多角形を呈する素材剥片である。両側面には自然面が残るが、他面には主要な剥離面が認められる。全長2.8cm、最大幅2.05cm、厚さ1.4cmを測る。

123－６は、覆土（灰褐色土）中から出土した直方体状を呈する板状の石核である。裏面と下端面の大部分、表面の一部に自然面が残るが、他面には大きなな剥離面が認められる。全長5.5cm、最大幅4.2cm、厚さ2.2cmを測る。

123－７は、残核を利用したハンマーと推察され床面直上から出土した。平面は楕円形、断面は多角形を呈する。器表のごく一部に自然面を残すが、大部分は顕著な剥離が認められる。ほとんど各面の縁辺部につぶれが観察され敲打によるものと思われる。全長4.3cm、最大幅4.0cm、厚さ2.7cmを測る。

水晶製未成品（第124図）

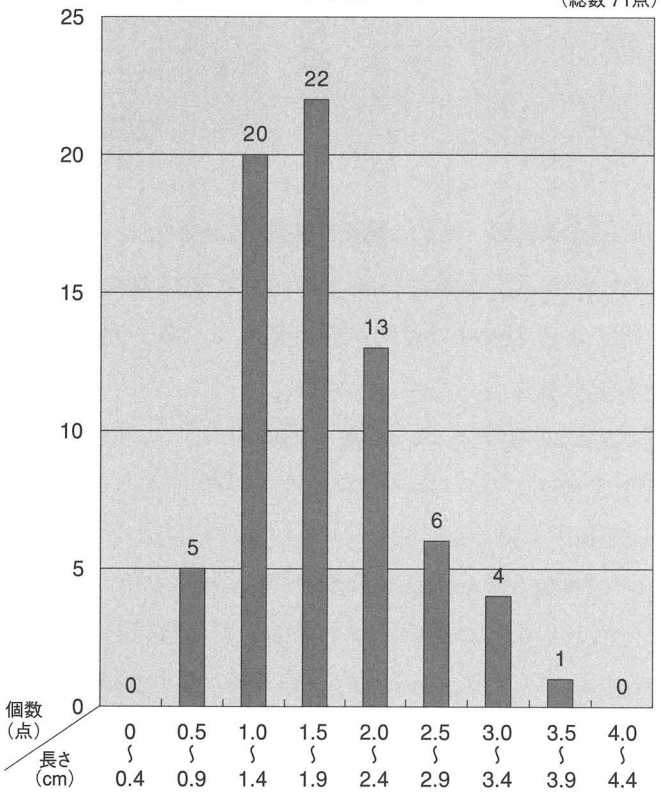
表33に示したとおり、未成品については石核から側面打裂工程にかけての資料が認められ、原材や敲打製形、仕上げ工程に該当する資料は検出されなかった。

製作を意図した玉の種類については、碧玉・瑪瑙同様に早計の感はあるが、未成品の形状から、少なくとも側面打裂工程品において丸玉１を確認できる。

剥片につていは、71点、161.01ｇを検出した。碧玉・瑪瑙同様に法量別個体数の比較表（表36）を次に掲げ報告にかえる。

資料数が限定され慎重を要するが、個体数のピークにあるのは、１センチから２センチ未満の資料であった。碧玉と瑪瑙の調度中間に大きさのピークがある。

表36　SI01床面直上付近・ピット内・覆土中出土
水晶剥片の法量別個体数



124－１は、覆土（灰褐色土）中から出土した丸玉の側面打裂工程品（調整剥片）と推定される資料である。側縁部を調整剥離し円形状に加工していることが伺える。裏面はほぼ自然面を残していると思われる。全長1.6cm、最大幅1.6cm、厚さ1.1cmを測り、断面は方形状を呈する。

124－２は、床面直上から出土した断面長方形状を呈する側面打裂工程品（調整剥片）である。ほぼ全面に調整剥離が認められる。全長2.6cm、最大幅2.3cm、厚さ1.2cmを測る。

124－３は、覆土（灰褐色土）中から出土した勾玉か管玉の側面打裂工程品（調整剥片）と推定される資料である。

側面の一部に自然面らしき箇所があるが、各面に調整剥離が認められる。全長2.6㎝、最大幅1.9㎝、厚さ1.4㎝を測り、断面は多角形状を呈する。

124－4は、覆土（灰褐色土）中から出土した断面三角柱状を呈する素材剥片である。側面1面に自然面を多く残すが、他面は大きな剥離面からなる。全長2.7㎝、最大幅2.5㎝、厚さ1.6㎝を測る。

124－5は、覆土（灰褐色土）中から出土した断面多角形を呈する縦長の素材剥片である。一側面には自然面が残るが、他面には主要な剥離面が認められる。多角柱状に作り出す意図が読み取れ、表面、側面の一部には結晶面が残っている。全長4.15㎝、最大幅1.9㎝、厚さ1.8㎝を測る。

124－6は、覆土（灰褐色土）中から出土した断面多角形状を呈する礫状の石核である。風化により不明瞭であるが、大きなな剥離面も認められる。全長4.1㎝、最大幅2.45㎝、厚さ2.0㎝を測る。

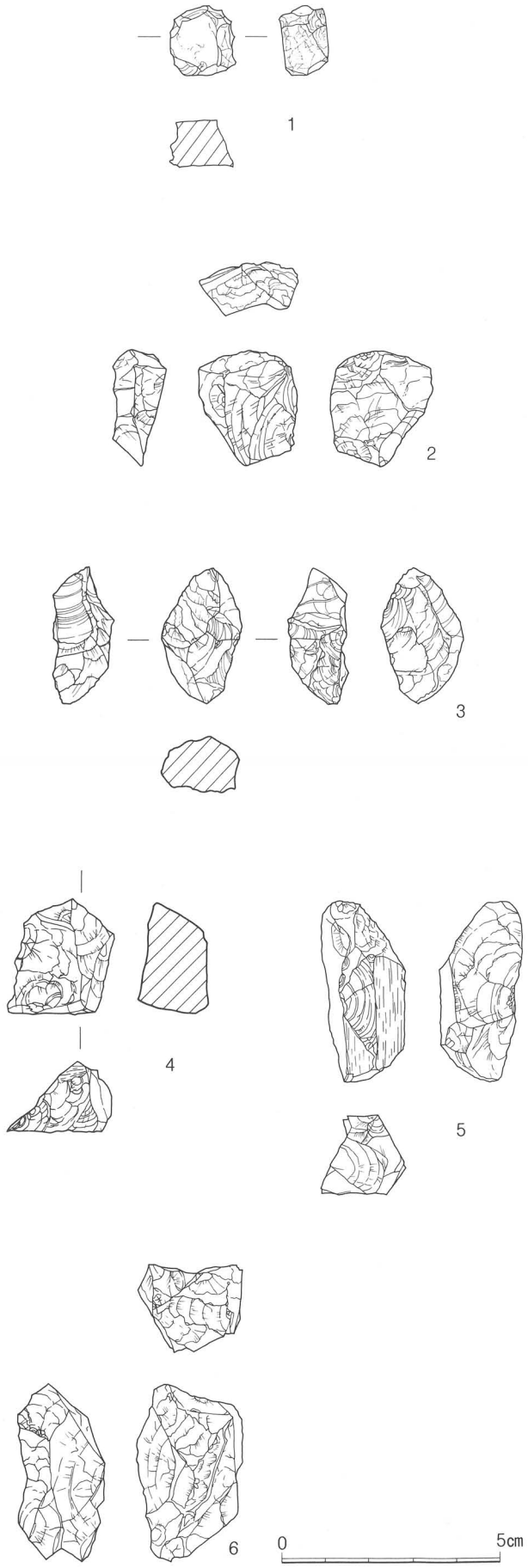
川原石（第125図）

SI01覆土（灰褐色土）中からは、円形もしくは楕円形を呈する川原石状の小石が5点出土している。福富Ⅰ遺跡でも注意された資料である。玉作に関係する遺物の可能性もあるので4点を図示しておく。扁平なもの（125－1・2・4）と丸みを帯びたもの（125－3）がある。いずれも表面は滑らかな触感を覚えるが、明らかに人為的な加工が認められるものは無いといえる。

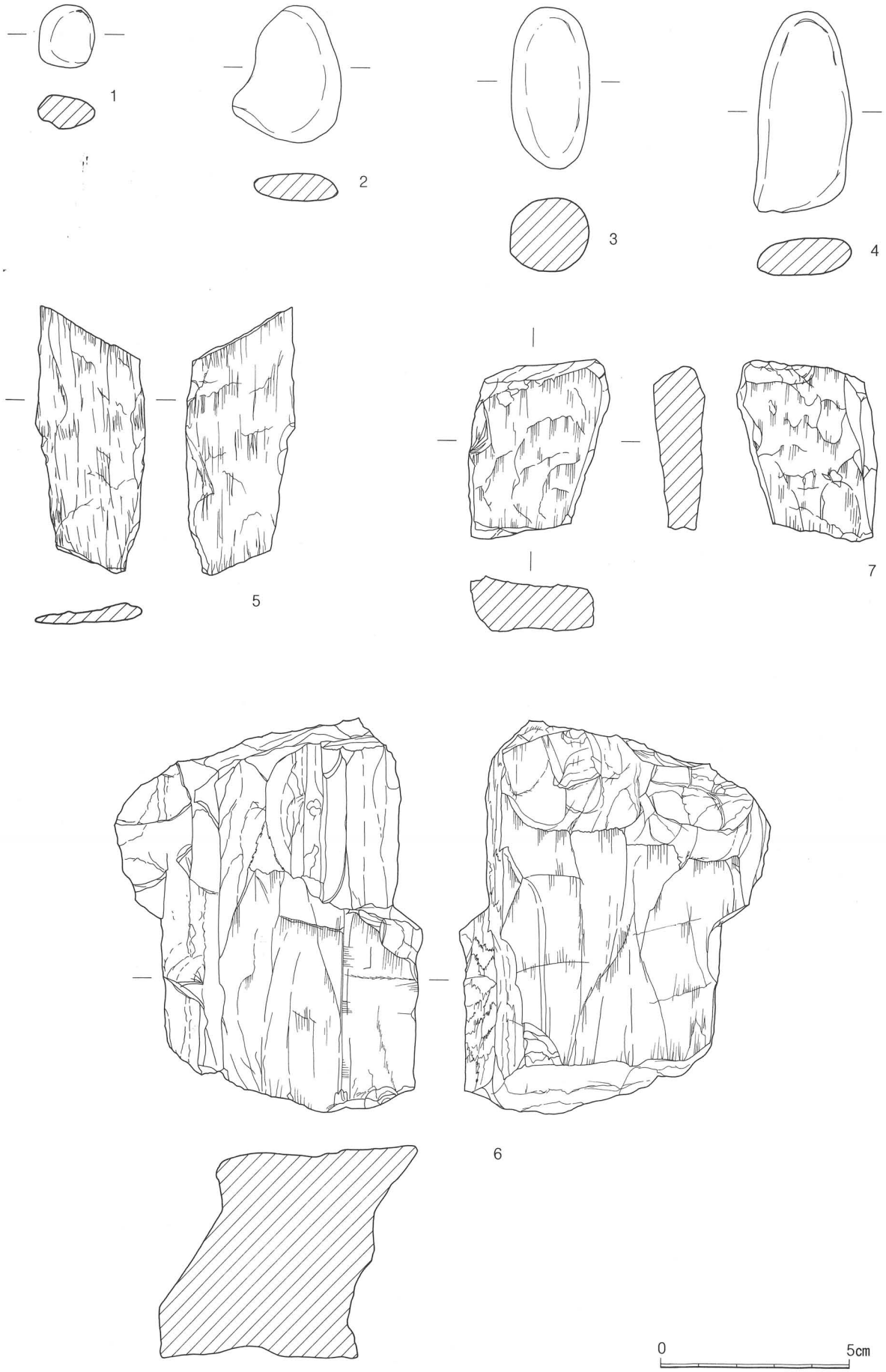
砥石（第125図）

SI01付近出土した砥石は3点で、いずれも結晶片岩製と推察される。

125－5は、覆土（灰褐色土）中から出土した扁平な板状のものである。ほぼ表裏の全面



第124図　SI01床面付近及び覆土中出土遺物実測図（水晶製玉未成品）（S＝2：3）



第125図　SI01覆土中出土遺物実測図（小石・砥石）（S＝2：3）（但し7は遺構外包含層出土）

に擦痕が認められ、表の面（図中左側）には長軸方向のごく浅い凹みが筋状に確認される。歪な四角形状を呈し、全長7.1cm、幅2.9cm、厚さ0.6cmを測る。

125－6は、覆土（灰褐色土）中から出土した拳大の角礫状を呈するものである。図中の表裏面に擦痕が認められ、上下端面、両側面には観察されない。表裏面には図中縦方向のごく浅い凹みが筋状にある。筋砥石としての使途が推測される。全長10.4cm、最大幅8.2cm、厚さ7.7cmを測る。

125－7は、出土層位がSI01覆土に相当するか否か微妙であるが、覆土上層付近の暗褐色土層（第117図4層）から出土しているのでここに掲載する。125－5と同様に板状で歪な四角形を呈する扁平なものである。ほぼ表裏の全面に擦痕が認められるが、前2者で観察された縦方向の浅い筋状の凹みは不明瞭である。全長4.65cm、最大幅3.75cm、厚さ1.5cmを測る。

遺構の時期と性格　遺構に伴出する多くの土師器は松山編年Ⅲ～Ⅳ期、須恵器は大谷編年出雲1期の様相を示している。したがって、時期については古墳時代中期後葉の定形化須恵器出現頃に比定されよう。

また、遺構内堆積土から出土する玉作関係遺物の質量、出土状況から推察して、当該期に玉作工房として機能していたことはほぼ確実であろう。そして、出土遺物の様相からしてその営為は比較的短期間に限られた事象であったことが推測される。

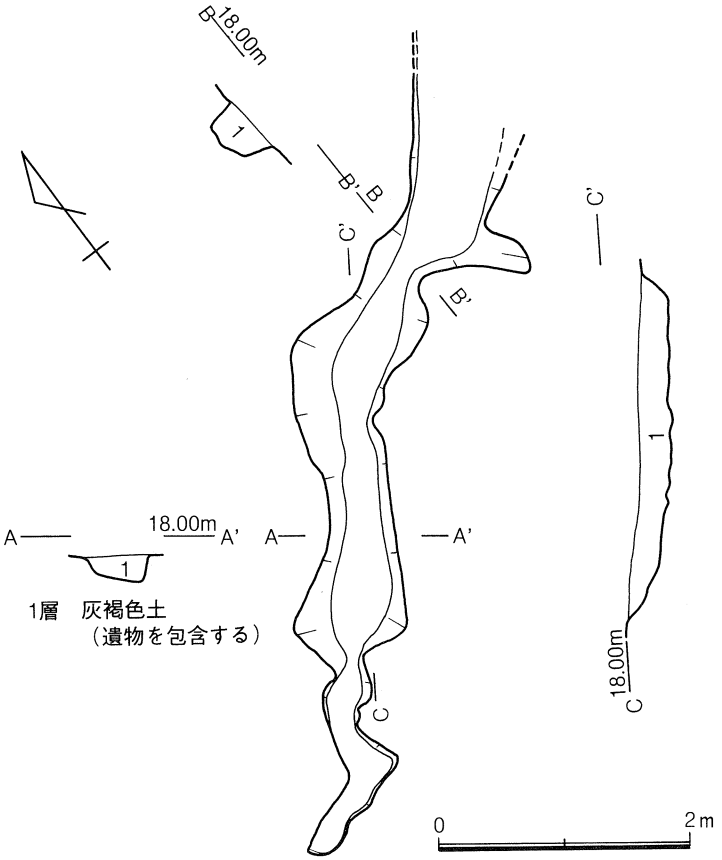
（2）SD01（第126図）

位置　調査区の中程、標高18.25～17.5m付近の緩斜面上に位置する溝状遺構である。SI01とSX01のほぼ中間付近に位置し、両者との距離は1～2mと近接している。

形状・規模　南西方向から北東方向に向かい蛇行しながら伸びる不整な形状を呈している。溝の断面形は不整な「U」字状を呈しており一定していない。底面は凹凸が顕著であるが、周辺地形と同じく谷地形の下方へと傾斜している。溝の北東（下方）端部は、木根による撹乱のため破壊されており形状は不明である。

規模は、残存部の遺構上面で長さ約6.5m、幅約0.2～1.2m、深さ0.2～0.3m前後を測る。

覆土　溝内堆積土は灰褐色土が単層堆積していた。同層からは、須恵器片・土師器片（コンテナ約4分の1箱分）のほか、碧玉・瑪瑙・水晶製の玉未成品及び剥片



第126図　SD01実測図（S＝1：60）

（未成品27点、剥片約40点）、微量の炭化物が混在して出土しているが、いずれも周辺から土砂とともに流入、自然堆積したものと推察される。

出土遺物

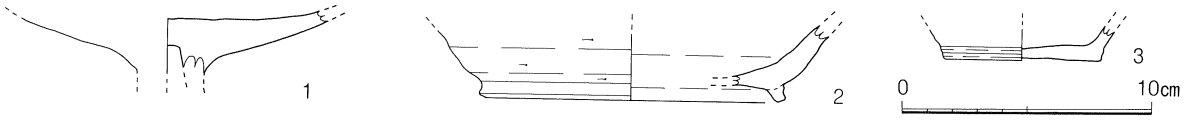
＜土器類＞（第127図）

ほとんどは、実測に耐えない小片であったが、次の３点を図化した。

127－１は、覆土中から出土した土師器高杯の杯部片である。杯部の底部のみが残存する。風化のため内外面とも調整は不明瞭であるが、おそらくナデている。焼成は良好で橙褐色を呈し、胎土は径１～２㎜の砂粒を少量含むが緻密である。松山氏の高杯製作技法の分類（註６）に照らせば、脚部との接続法γが想定されることなどから古墳時代中期後半（松山編年Ⅲ期）以後の所産で、古墳時代の範疇に収まるであろう。

127－２は、覆土中から出土した須恵器の壷もしくは杯身の底部片である。底部の約６分の１以下が残存し、外反する貼付高台が認められる。復元底径約11.6㎝を測る。調整は、内面に回転ナデ、外面にヘラケズリ、底部外面と高台は回転ナデが施される。なお、底部の一部に僅かに静止糸切り痕が見られる。焼成はやや不良で、内面・底部は明灰色、外面は灰褐色、断面は淡橙褐色を呈し、胎土は緻密である。時期は判然としないが、形態からすると８世紀頃の所産であろう。

127－３は、覆土中から出土した須恵器の杯身底部片である。底部の約４分の１が残存し、復元底径約6.2㎝を測る。調整は外面に回転ナデ、底面外部に回転糸切り痕が認められる。焼成は良好で灰色を呈し、胎土には径１㎜以下の微細砂粒を僅かに含むが緻密である。時期は判然としないが、形態からして９世紀頃の所産であろう。



第127図　SD01（灰褐色土）出土遺物実測図（S＝1：3）

＜玉作関係資料＞

いずれも、堆積土中に混入したものであろう。第２節末の一覧表（表42）を報告にかえる。

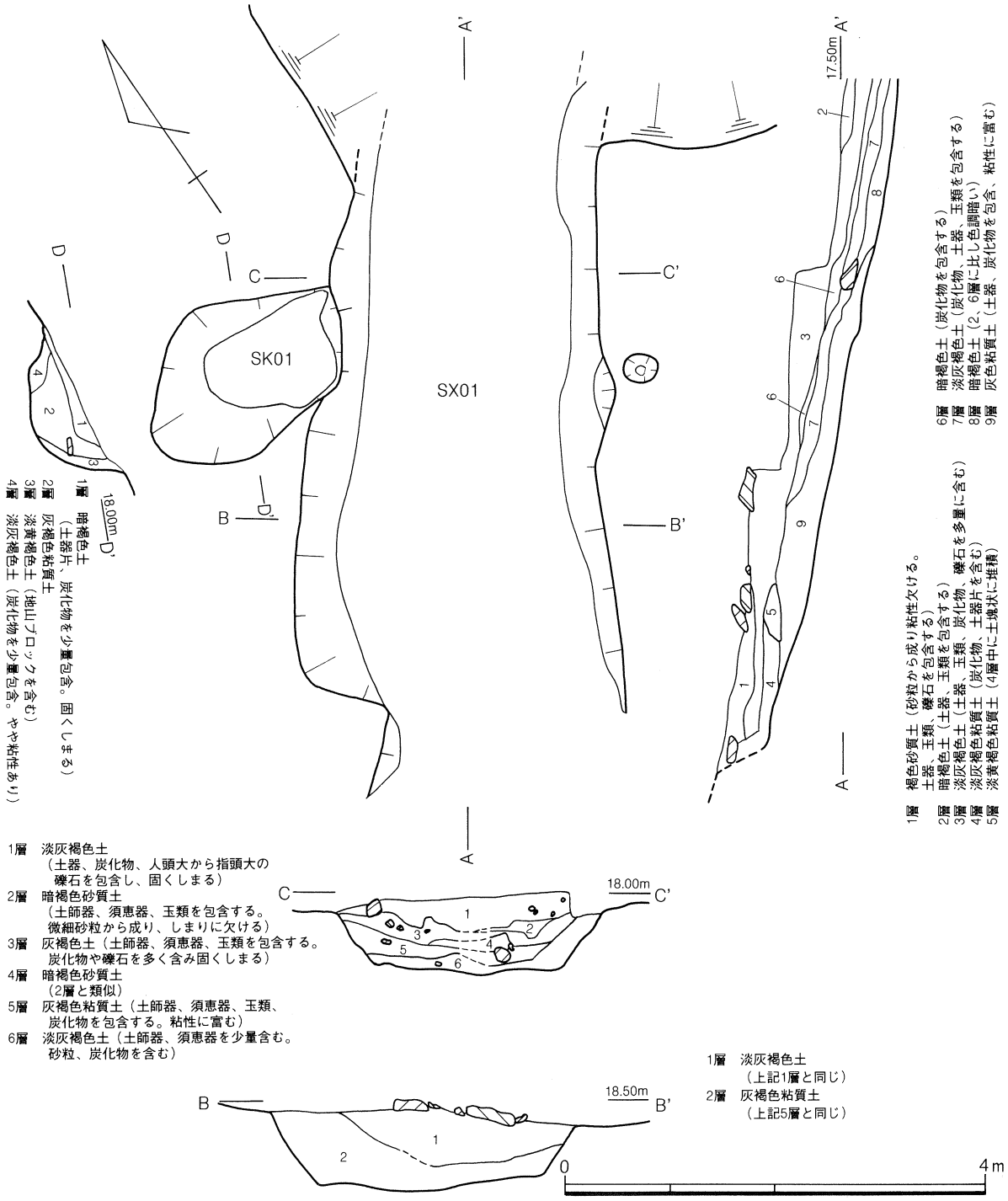
時期と性格　時期は、古墳時代中期後半から９世紀頃までの様相を示す遺物が混在する状況にあって特定しかねる。性格は、溝の形状及び遺物出土状況等からすると、人為的な溝よりはむしろ丘陵斜面に何らかの要因で生じた自然流路と推察される。

（３）SX01（第128図）

位置　調査区の西側、標高17.5～18.5m付近の緩斜面上に位置する規模の大きな溝もしくは土壙状の遺構である。

形状・規模　南西方向から北東方向に向かい地山地形の傾斜に沿うように平面長方形状の掘り込みとして検出された。遺構の上端（南西端）と下端（北東端）は、開墾等による後世の攪乱によって既に破壊されており遺存しなかった。遺構の横断面形は逆台形状を呈し、いわゆる「箱掘り」的な印象をもつ。底面は起伏が少なく平坦で、地形なりに下方（北東方向）へと傾斜している。

規模は、残存部の遺構上面で長さ約６ｍ、最大幅約約3.1ｍ、深さ0.4～0.8ｍ前後を測る。



第128図　SX01・SK01付近実測図（S＝1：60）

覆土と遺物出土状況　遺構内堆積土は第128図に図示したとおりである。

縦断面Ａ－Ａ’にて、地山である底面にほぼ並行する傾斜の複数の土層堆積が確認される。横断面Ｂ－Ｂ’，Ｃ－Ｃ’において複数度にわたって土砂が自然に流入したかのような堆積状況が認められる。総じて人為的に埋められたような状況は伺えず、おそらく遺構周辺の土砂が複数の遺物を包含しつつ流入、自然堆積したものと理解して良いだろう。

なお、遺構検出面である最上層の上面には拳大から人頭大の大きさを中心とする礫石が集中して検出された。これが、人為によるものか否かははっきりしない。

遺物は、ほとんど全土層から、須恵器・土師器片（約20点弱）のほか、碧玉・瑪瑙・水晶製の玉類未成品及び剥片（未成品174点、剥片326点）、川原石（４点）、石器、炭化物等が混在して出土している。遺物の半数以上は遺構底面の地山直上層である灰褐色系の粘質土から出土しているが、時期を異にする各種の遺物が混在しており層位による時期比定は容易ならざる状況にあった。

出土遺物

＜土器類・石器類＞（第129図）

実測可能な土器類18点、石器１点を図化した。打製石器については、遺構に直接伴わない遺物の項（ｐ.172）で述べる。

129－１は、覆土（暗褐色土）中から出土した土師器の甕片である。口縁端部が内傾する退化した複合口縁をもつ。口縁部の約８分の１が残存し、復元口径13.3cmを測る。調整は内外面にヨコナデが認められる。焼成は良好で淡黄白色を呈し、胎土は径１の微細砂粒を多く含むが緻密である。古墳時代中期（松山編年Ⅱ～Ⅲ期）頃の所産と考えられる。

129－２は、弥生土器か土師器の小型の壺片と推測されるが判然としない。覆土上の遺構検出面付近から出土している。胴部が大きく張りだす形状を呈する。胴部の約４分の１が残存している。風化のため外面の調整は不明瞭であるが、内面の頸部以下に指押さえとヘラケズリらしき痕跡が認められる。焼成は良好で淡橙白色を呈し、胎土には径１㎜以下の微細砂粒を多く含む。時期は判然としない。

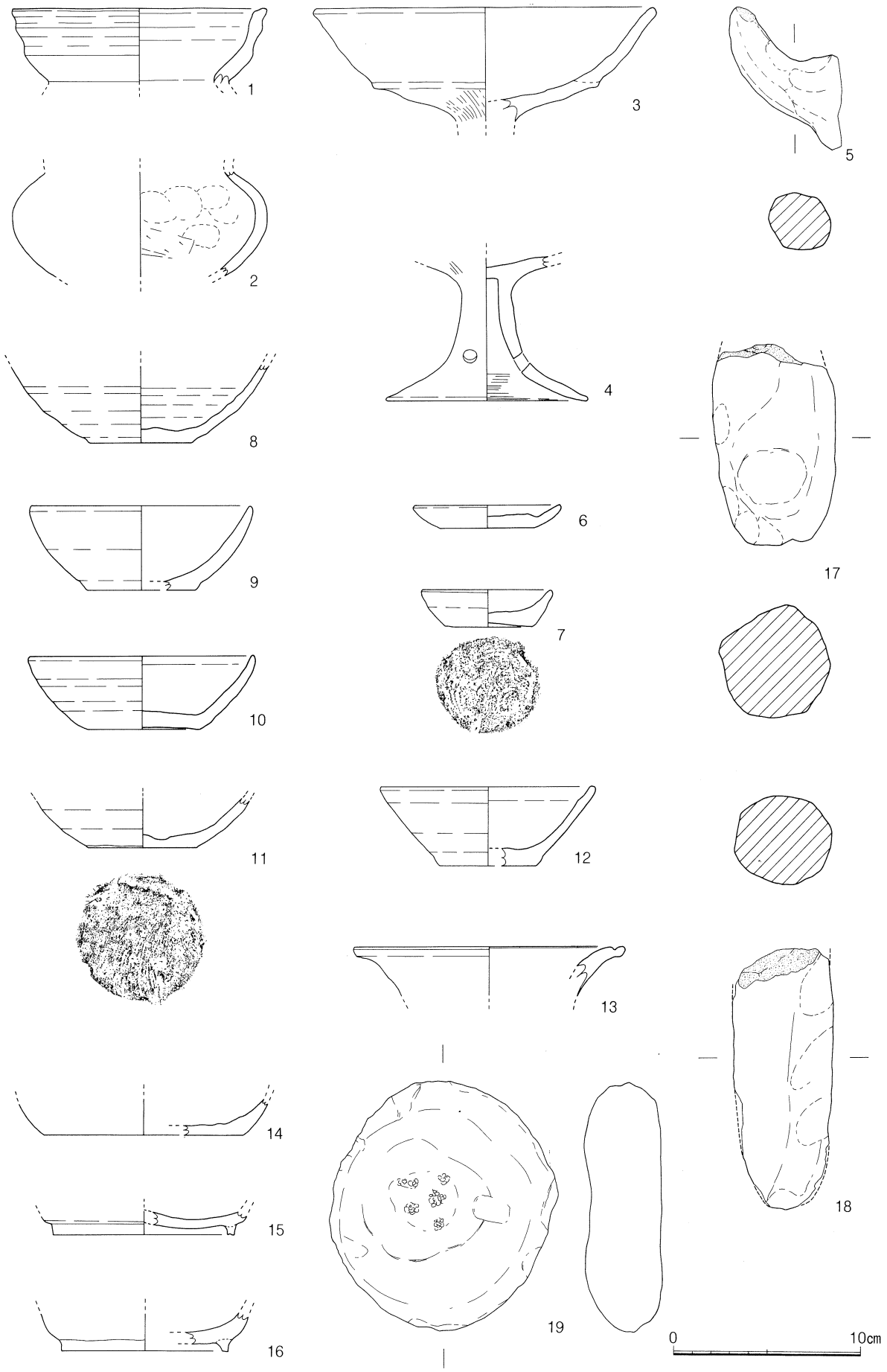
129－３は、覆土（灰褐色土）中から出土した土師器の高杯片である。口縁端部外面に外傾する平坦面をもち、杯部は体部と底部の境に明瞭な段が認められ接合痕を示唆する。杯部の約3分の1が残存し、復元口径約18cmを測る。風化のため調整は不明瞭であるが、外面の杯部と脚部の接合箇所付近に縦方向のハケメ調整が認められる。焼成は良好で内外面ともに明橙褐色を呈し、胎土には径１～２㎜の砂粒を多く含む。時期は判然としないが、古墳時代中期（松山編年Ⅱ～Ⅲ期）頃の所産と考えられる。

129－４は、覆土（淡灰褐色土）中から出土した土師器の高杯脚部片である。脚部が「ハ」の字状に開き、下方には円形の透かしが三方に空いている。全体の約２分の１が残存し、底径約10.8cm、残存部高7.7cmを測る。風化のため調整は不明瞭であるが、杯部底部外面・脚部底部内面に僅かにハケメ調整が認められる。焼成は良好で内外面ともに明橙色を呈し、胎土には径２㎜以下の砂粒を少量含む。

129－5は、覆土（灰褐色土）中から出土した土師器の甑形土器の把手片である。牛角状に強く湾曲する形を呈する。外面には指オサエと指ナデによる調整痕が顕著に認められるが、風化のため内面の調整は不明瞭である。残存部長約８cm、直径約3.5cmを測る。焼成は良好で淡黄白色を呈し、胎土は径１～２㎜の砂粒を多く含む。

129－６は、覆土（灰色土）中から出土した土師器の皿である。約４分の３が残存し復元口径8.0cm、器高1.2cm、底径5.3cmを測る。調整は、内面は回転ナデで同心円状の調整痕を残し、外面は風化により不明瞭ではあるが回転ナデが認められる。底部には回転糸切り痕が微かに確認される。焼成は良好で内外面黄白褐色を呈し、胎土には径１～３㎜の砂粒を多く含む。時期は判然としないが、中世期であろう。

129－７は、覆土中（灰色土）中から出土した土師器の皿である。ほぼ完形で復元口径約6.95cm、



第129図　SX01付近出土遺物実測図（S＝1：3）

器高２㎝、底径4.8㎝を測る。調整は風化のため不明瞭であるが、内外面に回転ナデ、底部外面に回転糸切り痕が認められる。焼成は良好で明橙褐色を呈し、胎土には径１㎜以下の微細砂粒を少量含むが緻密である。時期は判然としないが、12世紀後半～13世紀（八峠編年[註7]島根中世Ⅱ～Ⅲ期）頃の所産と推定される。

129－８は、覆土（淡灰褐色土）中から出土した土師器の杯片である。口縁部を欠損するが約５分の4が残存し、底径5.4㎝を測る。調整は風化のため不明瞭であるが、内外面に回転ナデ、底部外面に回転糸切り後それをナデ消した痕が認められる。焼成は良好で外面明橙褐色、内面橙白色を呈し、胎土には径２～３㎜の砂粒を少量含む。時期は判然としないが、12世紀後半～13世紀（八峠編年島根中世Ⅱ～Ⅲ期）頃の所産と推定される。

129－９は、覆土上面の遺構検出面付近から出土した土師器の杯片である。口縁部から底部の一部にかけて約５分の１が残存し、復元口径12㎝、器高4.5㎝を測る。調整は風化のため不明瞭であるが、内外面に回転ナデ、底部外面に回転糸切り痕が観察される。焼成はやや良好で外面淡橙褐色、内面橙白色を呈し、胎土には径１～２㎜の砂粒を多く含む。時期は判然としないが、12世紀後半～13世紀（八峠編年島根中世Ⅱ～Ⅲ期）頃の所産と推定される。

129－10は、覆土（灰色土）中から出土した土師器の杯片である。約２分の１強が残存し、口径12㎝、器高3.9㎝、底径６㎝を測る。調整は風化のため不明瞭であるが、内外面に回転ナデ、底部外面に回転糸切り痕が観察される。底部内面には同心円状にナデ調整の痕も認められる。焼成は比較的良好で内外面明橙白色を呈し、胎土には径１㎜以下の微細砂粒を多く含むが緻密である。時期は判然としないが、12世紀後半～13世紀（八峠編年島根中世Ⅱ～Ⅲ期）頃の所産と推定される。

129－11は、覆土（暗褐色土）中から出土した土師器の杯片である。口縁部を欠損するが約5分の3が残存し、底径６㎝を測る。調整は内外面に回転ナデ、底部外面に静止糸切り痕が観察される。底部内面には同心円状にナデ調整の痕も認められる。焼成は良好で内外面淡橙白色を呈し、胎土には径２～４㎜の砂粒を多く含む。時期は判然としないが、12世紀後半～13世紀（八峠編年島根中世Ⅱ～Ⅲ期）頃の所産と推定される。

129－12は、覆土（淡灰褐色土）中から出土した土師器の杯片である。８～11に比べ底部から口縁部にかけて比較的真っすぐ伸びている。口縁部から底部の一部にかけて約６分の１が残存し、復元口径11.6㎝、器高4.2㎝、底径5.2㎝を測る。調整は風化のため不明瞭であるが、内外面に回転ナデ、底部外面に回転糸切り痕が観察される。焼成は良好で内面は淡赤褐色、外面は淡白褐色を呈し、胎土には径2㎜以下の微細砂粒を含む。時期は判然としないが、12世紀後半～13世紀（八峠編年島根中世Ⅱ～Ⅲ期）頃の所産と推定される。

129－13は、覆土（暗褐色土）中から出土した須恵器の壷片である。口縁部の約８分の１が残存し、復元口径約14㎝を測る。ラッパ状に大きく外反する口縁で、端部内面に幅２～３㎜の沈線がめぐる。調整は内面が器面に沿う横方向のナデ、外面が回転ナデを施している。焼成は良好で内面は灰褐色、外面は暗青灰色を呈し、胎土は緻密である。時期は判然としないが、形態からして８～９世紀の所産であろうか。

129－14は、覆土（灰褐色土）中から出土した須恵器の杯身片である。底部の約４分の１が残存し、復元底径約10.8㎝を測る。調整は内面外面に回転ナデ、底部外面に回転糸切り痕を残している。焼成は良好で内外面ともに暗灰色を呈し、胎土は微細砂粒をわずかに含むが緻密である。時期は判

然としないが、８世紀後半～９世紀後半頃の所産であろうか。

129－15は、覆土（灰色土）中から出土した須恵器の杯身片である。底部の約４分の１が残存し、貼付高台が認められる。復元底径約9.8cmを測る。調整は内外面に回転ナデを施し、底部内外面の一部に不定方向のナデ調整が認められる。焼成は良好で内外面ともに灰色を呈し、胎土は緻密である。時期は判然としないが、８世紀後半～９世紀後半頃の所産であろうか。

129－16は、覆土上面とほぼ同レベルの遺構に近接する東方地山上から出土した須恵器の杯身片である。底部の約５分の１が残存し、貼付高台が認められる。復元底径約９cmを測る。調整は内外面に回転ナデを施し、底部外面の一部に回転糸切り痕が残る。焼成はやや良好で内外面ともに暗灰色を呈し、胎土は径１～２mmの砂粒を含む。時期は判然としないが、８世紀後半～９世紀後半頃の所産であろうか。

129－17・18は、覆土（灰褐色土）中から出土した棒状を呈する土製品の破損品である。ともに土師質で上端部を欠損する。器表には点々と指押さえらしき痕が認められる。断面は円形状で前者は太いタイプ、後者は細いタイプである。

前者は、残存部長10.7cm、最大径約６cmを測る。焼成は良好で、胎土は明黄褐色を呈し、径1mm以下の微細砂粒を多く含むが緻密である。

後者は、残存部長13.8cm、最大径約5.5cmを測る。焼成は良好で、胎土は明黄白色を呈し、径1mm以下の微細砂粒を多く含む。

使途や時期は不明であるが、鍋など土器に付随する脚部の破片かもしれない。

129－19は、覆土上面の多数の礫石とともに遺構検出面付近から出土した凹石状の石器である。平面はほぼ円形、断面は長楕円形状を呈する。器表面は風化が著しいが、片面の中央部には明らかな敲打痕が認められる。全長13.3cm、最大幅12.5cmを測り、淡赤褐色を呈する。

＜玉作関係資料＞（碧玉・瑪瑙・水晶製未成品及び剥片、川原石）

数点を選択し、後述する遺構に直接伴わない遺物（玉類）の項で図化・詳述する（第131～135図）。なお、他の多数は第２節末の一覧表（表42）を報告にかえ図化は省略する。

時期と性格　出土土器は、少なくとも古墳時代中期頃のもの、８世紀後半～９世紀後半頃までのもの、12～13世紀頃のもの、という三時期の様相を呈している。しかし、既述のとおり時期を異にする多様な遺物が混在して出土する状況からは、遺構の厳密な年代比定は困難といわざるをえない。ただし、あえて言えば、年代の最も下る12～13世紀の土器類が、遺構内堆積土の最下層から比較的多く出土する傾向が認められるので、この遺構廃絶時に最も近い時期を示唆している可能性はある。

なお、遺構の性格については、掘り方から察するに人為的な様相がうかがえるが、その使途については全く見当がつかない。

（4）SK01（第128図）

SX01の西方に隣接して検出された摺り鉢状の土坑である。

撹乱によりSX01との層序関係は明確ではなかったが、遺構の切り合いからすると先にSX01が存在し、後ちにこの土坑が掘られた可能性が高い。

平面形は不整形を呈し、残存部最大径約２m、最大深約0.5mを測る。

覆土は、図示したとおりであるが、最上層の暗褐色土（１層）を中心に須恵器小片５点、碧玉・瑪瑙製玉未成品７点、同剥片４点が出土している。いずれも土砂とともに偶然流入したものと推定される。土器類は風化・磨耗の著しい実測に耐えない細小片で図化は省略する。玉未成品、剥片も第２節末の一覧表（表42）を報告にかえる。

遺構に伴う明確な遺物は皆無で、遺構の時期・性格ともに不明である。

（5）遺構に伴わない出土遺物

ここでは、上記の各遺構外で調査区全体に広がる包含層、掘削土中から出土した、あるいは遺構内出土であっても明らかに遺構に伴わないと判断された主な土器類、玉作関係資料、打製石器類について一括してその概要を述べる。

＜土器類＞（第130図）

多数の土師器・須恵器片等（コンテナ約２箱分）が出土している。細小片が圧倒的多数を占めたが実測可能な資料から15点を抽出して報告する。

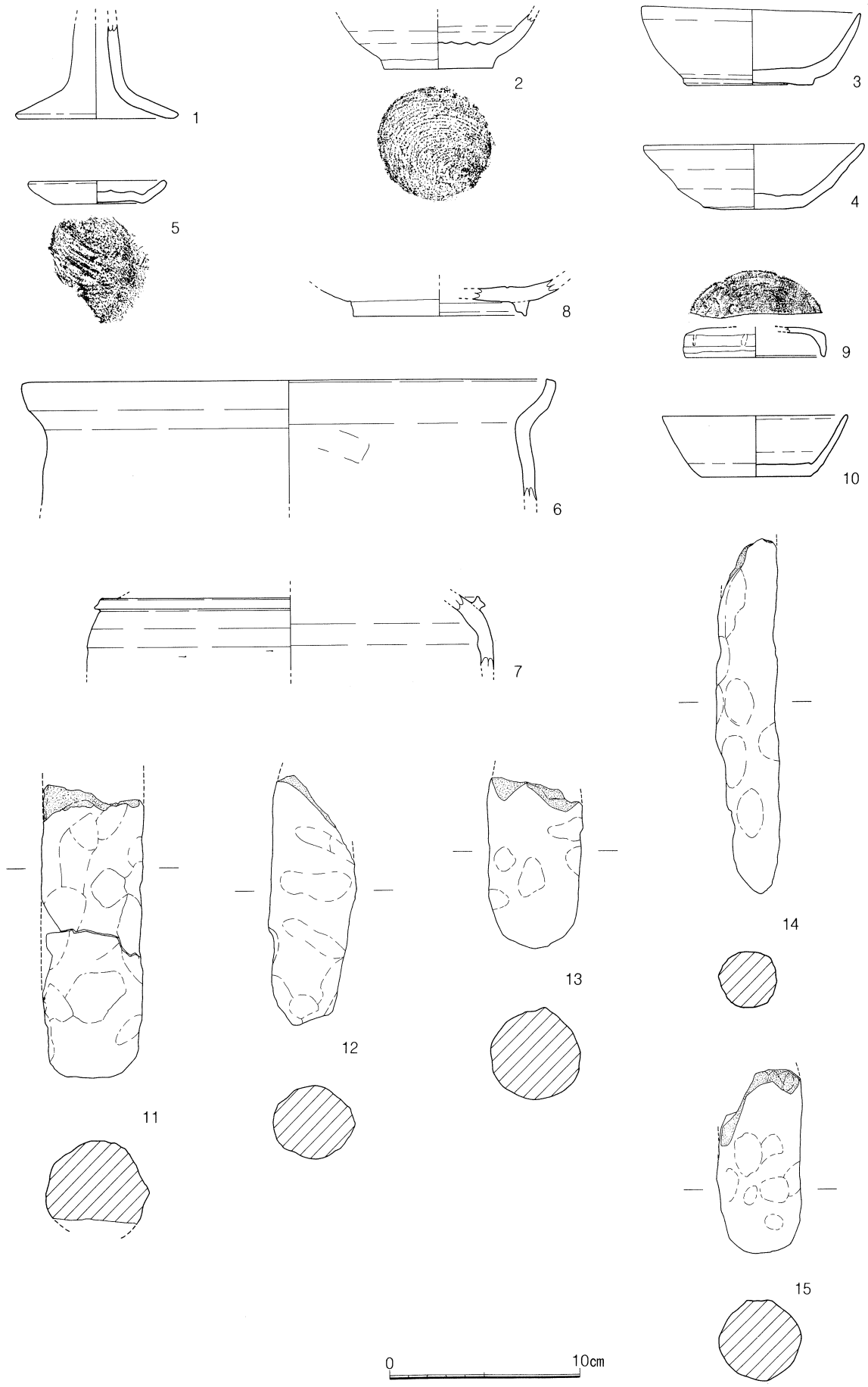
130－１は、包含層（暗褐色土）中から出土した土師器の高杯片である。脚端部が「ハ」の字状に広がるもので、脚部が３分の２程残存し、復元底径8.2cmを測る。調整は風化のため内外面ともに不明瞭である。焼成は良好で淡赤褐色を呈し、胎土には微細な砂粒を含む。時期は判然としないが、古墳時代後半期の所産であろうか。

130－２は、包含層（地山上暗褐色土）中から出土した土師器の杯片である。円盤状高台の付く底部から体部の約５分の３強が残存し、底径5.8cmを測る。調整は風化のため不明瞭であるが、内外面に回転ナデ、底部外面に回転糸切り痕が観察される。底部内面には同心円状のナデ調整の痕を残している。焼成は良好で内外面とも黄褐色を呈し、胎土には径２mm以下の微細砂粒を多く含む。時期は判然としないが、13世紀（八峠編年島根中世Ⅲ期）頃の所産と推定される。

130－３は、包含層（地山上暗褐色土）中から出土した土師器の杯片である。口縁部の一部を欠損するが約４分の３が残存し、口径11.5cm、器高4.2cm以下、底径6.6cmを測る。調整は内外面とも風化のため不明瞭である。円盤状高台付きの底部をもち、底部外面に回転糸切り痕が残る。焼成は良好で淡橙褐色を呈し、胎土には径１～３mmの砂粒を多く含む。時期は判然としないが、13世紀（八峠編年島根中世Ⅲ期）頃の所産と推定される。

130－４は、包含層（地山上暗褐色土）中から出土した土師器の杯片である。口縁部の一部を欠損するが約５分の４が残存し、口径11.6cm、器高3.4cm以下、底径5.4cmを測る。調整は内外面とも風化のため不明瞭であるがおそらく回転ナデと思われ、底部内面には同心円状のナデ調整の痕を、外面に回転糸切り痕が残る。焼成は良好で淡褐色を呈し、胎土には径２mm以下の砂粒を多く含む。時期は判然としないが、12～13世紀（八峠編年島根中世Ⅱ～Ⅲ期）頃の所産と推定される。

130－５は、包含層（地山暗褐色土）中から出土した土師器の皿である。ほぼ完形で復元口径約



第130図　遺構に伴わない出土遺物実測図（土器類）（S＝1：3）

7.0㎝、器高1.2㎝、底径4.6㎝を測る。調整は風化のため不明瞭であるが、内外面に回転ナデ、底部外面に回転糸切り痕が認められる。底部内面には同心円状のナデ調整の痕を残す。焼成は良好で暗灰褐色を呈し、胎土には径１㎜以下の砂粒を多く含む。時期は判然としないが、13世紀（八峠編年島根中世Ⅲ期）頃の所産と推定される。

130－６は、掘削土中から採取した土師器の鍋の破片である。口縁部の約６分の一が残存し、復元口径約27㎝を測る。調整は風化のため不明瞭であるが、口縁端部内外面に横方向のナデ、頸部以下の内面にハケメ調整痕を微かに認めることができる。焼成はやや不良で、内外面淡黄褐色を呈し、胎土は径１㎜程の微細砂粒を含むが緻密である。時期は判然としないが、13世紀（八峠編年島根中世Ⅲ期）頃の所産と推定される。

130－７は、包含層（暗褐色土）中から出土した須恵器の壷片と推定される。貼付凸帯をもつ壷の肩付近の細片である。調整は外面体部下端付近に回転ヘラケズリが認められるほかは、内外面全て回転ナデを施している。時期は判然としないが、形態から９～10世紀頃の所産ではなかろうか。

130－８は、表土中から採取した全面単彩の緑釉陶器の杯片である。底部の約６分の１が残存し、復元底径９㎝を測る。底部内面には１条の沈線がめぐり、外面には貼付けの有段輪高台が認められる。調整は、内外面回転ナデを施し、底部外面には回転糸切り痕が認められる。焼成は良好で、表面は濃緑色、断面は明灰色を呈し、胎土は緻密である。時期は判然としないが、器面の色調から近江系の様相が看取され９～10世紀前半頃の所産と推定される。(註８)

130－９は、包含層（地山上暗褐色土）中から出土した青白磁の合子蓋片である。約４分の１が残存し、復元口径7.4㎝を測る。蓋上面には隆線による輪花状の施紋が認められるが、モチーフは不明である。施釉は内外面に認められるが、口唇部外面には幅２～３㎜の帯状に施釉後釉を掻きとった様が認められる。また内面は、天井部のみに施釉され側面には認められない。調整は、内外面回転ナデを施している。天井部の破面に漆の付着が見られ、おそらく接合痕と推察される。焼成は良好で、表面は淡白緑色を呈し胎土は緻密である。時期は判然としないが、12～13世紀頃の所産と推定される。

130－10は、包含層（地山上暗褐色土）中から出土した白磁の皿片である。口縁部を大きく欠くが約３分の２が残存し、復元口径9.8㎝、器高3.2㎝、底径5.8㎝を測る。ほぼ全面に施釉が認められるが、側面最下端には幅約５㎜の帯状の非施釉面がめぐっている。調整は、内外面ともに回転ナデが認められ、底部外面には回転糸切り痕が残り、淡緑色の施釉が顕著である。焼成は良好で淡灰白色を呈し、胎土は緻密である。時期は判然としないが、色調、形態から13～14世紀前半頃の所産と考えておきたい。

130－11～15は、棒状を呈する土製品の破損品である。いずれも土師質で上端部を欠損する。器表には点々と指押さえらしき痕が認められる。太さに差異はあるが、断面はほぼ円形状を呈している。

使途や時期は不明であるが、鍋など土器に付随する脚部の破片かもしれない。

130－11は、包含層（地山上暗褐色土）中から出土したもので残存部長15.2㎝、最大径約5.5㎝を測る。焼成は良好で、胎土は明黄褐色を呈し径１～３㎜の微細砂粒を多く含むが緻密である。

1130－12は、包含層（灰褐色土）中から出土したもので残存部長13.1㎝、最大径約4.5㎝を測る。焼成は良好で、胎土は暗黄褐色を呈し、径１～３㎜の砂粒を多く含む。

130－13は、包含層（地山上暗褐色土）中から出土したもので残存部長約９㎝、最大径約５㎝を測る。焼成は良好で、胎土は灰褐色を呈し、径１～３㎜の微細砂粒を多く含む。

130－14は、包含層（地山上暗褐色土）中から出土したもので残存部長18.5㎝、最大径約3.1㎝を測り、かなり細長い印象をもつ。焼成は良好で、胎土は明橙褐色を呈し、径１～３㎜の砂粒を多く含むが緻密である。

130－15は、包含層（地山上暗褐色土）中から出土したもので、残存部長9.6㎝、最大径約4.4㎝を測る。焼成は良好で、胎土は灰褐色を呈し径１～２㎜の砂粒を多く含むが緻密である。

＜玉作関係資料＞

遺構に直接伴わない玉作関係資料は調査区全体から大量に出土している。碧玉・瑪瑙・水晶・川原石等の玉類未成品・剥片の総出土点数は1,591点、総重量は18,903.17ｇにのぼり、内訳は表37のとおりである。

総重量に占める各石材の重量比を比較すると、碧玉48.76％、瑪瑙44.63％、水晶4.55％、川原石（小石）0.44％と石材間に差がある。資料の共伴関係、同時代性を全く無視しているので、一概に比較できないが、SI01付近にみられた碧玉の圧倒的な量の傑出はうかがえない。ただし、碧玉が最多で、次いで瑪瑙、水晶の順でこれにつづくという傾向は同じである。

ほかに結晶片岩製と推測される砥石２点、小石（川原石か）７点も出土しているが、図化は省略し第２節末の一覧表（表42）をもって報告にかえる。

表37　遺構に直接伴わない玉材　出土数と重量

数量＼石材		碧玉	めのう	水晶	川原石	総量
個体数（点）		1,004点	512点	68点	7点	1,591点
重量　（ｇ）		9,216.51g	8,437.53g	860.02g	389.11g	18,903.17g
総量に占める割合	個体数	63.11%	32.18%	4.27%	0.44%	
	重量	48.76%	44.63%	4.55%	2.06%	

以下、資料の共伴関係、同時性、玉製作工程全体像の検討は全くしていないが、SI01の項で述べた分類基準を便宜的に使用し、玉未成品について観察・図化した結果を略述しておく。

参考までに未成品（工程別）・剥片の分類、数量と重量をまとめたのが表38である。

なお、図化しなかった他の多数の資料については、第２節末の一覧表（表42）をもって報告にかえる。

表38　遺構に直接伴わない玉類の未成品（工程別）・剥片の数量と重量
（　）内は、およそ玉の種類が推定されるものの個体数

工程＼石材		碧玉	めのう	水晶
（敲打整形品）	個体数			1点
	重　量			6.75g
側面打裂工程品	個体数	51点（勾7　管6）	72点（勾5　丸1）	11点（勾1）
	重　量	678.52g	990.96g	87.41g
素材剥片	個体数	94点	67点	3点
	重　量	1,431.62g	1,201.44g	34.81g
石核	個体数	47点	46点	3点
	重　量	4,056.73g	3,472.21g	249.45g
原材	個体数	2点	1点	4点
	重　量	1,118.77g	726.89g	397.09g
剥片	個体数	810点	326点	46点
	重　量	1,930.87g	2,046.03g	84.51g
合計	個体数	1,004点	512点	68点
	重　量	9,216.51g	8,437.53g	860.02g

碧玉製未成品（第131・132図）

表38のとおり、原材から側面打裂工程にかけての資料が認められ、一次研磨工程や仕上げ工程に該当する資料は皆無であった。

玉の種類については、未成品の形状から、少なくとも側面打裂工程品において勾玉７、管玉６を確認することができる。

剥片については、1,004点、9,216.51ｇを検出した。参考までに、法量別個体数の比較表（表39）を掲げ報告にかえる。

131－１は、SX01覆土（縦断ベルト淡灰褐色土）中から出土した勾玉の側面打裂工程品（側面打製品）である。背部側面、腹部側面をはじめ細かな剥離調整が認められる。いわゆる半月型を呈する。全長3.5cm、最大幅2.1cm、厚さ0.8cmを測り、断面は長方形状である。

131－２は、包含層（暗褐色土）中から出土した勾玉の側面打裂工程品（調整剥片）である。表面の縁辺部に剥離調整が進んでいる。長さ4.0cm、最大幅3.1cm、厚さ2.3cmを測り、断面は長方形状で厚ぼったい印象をもつ。

131－３は、包含層（褐色土）中から出土した勾玉の側面打裂工程品（調整剥片）である。細かな剥離調整はあまり認められない。全長3.0cm、最大幅2.4cm、厚さ1.3cmを測り、断面は歪な長方形状である。

131－４は、包含層（灰褐色土）中から出土した断面長方形を呈する板状の素材剥片である。主要な剥離面が顕著に認められるが、表面１面には自然面が顕著に残る。全長5.3cm、最大幅3.7cm、厚さ1.3cmを測る。

131－５は、包含層（暗褐色土）中から出土した玉髄質の断面三角形状を呈する石核である。左

第131図　遺構に伴わない出土遺物実測図（碧玉製玉未成品）（1）（S＝2：3）

表39　遺構に直接伴わない
碧玉剥片の法量別個体数

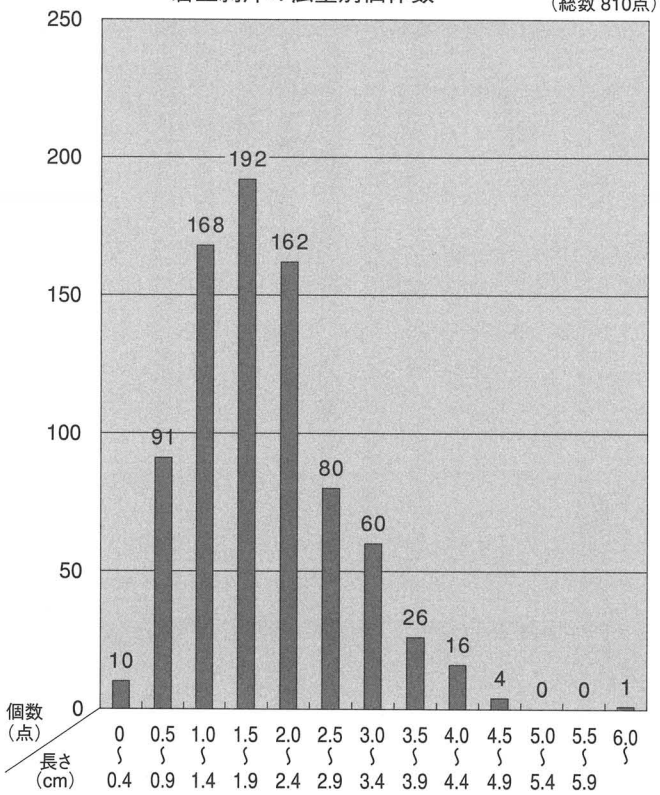
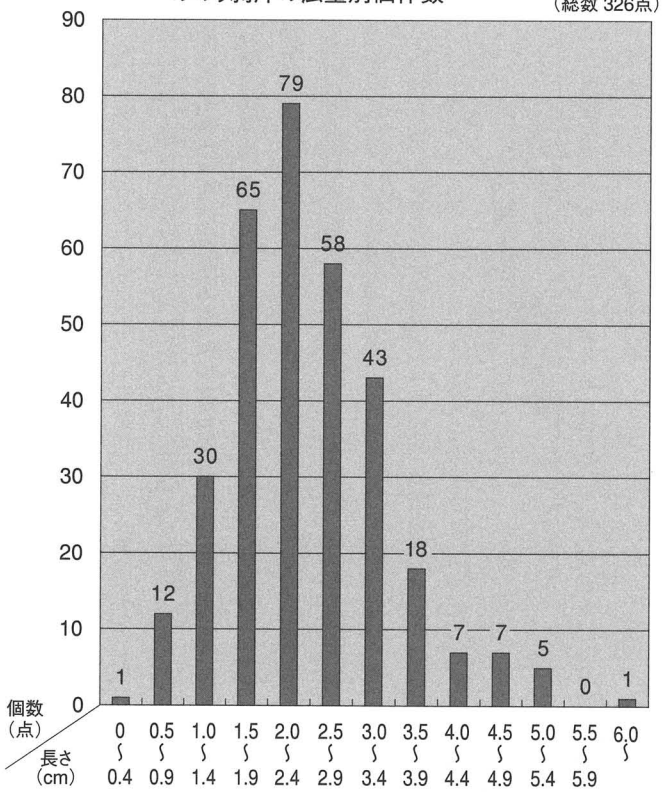


表40　遺構に直接伴わない
めのう剥片の法量別個体数



側面には自然面が認められる。複数面の縁辺部に細かな剥離と、いわゆるつぶれ状の敲打痕が認められる。ハンマーとして使用されたのだろうか。全長7.6cm、最大幅4.4cm、厚さ4.1cmを測る。

132－6は、SX01東方の撹乱土から出土した原材である。大きな自然面が数ヶ所に認められる。複数面の縁辺部に、いわゆるつぶれが認められ打痕を想起させるが、人為によるものか否かは判然としない。全長11.3cm、最大幅10.5cm、厚さ5.7cmを測る。

瑪瑙製未成品（第133図）

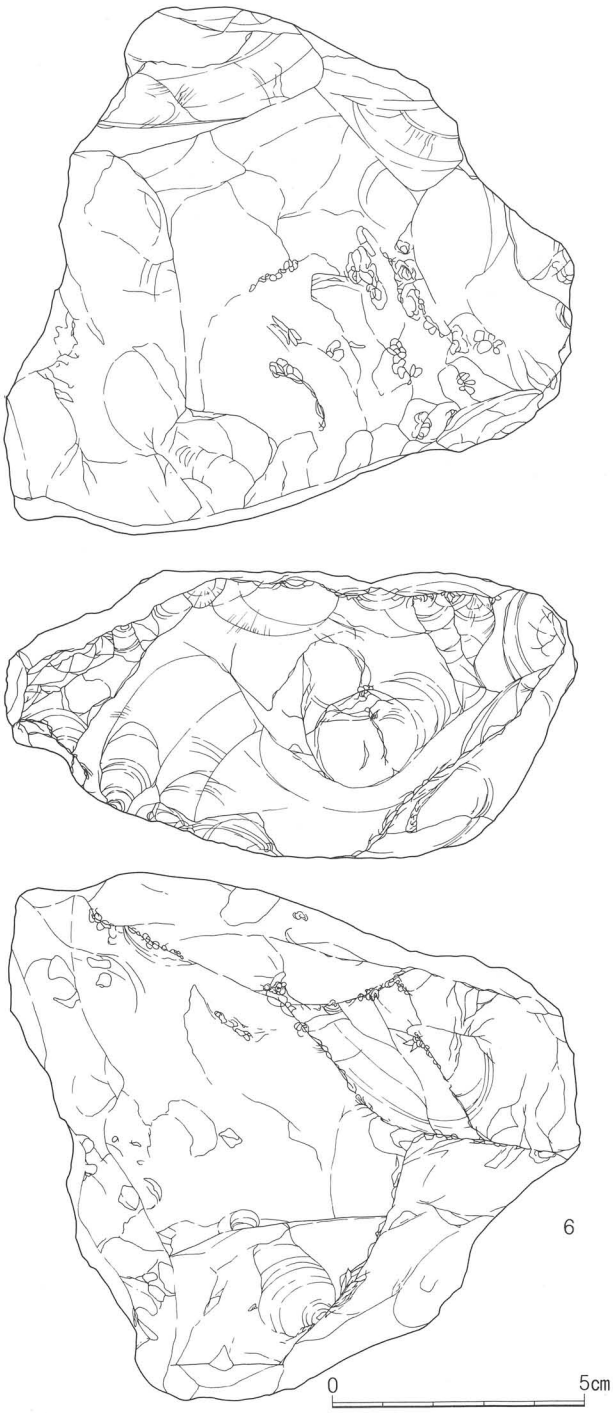
表38のとおり、碧玉と同じく原材から側面打裂工程にかけての資料が認められ、一次研磨工程や仕上げ工程に該当する資料は皆無であった。

玉の種類については、未成品の形状から、少なくとも側面打裂工程品においては勾玉5、丸玉1を確認できる。

剥片につていは、512点、8,437.53gを検出した。碧玉同様、参考までに法量別個体数の比較表（表40）を掲げ報告にかえる。

133－1は、SX01覆土（褐色土）中から出土した側面打裂工程品（側面打製品）である。形状からおそらく丸玉を企図したものと推定される。全側面に剥離調整が認められ、全長2.1cm、最大幅1.7cm、厚さ1.3cmを測る。

133－2は、SX01覆土（灰色土）中から出土した勾玉の側面打裂工程品（側面打製品）である。表面1面はほぼ自然面が残るが、他面は細かな剥離調整が進んでいる。いわゆる半月型を呈する。全長3.1cm、最大幅2.0cm、厚さ1.4cmを測り、



第132図　遺構に伴わない出土遺物実測図（碧玉製玉未成品）（2）（S＝2：3）

断面は長方形状を呈する。

133－3は、掘削土中から採取された側面打裂工程品（調整剥片）である。表裏に大きな自然面を残すが、側面を中心に剥離調整が進んでいる。全長4.0cm、最大幅2.4cm、厚さ1.4cmを測り、断面は長方形状を呈する。

133－4は、包含層（暗褐色土）中から出土した直方体状を呈する素材剥片である。表裏に自然面を残し、他面は主要な剥離面が顕著に認められる。全長4.9cm、最大幅2.95cm、厚さ3.0cmを測る。

133－5は、包含層（暗褐色土）中から出土した原材に近い大型の石核と推定される。表裏面に大きな自然面を残し、周囲を打ち欠いて正方形の板状にしている。全長9.7cm、最大幅8.4cm、厚さ4.3cmを測る。

水晶製未成品（第134図）

表38のとおり、原材から敲打製形の工程にかけての資料が認められ、仕上げ工程に該当する資料は皆無であった。

玉の種類については、未成品の形状から、少なくとも側面打裂工程品において勾玉1を確認することができる。

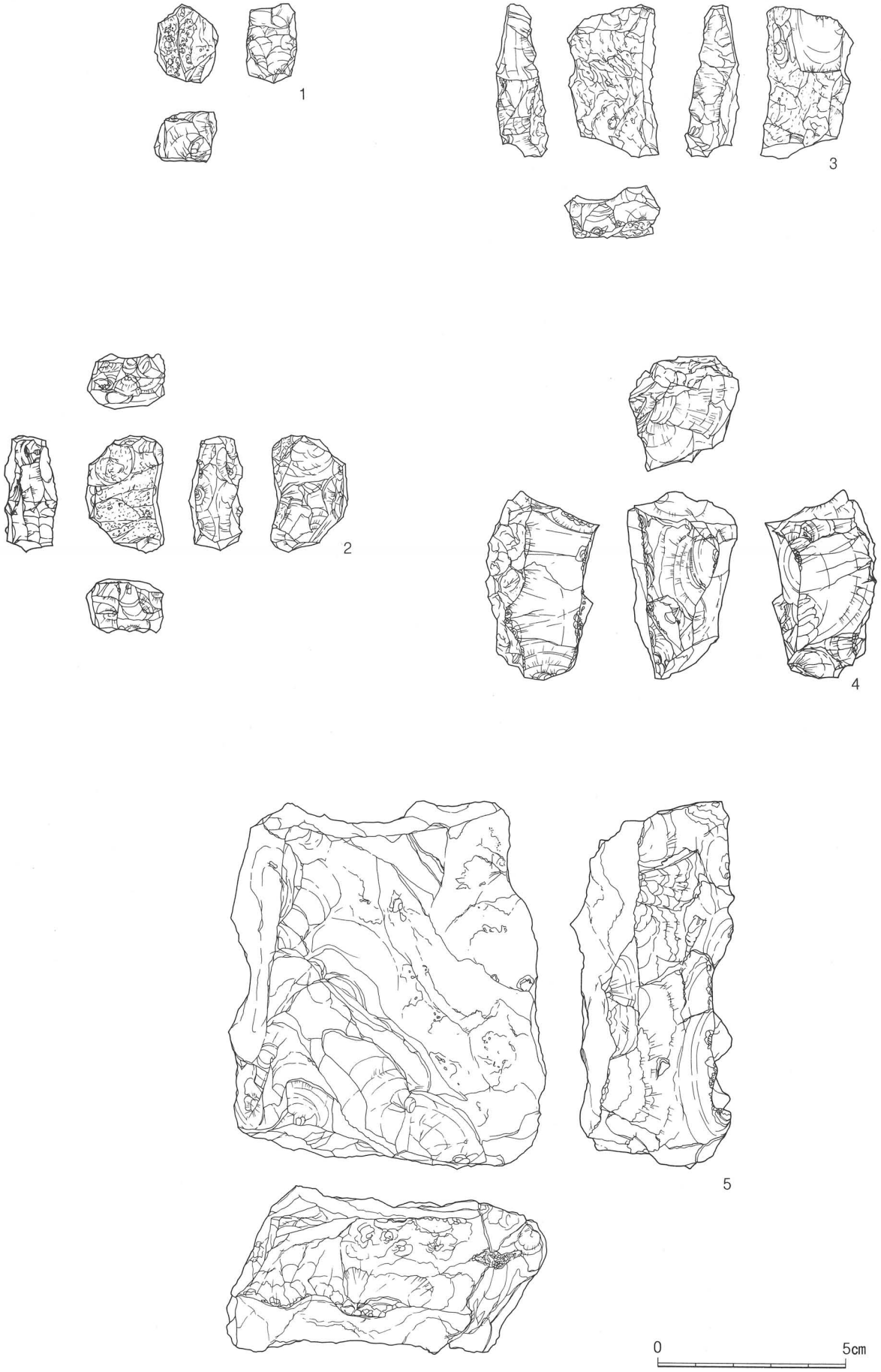
剥片につていは、68点、860.02gを検出した。碧玉・瑪瑙同様、参考までに法量別個体数の比較表（表41）を掲げ報告にかえる。

134－1は、包含層（灰褐色土）中から出土した一部に敲打痕が認められる敲打製形品である。側面を中心に剥離調整が認められる。全長2.7cm、最大幅2.9cm、厚さ0.95cmを測る。

134－2は、包含層（暗褐色土）中から出土した勾玉の側面打裂工程品（調整剥片）と推察される。いわゆる半月型を呈する。全長4.4cm、最大幅2.7cm、厚さ1.7cmを測り、断面は長方形状を呈する。

134－3は、包含層（暗褐色土）中から出土した断面長方形状を呈する板状の素材剥片である。表裏に大きな自然面を残す。全長2.1cm、最大幅1.6cm、厚さ1.1cmを測る。

134－4は、SX01東方撹乱土中から採取された直方体状を呈する石核である。各面とも大きな剥離によって面取りしている。全長6.5cm、最大幅4.7cm、厚さ3.4cmを測る。



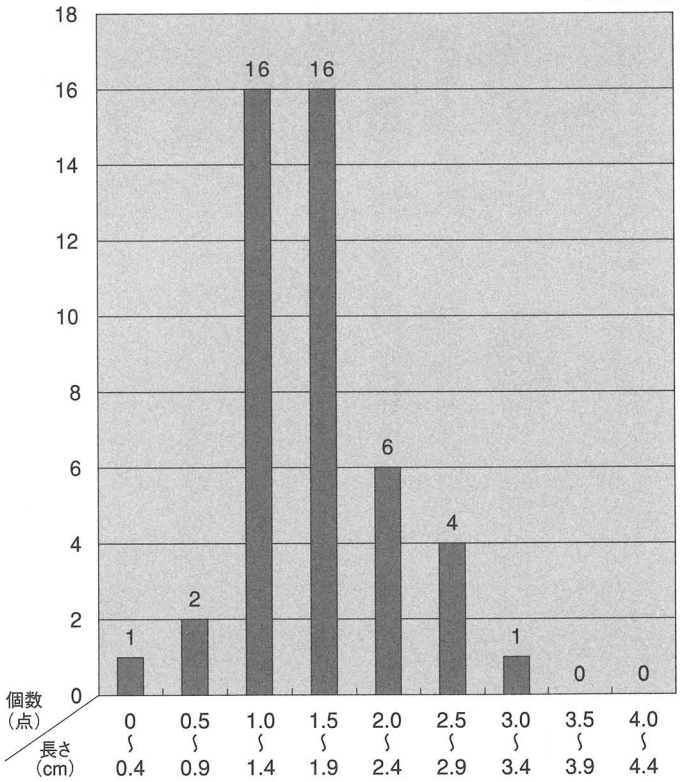
第133図　遺構に伴わない出土遺物実測図（瑪瑙製玉未成品）（S＝2：3）

134－5は、包含層（地山上暗褐色土）中から出土したもので、原材に分類した。ほぼ全面に自然面が残る。全長4.4cm、最大幅2.5cm、厚さ1.7cmを測る。

134－6は、包含層（暗褐色土）から出土した拳大の原材である。図示した三面はいわゆる結晶が露出し光沢を放っている。他の二面は凹凸の激しい自然面である。全長8.5cm、最大幅6.7cm、厚さ5.1cmを測る。

表41　遺構に直接伴わない水晶剥片の法量別個体数

（総数 46点）

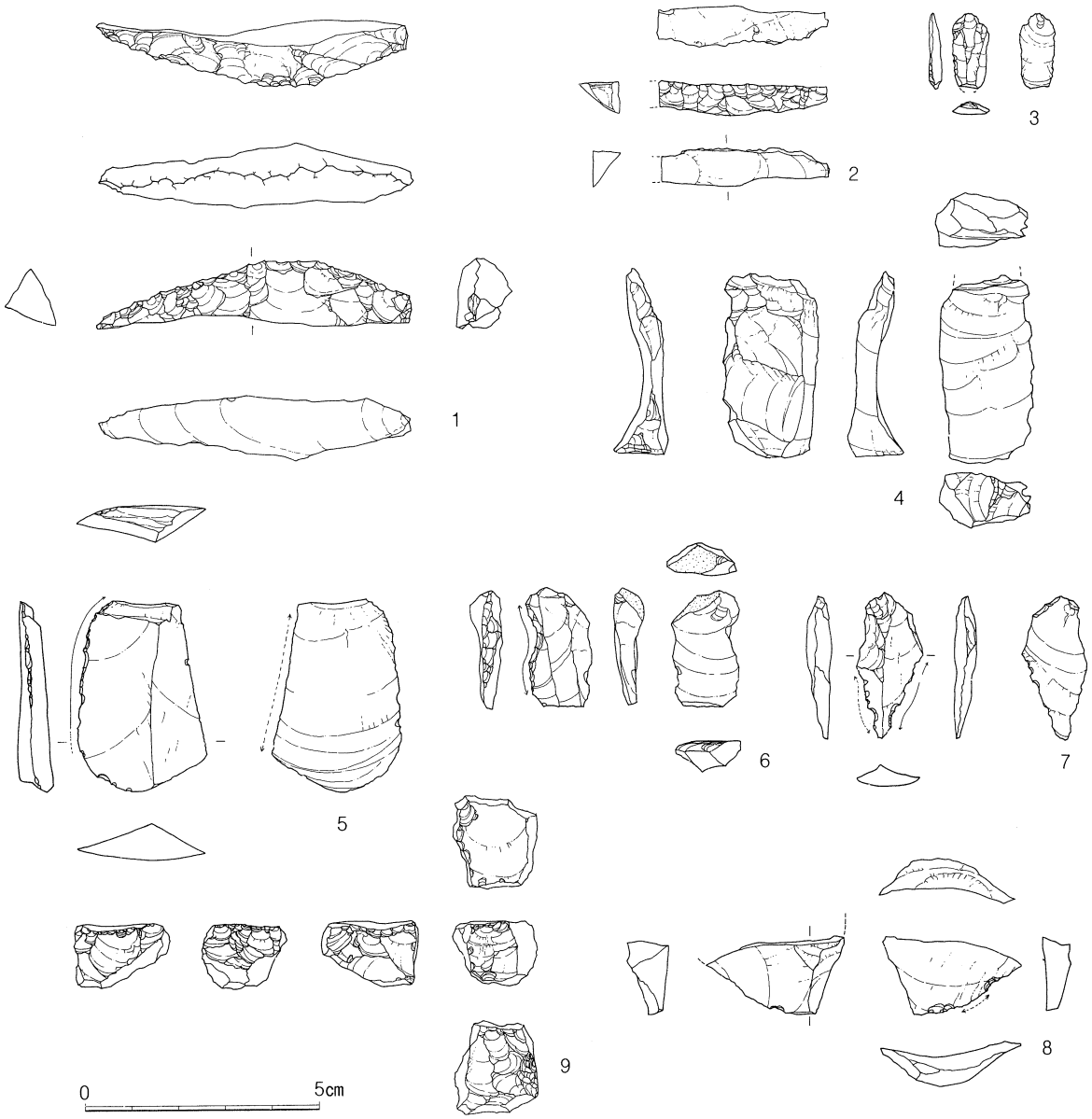


第134図　遺構に伴わない出土遺物実測図（水晶製玉未成品）（S＝2：3）

＜打製石器類＞（第135図）

石器類は、微細な剥片を含めて約10点が出土している。いずれも、直接遺構に伴うものではなく、遺構内堆積土及び遺構外の遺物包含層、掘削土中から出土している。ここでは、主な９点について述べる。

135－１はSI01の覆土（灰褐色土）中から出土した。細石核の両面調整素材から剥ぎ取られた削



第135図　遺構に伴わない出土遺物実測図（打製石器）（S＝2：3）

片と考えられる。断面が三角形の稜付削片で背面の稜は緩やかな弧を描いている。背面の稜と削片の打点側の稜は、約115°の角度で直線的に交わっている。両側面と主要剥離面のなす角度は各々異なっており、軸とはやや傾いて剥離されたようである。黄褐色（一部赤褐色）を呈す玉髄製で、長さ6.59cm、幅1.37cm、厚さ1.52cm、重量は8.52ｇである。湧別技法に関わる資料と考えられる。

135－２もSI01の覆土（灰褐色土）中から出土した。側面に、背面（甲板面）からていねいな調整剥離がみられる、スキー状削片様を呈する剥片である。ただ、背面は横方向からの広い剥離面であり、図式的な湧別技法によるスキー状削片とは考えがたい。あるいは、上縁が稜をなさず面が残る両面調整素材から剥ぎ取られた削片の可能性もあるかもしれない。玉髄製で、長さ3.61cm、幅0.68cm、厚さ0.58cm、重量1.74ｇを測る。

135－３は、遺構外の包含層（灰褐色土）から出土した玉髄製の細石刃である。背面には腹面と同方向の剥離面が、４面以上認められ、左側側縁には細かな剥離痕が断続的に認められる。打面は残っておらず、下端部はわずかながら欠いている。現状で長さ1.55cm、幅0.76cm、厚さ0.22cm、重

量0.29ｇを測る。

135－4は、SX01の覆土（黒褐色土）中から出土した玉髄製の縦長剥片である。打面側が折れて欠損しており、現状で長さ3.87㎝、幅1.99㎝、厚さ1.15㎝、重量6.27ｇを測る。背面には腹面と直交する方向の剥離痕が認められ、それらを切って同一方向の剥離面がいくつか認められる。

135－５は、遺構外の包含層（灰褐色土）から出土した、黒色で緻密な石材（頁岩か凝灰岩か）製の縦長剥片である。打面側が折れて欠しており、現状で長さ4.01㎝、幅2.67㎝、厚さ0.80㎝、重量7.82ｇを測る。背面は腹面とほぼ同様の方向の剥離面、２面で構成され、剥片の末端はいわゆる蝶番剥離を呈する。両側縁には、細かな小剥離と刃こぼれ状の微細な剥離痕が連続して認められ、一部折れ面にまで至っている。

135－６は、遺構外の包含層（灰褐色土）から出土した玉髄製の縦長剥片である。背面左側縁には、腹面からの細かな剥離でノッチ状の加工を施している。背面には腹面と同一方向の剥離面２面と横方向からの剥離面１面が認められる。打面は自然面、末端は折れている。長さ2.52㎝、幅1.79㎝、厚さ0.65㎝、重量2.18ｇを測る。

135－７は、遺構外の包含層（灰褐色土）から出土した玉髄製の縦長剥片である。剥片が先端が尖り気味の形状を呈し、その端部付近の両側縁に、えぐるような細かな剥離が認められる。長さ3.08㎝、幅1.43㎝、厚さ0.4㎝、重量1.44ｇを測る。

135－８は、遺構外の包含層（褐色土）から出土した玉髄製の剥片である。打面側が折れて大きく欠けており、もとの形状は不明だが、比較的幅広の剥片だったものと思われる。端部には細かな剥離痕と刃こぼれ状の微細な剥離痕が連続して認められる。長さ1.60㎝、幅2.99㎝、厚さ0.71㎝、重量2.56ｇを測る。

135－９は、SI01の覆土（灰褐色土）から出土したさいころ状を呈する玉髄製の石器である。打面（上面）部はポジティブな広い面で、側面と底面には小剥離痕が重なっている。一見細石核状を呈しているが、形状の整った細石刃が剥離された痕跡は認められない。周縁は全般に、「つぶれ」状を呈しており、全体的に何らかの敲打を受けていたことがうかがえる。長さ2.05㎝、幅1.74㎝、厚さ1.34㎝、重量6.35㎝を測る。

（註）

1.本章における古墳時代の定型化須恵器出現前・後の土師器編年については、下記文献を参考にした。

・松山智弘「出雲における古墳時代前半期の土器の様相―大東式の再検討―」『島根考古学会誌』８（1991年）

2.本章における古墳時代須恵器の編年については、下記文献を参考にした。

・大谷晃二「出雲地域の須恵器の編年と地域色」『島根考古学会誌』11（1994年）

3.寺村光晴『古代玉作の研究』（1966年）、『古代玉作形成史の研究』（1980年）

4.①島根県教育委員会『福富Ⅰ遺跡外』一般国道９号（松江道路西地区）建設予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書２（1997年）

②島根県教育委員会『勝負遺跡外』一般国道９号安来道路建設予定地内、埋蔵文化財発掘調査報告書西地区10（1998年）

5.（註）４－①に同じ

6.（註）１に同じ

7.本章における中世土師器については、広江耕史氏の御協示を得た。また、下記文献の編年案を参考におよその時期を比定した。

・八峠興「山陰における中世土器の変遷について―供膳具・煮炊具を中心として―」『中近世土器の基礎研究』XⅢ（1998年）

8.陶磁器類の分類、年代比定については西尾克己氏の御教示を得た。

表42　杉谷遺跡出土玉作関係資料計測値一覧（碧玉・めのう・水晶の剥片を除く）

杉谷遺跡 SI01床面付近出土　碧玉

No.	挿図番号	図版番号	出土地点	石材	玉種類	工程	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)
H-1	121-12	84	SI01床面直上	碧玉		石核	5.7	4.3	1.5	40.85
H-2	122-15	84	SI01床面直上126	碧玉		石核	8.8	9.2	5.1	442.28
H-3	122-14	84	SI01床面直上118	碧玉		石核	6.0	5.7	2.3	72.38
H-4			SI01床面直上115	碧玉		石核	8.2	6.4	3.9	171.77
H-5			SI01P2内淡灰褐色土	碧玉		石核	7.3	5.6	4.8	216.25
H-6			SI01床面直上113	碧玉		石核	7.1	5.1	4.7	193.04
H-7			SI01床面直上119	碧玉		石核	8.0	6.3	5.3	283.61
H-8			SI01床面直上247	碧玉		石核	6.0	5.8	4.8	219.11
H-9			SI01床面直上114	碧玉		石核	6.8	6.5	2.8	140.96
H-10			SI01床面直上143	碧玉		石核	7.2	5.7	4.5	130.88
H-11			SI01床面直上142	碧玉		石核	6.0	5.3	3.3	79.62
H-12			SI01P1内灰褐色土	碧玉		石核	5.6	4.7	2.3	49.18
H-13			SI01床面直上117	碧玉		石核	6.9	5.4	3.4	163.59
H-14			SI01床面直上135	碧玉		石核	6.0	5.3	4.5	118.73
H-15			SI01床面直上付近一括	碧玉		石核	6.1	5.1	3.2	103.02
H-16			SI01床面直上121	碧玉		石核	10.3	5.9	2.9	369.21
H-17			SI01床面直上116	碧玉		石核	6.4	5.0	3.5	92.64
H-18			SI01床面直上45	碧玉		石核	5.1	4.0	3.0	56.49
H-19			SI01床面直上131	碧玉		石核	4.8	3.4	2.9	46.08
H-20			SI01床面直上120	碧玉		石核	5.8	3.4	3.5	77.00
H-21			SI01床面直上195	碧玉		石核	6.6	4.0	2.9	86.33
H-22			SI01床面直上付近一括	碧玉		石核	5.6	3.4	2.5	57.44
H-23			SI01床面直上145	碧玉		石核	6.0	4.5	2.6	62.73
H-24	121-9	84	SI01床面直上128	碧玉		素材剥片	4.7	4.8	1.8	30.53
H-25	121-10	84	SI01床面直上136	碧玉		素材剥片	4.4	3.2	2.1	31.83
H-26			SI01床面直上160	碧玉		素材剥片	5.3	2.7	1.6	18.84
H-27			SI01床面直上付近一括	碧玉		素材剥片	3.9	2.9	2.3	29.56
H-28			SI01床面直上付近一括	碧玉		素材剥片	2.7	1.8	1.9	9.81
H-29			SI01P1内灰褐色土	碧玉		素材剥片	4.3	2.7	2.4	34.88
H-30			SI01床面直上付近一括	碧玉		素材剥片	3.7	2.7	1.5	12.76
H-31			SI01床面直上付近一括	碧玉		素材剥片	4.5	2.8	1.7	16.03
H-32			SI01床面直上182	碧玉		素材剥片	3.2	2.1	2.0	14.18
H-33			SI01P1内灰褐色土	碧玉		素材剥片	3.4	2.1	2.0	19.90
H-34			SI01床面直上付近一括	碧玉		素材剥片	3.3	3.2	1.3	11.77
H-35			SI01P2内淡灰褐色土	碧玉		素材剥片	4.9	3.8	2.3	21.62
H-36			SI01床面直上付近一括	碧玉		素材剥片	5.3	2.8	2.0	22.21
H-37			SI01床面直上134	碧玉		素材剥片	4.9	3.1	1.4	22.56
H-38			SI01P1内灰褐色土	碧玉		素材剥片	4.1	3.0	1.6	20.77
H-39			SI01P1内灰褐色土	碧玉		素材剥片	3.6	2.5	1.4	11.80
H-40			SI01床面直上付近一括	碧玉		素材剥片	2.8	2.2	1.8	11.27
H-41			SI01床面直上付近一括	碧玉		素材剥片	4.0	2.0	1.2	8.42
H-42			SI01床面直上付近一括	碧玉		素材剥片	4.1	2.6	1.7	18.17
H-43			SI01P1内灰褐色土	碧玉		素材剥片	4.4	3.4	1.4	15.88
H-44			SI01P1内灰褐色土	碧玉		素材剥片	4.3	3.4	1.1	18.83
H-45			SI01床面直上242	碧玉		素材剥片	3.8	1.7	1.2	9.32
H-46			SI01床面直上190	碧玉		素材剥片	4.1	3.1	1.3	16.84
H-47			SI01壁帯溝底面	碧玉		素材剥片	3.5	2.9	1.3	11.34
H-48			SI01床面直上267	碧玉		素材剥片	3.6	2.1	1.7	14.13
H-49			SI01床面直上153	碧玉		素材剥片	4.4	2.2	1.7	13.69
H-50			SI01床面直上75	碧玉		素材剥片	5.2	2.7	2.2	24.21
H-51			SI01床面直上63	碧玉		素材剥片	3.7	3.8	1.2	19.23
H-52			SI01床面直上33	碧玉		素材剥片	5.7	3.0	1.4	24.52
H-53			SI01床面直上43	碧玉		素材剥片	3.2	2.4	2.1	15.80
H-54			SI01床面直上38	碧玉		素材剥片	3.2	2.8	1.2	9.16
H-55			SI01床面直上35	碧玉		素材剥片	4.3	2.8	2.9	28.53
H-56			SI01床面直上224	碧玉		素材剥片	3.3	3.1	1.3	10.03
H-57	120-6	84	SI01床面直上85	碧玉	管玉	側面打裂（調整剥片）	2.9	1.9	1.5	8.47

No.	挿図番号	図版番号	出土地点	石材	玉種類	工程	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)
H-58			SI01床面直上181	碧玉		側面打裂(調整剥片)	2.8	1.8	1.1	6.76
H-59			SI01西半床面直上	碧玉		剥片	8.2	6.4	2.0	94.89
H-60			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	2.7	2.2	0.5	3.10
H-61			SI01床面直上71	碧玉		剥片	3.1	2.0	0.9	5.85
H-62			SI01床面直上47	碧玉		剥片	5.1	2.9	0.7	8.37
H-63			SI01床面直上50	碧玉		剥片	3.1	2.3	0.5	3.11
H-64			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	1.3	0.9	0.3	0.28
H-65			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	1.6	1.4	0.7	1.68
H-66			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	2.8	1.6	1.2	3.80
H-67			SI01床面直上44	碧玉		剥片	1.8	1.2	0.6	1.05
H-68			SI01床面直上108	碧玉		剥片	1.5	0.8	0.2	0.28
H-69			SI01床面直上31	碧玉		剥片	2.0	1.7	1.1	2.63
H-70			SI01床面直上79	碧玉		剥片	1.8	1.8	0.3	0.93
H-71			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	1.7	1.6	0.3	0.69
H-72			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	0.8	0.6	0.1	0.07
H-73			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	1.6	1.1	0.5	0.73
H-74			SI01床面直上74	碧玉		剥片	3.9	3.5	0.8	10.02
H-75			SI01床面直上107	碧玉		剥片	1.5	1.1	0.3	0.42
H-76			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	1.7	1.2	0.5	0.83
H-77			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	0.8	0.7	0.2	0.17
H-78			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	1.9	1.6	0.4	0.99
H-79			SI01床面直上109	碧玉		剥片	1.9	1.1	0.6	1.26
H-80			SI01西半床面直上	碧玉		剥片	0.7	0.5	0.1	0.07
H-81			SI01床面直上87	碧玉		剥片	1.7	1.2	0.8	1.42
H-82			SI01床面直上242	碧玉		剥片	2.4	1.4	0.7	2.45
H-83			SI01床面直上86	碧玉		剥片	1.6	1.5	0.4	0.96
H-84			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	2.4	2.4	0.7	1.95
H-85			SI01床面直上22	碧玉		剥片	2.5	1.9	0.6	2.91
H-86			SI01床面直上70	碧玉		剥片	2.0	1.8	1.1	3.29
H-87			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	0.6	0.4	0.1	0.06
H-88			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	2.0	1.4	0.5	1.63
H-89			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	1.0	0.9	0.2	0.20
H-90			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	2.2	1.1	0.4	1.05
H-91			SI01床面直上80	碧玉		剥片	1.4	1.3	0.3	0.91
H-92			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	2.1	1.0	0.2	0.53
H-93			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	1.1	0.7	0.3	0.39
H-94			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	2.0	0.8	0.7	0.30
H-95			SI01床面直上234	碧玉		剥片	1.9	1.7	0.5	0.78
H-96			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	1.9	1.1	0.2	0.50
H-97			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	1.6	1.2	0.7	1.43
H-98			SI01床面直上224	碧玉		剥片	1.4	0.5	0.3	0.29
H-99			SI01床面直上225	碧玉		剥片	1.3	0.7	0.1	0.12
H-100			SI01床面直上106	碧玉		剥片	1.4	1.3	0.5	1.10
H-101			SI01床面直上48	碧玉		剥片	5.3	3.0	0.9	17.52
H-102			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	0.3	0.2	0.2	0.02
H-103			SI01床面直上137	碧玉		剥片	1.2	0.7	0.3	0.30
H-104			SI01床面直上62	碧玉		剥片	3.0	1.5	0.7	3.54
H-105			SI01床面直上224	碧玉		剥片	2.8	1.5	0.9	3.39
H-106			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	1.5	0.9	0.3	0.40
H-107			SI01床面直上102	碧玉		剥片	2.3	1.1	0.4	0.92
H-108			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	1.7	1.3	0.6	1.39
H-109			SI01床面直上192	碧玉		剥片	2.7	2.0	1.2	9.09
H-110			SI01床面直上256	碧玉		剥片	1.9	1.8	0.5	1.39
H-111			SI01床面直上161	碧玉		剥片	2.4	2.4	0.6	3.99
H-112			SI01P8内	碧玉		剥片	1.4	0.5	0.3	0.32
H-113			SI01床面直上148	碧玉		剥片	5.2	2.9	1.1	11.99
H-114			SI01床面直上167	碧玉		剥片	2.7	1.1	0.6	1.95
H-115			SI01床面直上165	碧玉		剥片	1.9	1.4	0.6	1.48
H-116			SI01床面直上149	碧玉		剥片	4.7	2.6	0.9	7.69
H-117			SI01床面直上240	碧玉		剥片	1.8	1.2	0.7	1.69
H-118			SI01床面直上157	碧玉		剥片	2.3	1.5	0.5	1.57
H-119			SI01P8内	碧玉		剥片	2.5	0.6	0.6	0.82
H-120			SI01床面直上243	碧玉		剥片	2.4	1.8	0.4	2.17

No.	挿図番号	図版番号	出土地点	石材	玉種類	工程	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)
H-121			SI01床面直上141	碧玉		剥片	2.5	1.4	0.7	2.28
H-122			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	1.3	0.9	0.3	0.34
H-123			SI01床面直上65	碧玉		剥片	1.0	0.9	0.5	0.43
H-124			SI01床面直上36	碧玉		剥片	2.9	1.5	0.8	2.59
H-125			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	1.8	0.9	0.2	0.31
H-126			SI01床面直上101	碧玉		剥片	2.8	2.4	1.0	5.71
H-127			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	1.1	0.4	0.1	0.06
H-128			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	2.3	1.3	0.3	0.95
H-129			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	2.4	1.1	0.7	1.11
H-130			SI01床面直上91	碧玉		剥片	2.4	1.6	0.4	1.90
H-131			SI01床面直上69	碧玉		剥片	2.8	1.9	2.0	4.31
H-132			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	3.1	2.7	2.4	11.67
H-133			SI01床面直上95	碧玉		剥片	1.7	1.5	0.3	0.97
H-134			SI01床面直上78	碧玉		剥片	2.2	1.7	0.5	1.47
H-135			SI01床面直上72	碧玉		剥片	3.3	1.9	0.8	4.30
H-136			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	2.0	1.4	0.2	0.59
H-137			SI01床面直上41	碧玉		剥片	2.0	2.0	0.6	3.38
H-138			SI01床面直上167	碧玉		剥片	2.6	1.5	0.4	1.42
H-139			SI01床面直上	碧玉		剥片	1.9	1.3	0.4	0.76
H-140			SI01床面直上28	碧玉		剥片	3.6	2.3	0.7	4.62
H-141			SI01床面直上68	碧玉		剥片	1.8	1.3	0.3	0.77
H-142			SI01床面直上103	碧玉		剥片	2.6	2.5	1.0	6.16
H-143			SI01床面直上137	碧玉		剥片	0.8	0.7	0.2	0.09
H-144			SI01床面直上92	碧玉		剥片	2.5	1.5	0.8	2.61
H-145			SI01床面直上23	碧玉		剥片	1.5	1.1	0.4	0.50
H-146			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	1.3	1.2	0.4	0.40
H-147			SI01床面直上73	碧玉		剥片	3.6	2.4	1.6	10.36
H-148			SI01床面直上34	碧玉		剥片	3.0	2.9	1.2	6.48
H-149			SI01床面直上64	碧玉		剥片	1.5	0.9	0.5	0.77
H-150			SI01床面直上104	碧玉		剥片	2.8	2.5	0.6	4.97
H-151			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	3.3	1.6	1.4	6.11
H-152			SI01床面直上40	碧玉		剥片	2.7	2.2	0.8	5.26
H-153			SI01床面直上96	碧玉		剥片	1.8	1.3	0.2	0.37
H-154			SI01床面直上93	碧玉		剥片	2.2	1.4	0.9	2.32
H-155			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	1.3	0.8	0.2	0.19
H-156			SI01床面直上66	碧玉		剥片	1.9	1.2	0.5	1.38
H-157			SI01西半床面直上	碧玉		剥片	2.0	1.6	0.5	1.86
H-158			SI01床面直上105	碧玉		剥片	2.5	1.9	0.7	3.10
H-159			SI01床面直上	碧玉		剥片	2.0	1.5	0.6	1.42
H-160			SI01壁帯溝中	碧玉		剥片	1.3	0.7	0.2	0.17
H-161			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	2.4	2.6	1.0	3.80
H-162			SI01床面直上193	碧玉		剥片	2.3	1.4	0.3	1.11
H-163			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	1.8	1.0	0.7	1.34
H-164			SI01床面直上138	碧玉		剥片	4.6	2.9	0.7	8.36
H-165			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	1.4	1.1	0.4	0.62
H-166			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	2.1	1.3	0.6	1.96
H-167			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	3.4	3.1	1.0	9.50
H-168			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	5.2	4.5	1.0	12.62
H-169			SI01壁帯溝中	碧玉		剥片	0.9	0.7	0.2	0.10
H-170			SI01P5内灰褐色粘質土	碧玉		剥片	1.6	0.9	0.5	0.59
H-171			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	1.8	1.1	0.2	0.54
H-172			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	2.0	1.7	1.1	3.73
H-173			SI01床面直上	碧玉		剥片	1.9	1.3	0.3	0.61
H-174			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	1.0	0.8	0.3	0.27
H-175			SI01床面直上	碧玉		剥片	0.6	0.4	0.2	0.05
H-176			SI01P3内灰褐色土	碧玉		剥片	1.0	0.8	0.3	0.21
H-177			SI01床面直上133	碧玉		剥片	2.2	1.1	0.3	0.68
H-178			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	1.4	1.0	0.2	0.25
H-179			SI01壁帯溝中	碧玉		剥片	3.7	1.3	1.0	4.78
H-180			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	1.7	1.3	0.4	0.93
H-181			SI01床面直上211	碧玉		剥片	1.5	1.0	0.2	0.38
H-182			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	2.4	1.9	0.6	3.02
H-183			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	1.9	0.8	0.2	0.32

No.	挿図番号	図版番号	出土地点	石材	玉種類	工程	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)
H-184			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	2.5	2.6	0.6	4.13
H-185			SI01床面直上206	碧玉		剥片	2.5	1.2	0.9	2.96
H-186			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	2.3	1.3	0.7	1.62
H-187			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	1.3	1.4	0.4	0.71
H-188			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	2.0	1.1	0.3	0.85
H-189			SI01床面直上	碧玉		剥片	0.7	0.6	0.2	0.12
H-190			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	2.4	2.9	0.6	4.21
H-191			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	2.3	2.0	0.7	2.26
H-192			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	3.0	2.0	0.8	4.63
H-193			SI01床面直上	碧玉		剥片	1.0	0.4	0.1	0.07
H-194			SI01床面直上	碧玉		剥片	1.5	0.9	0.2	0.28
H-195			SI01床面直上228	碧玉		剥片	1.5	1.2	0.3	0.48
H-196			SI01床面直上132	碧玉		剥片	2.0	1.2	0.6	1.02
H-197			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	3.5	2.0	1.4	7.68
H-198			SI01灰褐色土	碧玉		剥片	2.4	1.8	0.4	1.59
H-199			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	1.4	1.2	0.3	0.43
H-200			SI01床面直上	碧玉		剥片	0.7	0.4	0.1	0.04
H-201			SI01床面直上225	碧玉		剥片	2.0	1.5	0.7	2.29
H-202			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	1.8	1.4	0.5	1.10
H-203			SI01壁帯溝中	碧玉		剥片	1.9	1.3	0.6	1.36
H-204			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	1.5	1.0	0.6	0.72
H-205			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	2.3	1.2	0.8	3.33
H-206			SI01床面直上	碧玉		剥片	0.4	0.3	0.05	計測不能
H-207			SI01床面直上	碧玉		剥片	0.9	0.5	0.4	0.15
H-208			SI01床面直上197	碧玉		剥片	2.0	1.6	0.2	0.64
H-209			SI01床面直上	碧玉		剥片	1.1	1.0	0.8	0.19
H-210			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	0.9	0.8	0.2	0.17
H-211			SI01床面直上	碧玉		剥片	1.3	1.1	0.2	0.31
H-212			SI01壁帯溝中	碧玉		剥片	2.2	2.0	0.6	2.85
H-213			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	1.3	0.7	0.3	0.28
H-214			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	1.5	1.2	0.2	0.46
H-215			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	0.5	0.4	0.2	0.05
H-216			SI01床面直上	碧玉		剥片	0.8	0.6	0.2	0.12
H-217			SI01床面直上	碧玉		剥片	1.2	1.2	0.5	0.67
H-218			SI01床面直上202	碧玉		剥片	0.9	0.6	0.2	0.10
H-219			SI01床面直上	碧玉		剥片	1.7	1.0	0.2	0.43
H-220			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	2.1	1.5	0.5	1.26
H-221			SI01床面直上	碧玉		剥片	0.9	0.8	0.5	0.27
H-222			SI01P3内灰褐色土	碧玉		剥片	0.9	0.7	0.2	0.19
H-223			SI01床面直上	碧玉		剥片	1.0	0.7	0.2	0.15
H-224			SI01床面直上	碧玉		剥片	0.6	0.3	0.05	計測不能
H-225			SI01床面直上	碧玉		剥片	0.9	0.5	0.2	0.09
H-226			SI01床面直上	碧玉		剥片	0.7	0.5	0.3	0.18
H-227			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	1.5	1.1	0.3	0.60
H-228			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	2.7	2.2	1.0	4.72
H-229			SI01床面直上	碧玉		剥片	0.4	0.2	0.1	計測不能
H-230			SI01床面直上	碧玉		剥片	1.5	1.1	0.3	0.41
H-231			SI01P3内灰褐色土	碧玉		剥片	1.2	0.8	0.3	0.26
H-232			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	1.8	1.8	0.3	1.11
H-233			SI01床面直上	碧玉		剥片	0.5	0.3	0.05	計測不能
H-234			SI01壁帯溝中	碧玉		剥片	1.0	1.0	0.3	0.30
H-235			SI01床面直上	碧玉		剥片	2.0	0.5	0.3	0.31
H-236			SI01床面直上215	碧玉		剥片	1.9	1.2	0.4	0.95
H-237			SI01床面直上	碧玉		剥片	1.7	1.4	0.4	0.84
H-238			SI01床面直上	碧玉		剥片	2.2	1.6	0.7	2.12
H-239			SI01床面直上	碧玉		剥片	0.4	0.3	0.1	0.02
H-240			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	1.9	0.9	0.2	0.35
H-241			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	1.5	1.3	0.3	0.69
H-242			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	1.4	1.4	0.6	1.43
H-243			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	1.5	0.7	0.5	0.57
H-244			SI01床面直上	碧玉		剥片	0.7	0.7	0.3	0.12
H-245			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	2.0	1.3	0.2	0.59
H-246			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	2.2	1.3	0.7	2.07

No.	挿図番号	図版番号	出土地点	石材	玉種類	工程	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)
H-247			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	2.9	1.4	0.4	0.81
H-248			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	2.4	1.1	0.6	1.18
H-249			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	1.4	1.1	0.5	0.54
H-250			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	2.5	1.8	0.9	3.88
H-251			SI01P5内灰褐色粘質土	碧玉		剥片	3.7	2.0	0.7	3.70
H-252			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	1.5	1.1	0.5	0.53
H-253			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	1.0	1.0	0.3	0.38
H-254			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	2.1	1.7	0.3	1.70
H-255			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	0.8	0.7	0.15	0.15
H-256			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	2.2	1.5	0.7	2.84
H-257			SI01床面直上	碧玉		剥片	1.3	0.7	0.4	0.46
H-258			SI01床面直上	碧玉		剥片	1.2	1.1	0.3	0.58
H-259			SI01床面直上	碧玉		剥片	2.0	1.5	0.6	1.96
H-260			SI01床面直上	碧玉		剥片	1.1	1.0	0.3	0.37
H-261			SI01床面直上	碧玉		剥片	1.7	0.7	0.5	0.43
H-262			SI01床面直上	碧玉		剥片	1.5	1.3	0.5	0.84
H-263			SI01床面直上	碧玉		剥片	1.2	0.6	0.2	0.15
H-264			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	1.2	0.5	0.25	0.11
H-265			SI01P5内灰褐色粘質土	碧玉		剥片	1.8	1.3	0.5	1.28
H-266			SI01床面直上	碧玉		剥片	0.5	0.3	0.1	0.02
H-267			SI01床面直上	碧玉		剥片	1.3	0.6	0.2	0.15
H-268			SI01床面直上157	碧玉		剥片	0.8	0.3	0.15	0.04
H-269			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	1.1	0.7	0.15	0.10
H-270			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	0.5	0.3	0.05	計測不能
H-271			SI01床面直上	碧玉		剥片	1.0	0.5	0.3	0.14
H-272			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	0.8	0.5	0.1	0.08
H-273			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	2.2	1.1	0.4	0.66
H-274			SI01床面直上	碧玉		剥片	1.9	1.7	0.2	0.11
H-275			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	0.7	0.6	0.4	0.18
H-276			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	1.9	0.9	0.7	0.87
H-277			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	1.6	0.8	0.2	0.31
H-278			SI01床面直上	碧玉		剥片	0.7	0.7	0.4	0.29
H-279			SI01床面直上	碧玉		剥片	0.5	0.3	0.1	0.03
H-280			SI01床面直上	碧玉		剥片	0.8	0.4	0.2	0.07
H-281			SI01床面直上	碧玉		剥片	1.7	1.1	0.5	0.68
H-282			SI01壁帯溝中	碧玉		剥片	2.0	1.2	0.5	1.18
H-283			SI01床面直上	碧玉		剥片	1.0	0.5	0.2	0.10
H-284			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	1.5	1.1	0.8	1.27
H-285			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	2.1	1.3	0.7	2.30
H-286			SI01床面直上237	碧玉		剥片	1.2	0.8	0.2	0.24
H-287			SI01床面直上201	碧玉		剥片	4.3	3.3	0.7	9.84
H-288			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	1.4	1.3	0.3	0.64
H-289			SI01床面直上157	碧玉		剥片	1.7	1.3	0.6	1.25
H-290			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	1.7	1.6	0.6	1.58
H-291			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	0.3	0.3	0.05	計測不能
H-292			SI01床面直上	碧玉		剥片	1.2	1.1	0.3	0.15
H-293			SI01床面直上	碧玉		剥片	1.0	0.5	0.4	0.16
H-294			SI01床面直上	碧玉		剥片	0.6	0.5	0.1	0.08
H-295			SI01床面直上	碧玉		剥片	2.3	1.6	0.7	2.69
H-296			SI01床面直上202	碧玉		剥片	1.5	1.1	0.6	0.95
H-297			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	2.3	2.2	0.7	3.65
H-298			SI01床面直上	碧玉		剥片	1.4	1.2	0.4	0.59
H-299			SI01床面直上	碧玉		剥片	1.4	0.9	0.3	0.37
H-300			SI01床面直上231	碧玉		剥片	1.4	1.2	0.3	0.64
H-301			SI01P3内灰褐色土	碧玉		剥片	1.2	0.6	0.1	0.10
H-302			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	1.3	1.0	0.2	0.26
H-303			SI01床面直上	碧玉		剥片	1.1	0.8	0.3	0.28
H-304			SI01床面直上	碧玉		剥片	1.2	0.9	0.2	0.25
H-305			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	1.3	1.0	0.7	0.88
H-306			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	1.9	1.5	0.5	1.28
H-307			SI01床面直上202	碧玉		剥片	0.9	0.7	0.2	0.13
H-308			SI01P8内	碧玉		剥片	0.9	0.5	0.2	0.10
H-309			SI01床面直上256	碧玉		剥片	2.5	1.9	0.8	3.32

No.	挿図番号	図版番号	出土地点	石材	玉種類	工程	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)
H-310			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	1.7	0.9	0.2	0.36
H-311			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	3.8	2.0	0.5	4.28
H-312			SI01床面直上	碧玉		剥片	0.9	0.8	0.2	0.14
H-313			SI01床面直上	碧玉		剥片	0.9	0.9	0.1	0.16
H-314			SI01床面直上	碧玉		剥片	0.7	0.5	0.1	0.04
H-315			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	1.3	1.0	0.5	0.76
H-316			SI01床面直上	碧玉		剥片	0.7	0.4	0.2	0.07
H-317			SI01P3内灰褐色土	碧玉		剥片	0.9	0.8	0.3	0.23
H-318			SI01灰褐色土	碧玉		剥片	1.0	0.5	0.1	0.08
H-319			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	2.6	2.0	0.5	2.61
H-320			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	1.2	0.9	0.2	0.26
H-321			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	3.0	1.5	0.6	1.59
H-322			SI01P2内淡灰褐色土	碧玉		剥片	2.6	1.3	0.9	2.42
H-323			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	2.1	1.7	1.3	4.68
H-324			SI01床面直上	碧玉		剥片	0.6	0.3	0.1	0.05
H-325			SI01床面直上125	碧玉		剥片	3.8	1.9	0.5	2.12
H-326			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	2.8	2.3	1.6	5.80
H-327			SI01床面直上217	碧玉		剥片	2.0	0.8	0.2	0.47
H-328			SI01床面直上	碧玉		剥片	1.0	0.7	0.3	0.22
H-329			SI01床面直上	碧玉		剥片	3.0	1.2	0.5	1.58
H-330			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	1.9	1.0	1.2	1.70
H-331			SI01床面直上	碧玉		剥片	2.0	1.9	0.5	0.79
H-332			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	1.6	0.5	0.6	0.51
H-333			SI01床面直上235	碧玉		剥片	1.2	1.0	0.3	0.48
H-334			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	1.8	0.6	0.2	0.38
H-335			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	1.7	1.2	0.3	0.63
H-336			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	2.3	1.4	0.6	2.29
H-337			SI01床面直上220	碧玉		剥片	2.4	1.8	0.3	0.95
H-338			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	2.7	2.7	0.9	7.60
H-339			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	1.7	1.3	0.3	0.93
H-340			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	1.7	0.8	0.5	0.64
H-341			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	2.8	1.0	1.0	1.67
H-342			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	1.7	1.2	0.3	0.43
H-343			SI01P2内淡灰褐色土	碧玉		剥片	1.8	1.0	0.4	0.65
H-344			SI01P3内灰褐色土	碧玉		剥片	2.2	1.8	0.8	3.40
H-345			SI01床面直上184	碧玉		剥片	1.3	1.2	0.5	0.76
H-346			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	2.0	1.4	0.5	1.20
H-347			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	1.0	1.0	0.1	0.14
H-348			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	1.4	1.4	0.3	0.39
H-349			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	1.8	1.3	0.4	0.99
H-350			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	1.8	1.6	0.4	0.90
H-351			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	2.1	2.0	0.4	1.41
H-352			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	1.7	1.3	0.4	0.49
H-353			SI01床面直上	碧玉		剥片	1.3	0.4	0.2	0.11
H-354			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	3.1	2.9	0.7	3.86
H-355			SI01床面直上199	碧玉		剥片	3.1	1.7	0.7	2.47
H-356			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	1.8	1.0	0.6	0.97
H-357			SI01床面直上223	碧玉		剥片	3.1	2.1	0.8	5.14
H-358			SI01灰褐色土	碧玉		剥片	2.2	1.3	0.7	2.30
H-359			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	3.3	2.5	1.1	8.36
H-360			SI01床面直上	碧玉		剥片	1.5	1.2	1.1	0.59
H-361			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	2.5	2.4	1.5	8.71
H-362			SI01床面直上	碧玉		剥片	1.9	1.1	1.0	2.20
H-363			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	2.4	1.3	1.2	5.14
H-364			SI01床面直上	碧玉		剥片	0.9	0.6	0.2	0.12
H-365			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	1.4	1.0	0.5	0.67
H-366			SI01床面直上	碧玉		剥片	1.7	1.3	0.5	1.10
H-367			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	1.9	1.8	0.6	1.50
H-368			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	3.4	2.3	0.7	5.72
H-369			SI01床面直上67	碧玉		剥片	3.1	1.9	0.9	5.45
H-370			SI01床面直上127	碧玉		剥片	3.5	3.3	1.3	17.02
H-371			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	3.7	2.9	1.4	11.85
H-372			SI01床面直上137	碧玉		剥片	2.9	2.4	1.4	9.15

No.	挿図番号	図版番号	出土地点	石材	玉種類	工程	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)
H-373			SI01床面直上129	碧玉		剥片	4.9	2.4	1.0	11.35
H-374			SI01床面直上124	碧玉		剥片	3.2	2.9	1.0	10.95
H-375			SI01P2内淡灰褐色土	碧玉		剥片	2.8	1.9	1.2	4.05
H-376			SI01P2内淡灰褐色土	碧玉		剥片	2.0	1.5	0.3	1.93
H-377			SI01壁帯溝中	碧玉		剥片	1.7	0.8	0.2	0.31
H-378			SI01床面直上157	碧玉		剥片	1.5	1.2	0.2	0.44
H-379			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	3.1	1.8	0.6	2.52
H-380			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	2.4	1.2	0.4	1.51
H-381			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	2.8	1.3	0.8	3.01
H-382			SI01床面直上	碧玉		剥片	1.0	0.8	0.4	0.25
H-383			SI01床面直上	碧玉		剥片	0.8	0.5	0.2	0.10
H-384			SI01床面直上	碧玉		剥片	0.9	0.7	0.3	0.19
H-385			SI01床面直上	碧玉		剥片	1.6	0.7	0.4	0.48
H-386			SI01床面直上	碧玉		剥片	1.8	1.2	1.0	0.80
H-387			SI01床面直上	碧玉		剥片	2.6	1.2	0.8	2.54
H-388			SI01床面直上	碧玉		剥片	0.9	0.8	0.2	0.19
H-389			SI01P2内淡灰褐色土	碧玉		剥片	3.8	2.5	1.3	11.64
H-390			SI01壁帯溝中	碧玉		剥片	2.6	2.2	1.7	7.66
H-391			SI01床面直上229	碧玉		剥片	3.8	2.5	1.3	7.61
H-392			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	4.5	3.2	1.4	16.60
H-393			SI01床面直上189	碧玉		剥片	2.5	2.7	1.2	5.48
H-394			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	1.8	1.4	1.2	4.14
H-395			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	3.5	3.0	1.3	10.16
H-396			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	2.9	1.4	0.5	1.53
H-397			SI01床面直上	碧玉		剥片	1.7	1.3	0.4	0.87
H-398			SI01床面直上	碧玉		剥片	0.8	0.6	0.1	0.09
H-399			SI01P3内灰褐色土	碧玉		剥片	0.6	0.4	0.05	0.03
H-400			SI01P3内灰褐色土	碧玉		剥片	0.8	0.4	0.2	0.07
H-401			SI01P2内淡灰褐色土	碧玉		剥片	1.7	1.6	0.6	1.42
H-402			SI01床面直上	碧玉		剥片	0.8	0.7	0.1	0.06
H-403			SI01床面直上	碧玉		剥片	1.1	0.9	0.3	0.31
H-404			SI01床面直上	碧玉		剥片	0.5	0.3	0.05	0.01
H-405			SI01床面直上176	碧玉		剥片	2.5	1.5	0.9	3.15
H-406			SI01P3内灰褐色土	碧玉		剥片	1.0	1.0	0.7	0.84
H-407			SI01P2内淡灰褐色土	碧玉		剥片	3.0	1.9	0.4	2.38
H-408			SI01床面直上	碧玉		剥片	0.8	0.7	0.3	0.19
H-409			SI01壁帯溝中	碧玉		剥片	1.3	0.9	0.4	0.54
H-410			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	2.2	1.3	0.7	1.83
H-411			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	3.0	1.7	0.9	4.93
H-412			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	2.3	1.5	1.4	4.77
H-413			SI01床面直上	碧玉		剥片	2.0	1.2	0.7	1.46
H-414			SI01床面直上202	碧玉		剥片	3.7	1.5	0.9	3.42
H-415			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	1.8	1.1	0.4	0.74
H-416			SI01床面直上157	碧玉		剥片	2.5	1.4	0.3	0.95
H-417			SI01床面直上224	碧玉		剥片	1.8	1.3	0.7	1.60
H-418			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	0.8	0.6	0.05	0.07
H-419			SI01P5内灰褐色粘質土	碧玉		剥片	1.9	0.8	0.6	0.87
H-420			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	1.6	1.3	0.5	1.00
H-421			SI01床面直上202	碧玉		剥片	2.3	1.9	1.3	4.10
H-422			SI01床面直上177	碧玉		剥片	2.8	1.5	1.2	3.16
H-423			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	5.3	1.7	1.0	7.97
H-424			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	2.8	2.2	0.5	4.70
H-425			SI01床面直上	碧玉		剥片	0.8	0.4	0.3	0.12
H-426			SI01床面直上	碧玉		剥片	0.9	0.5	0.1	0.09
H-427			SI01床面直上	碧玉		剥片	0.4	0.1	0.05	計測不能
H-428			SI01P5内灰褐色粘質土	碧玉		剥片	3.3	1.3	1.7	2.00
H-429			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	3.7	2.5	1.1	9.75
H-430			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	1.7	1.0	0.4	0.57
H-431			SI01床面直上	碧玉		剥片	0.6	0.4	0.05	0.03
H-432			SI01床面直上	碧玉		剥片	0.7	0.6	0.2	0.12
H-433			SI01床面直上157	碧玉		剥片	1.3	1.0	0.2	0.26
H-434			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	1.0	1.0	0.4	0.53
H-435			SI01床面直上	碧玉		剥片	0.7	0.4	0.1	0.04

No.	挿図番号	図版番号	出土地点	石材	玉種類	工程	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)
H-436			SI01床面直上159	碧玉		剥片	2.1	1.5	0.7	1.34
H-437			SI01床面直上147	碧玉		剥片	2.9	2.2	0.8	4.94
H-438			SI01床面直上254	碧玉		剥片	3.3	2.3	0.7	5.19
H-439			SI01床面直上144	碧玉		剥片	2.6	1.7	0.8	2.17
H-440			SI01床面直上150	碧玉		剥片	1.8	1.2	0.3	0.79
H-441			SI01床面直上196	碧玉		剥片	2.5	2.0	0.6	2.87
H-442			SI01床面直上154	碧玉		剥片	1.3	1.2	0.2	0.33
H-443			SI01床面直上163	碧玉		剥片	5.3	2.5	1.3	15.56
H-444			SI01床面直上255	碧玉		剥片	2.3	1.2	0.5	1.36
H-445			SI01床面直上169	碧玉		剥片	1.3	1.0	0.6	0.72
H-446			SI01床面直上126	碧玉		剥片	3.9	1.8	0.5	2.80
H-447			SI01床面直上151	碧玉		剥片	2.0	0.9	0.5	1.01
H-448			SI01床面直上168	碧玉		剥片	3.6	2.0	0.5	2.94
H-449			SI01P8内	碧玉		剥片	1.5	1.4	0.6	1.64
H-450			SI01床面直上146	碧玉		剥片	4.5	1.2	0.8	5.91
H-451			SI01床面直上253	碧玉		剥片	1.6	1.3	0.5	0.88
H-452			SI01床面直上244	碧玉		剥片	4.2	2.4	0.5	5.20
H-453			SI01床面直上257	碧玉		剥片	3.6	1.8	1.0	6.02
H-454			SI01床面直上166	碧玉		剥片	2.4	2.2	0.4	1.70
H-455			SI01床面直上152	碧玉		剥片	2.2	1.7	1.0	4.10
H-456			SI01床面直上158	碧玉		剥片	2.2	2.0	0.7	1.99
H-457			SI01床面直上171	碧玉		剥片	2.9	1.8	0.5	2.49
H-458			SI01床面直上162	碧玉		剥片	3.0	2.5	1.0	7.99
H-459			SI01床面直上188	碧玉		剥片	3.1	2.0	1.0	4.43
H-460			SI01床面直上	碧玉		剥片	1.4	0.9	0.5	0.60
H-461			SI01床面直上	碧玉		剥片	1.3	1.2	0.4	0.64
H-462			SI01P2内淡灰褐色土	碧玉		剥片	1.1	1.0	0.2	0.22
H-463			SI01床面直上	碧玉		剥片	1.1	0.7	0.3	0.26
H-464			SI01床面直上	碧玉		剥片	2.1	0.7	0.5	0.58
H-465			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	0.9	0.3	0.05	0.03
H-466			SI01P2内淡灰褐色土	碧玉		剥片	2.0	1.4	0.6	1.61
H-467			SI01床面直上	碧玉		剥片	1.3	0.6	0.4	0.29
H-468			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	1.0	0.7	0.3	0.19
H-469			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	2.7	2.4	0.8	4.54
H-470			SI01床面直上	碧玉		剥片	2.0	1.3	0.6	1.45
H-471			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	2.2	1.2	0.2	0.66
H-472			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	1.6	1.3	0.4	0.83
H-473			SI01壁帯溝中	碧玉		剥片	0.7	0.6	0.05	0.03
H-474			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	1.2	0.9	0.2	0.24
H-475			SI01床面直上	碧玉		剥片	1.3	0.9	0.2	0.24
H-476			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	2.2	1.1	0.5	1.40
H-477			SI01床面直上226	碧玉		剥片	2.5	1.7	0.6	2.32
H-478			SI01床面直上	碧玉		剥片	1.1	1.1	0.2	0.24
H-479			SI01床面直上256	碧玉		剥片	0.7	0.5	0.2	0.07
H-480			SI01床面直上	碧玉		剥片	1.0	0.5	0.2	0.09
H-481			SI01床面直上43	碧玉		剥片	1.9	1.9	0.6	1.86
H-482			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	1.4	1.0	0.4	0.66
H-483			SI01床面直上202	碧玉		剥片	1.0	0.7	0.4	0.28
H-484			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	1.9	1.0	0.4	0.66
H-485			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	1.7	1.3	0.4	1.10
H-486			SI01床面直上	碧玉		剥片	0.9	0.5	0.2	0.13
H-487			SI01床面直上	碧玉		剥片	2.9	2.1	1.1	4.77
H-488			SI01床面直上	碧玉		剥片	0.6	0.5	0.1	0.06
H-489			SI01床面直上139	碧玉		剥片	2.5	2.7	1.4	5.94
H-490			SI01P2内淡灰褐色土	碧玉		剥片	1.8	1.4	0.5	1.23
H-491			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	2.7	1.6	0.7	2.42
H-492			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	1.3	0.9	0.4	0.43
H-493			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	1.1	0.7	0.1	0.12
H-494			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	1.9	1.7	0.4	1.32
H-495			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	1.3	1.0	0.3	0.35
H-496			SI01床面直上	碧玉		剥片	0.9	0.5	0.2	0.10
H-497			SI01床面直上	碧玉		剥片	0.9	0.8	0.2	0.24
H-498			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	0.9	0.8	0.3	0.24

No.	挿図番号	図版番号	出土地点	石材	玉種類	工程	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)
H-499			SI01床面直上200	碧玉		剥片	2.1	1.1	0.5	1.06
H-500			SI01床面直上	碧玉		剥片	1.1	0.9	0.3	0.29
H-501			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	1.8	1.0	0.6	1.00
H-502			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	1.2	0.9	0.3	0.42
H-503			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	1.3	0.6	0.3	0.35
H-504			SI01床面直上	碧玉		剥片	2.8	1.0	0.5	1.87
H-505			SI01P2内淡灰褐色土	碧玉		剥片	2.7	1.3	0.5	1.60
H-506			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	2.1	1.6	0.7	2.06
H-507			SI01床面直上	碧玉		剥片	0.7	0.6	0.1	0.08
H-508			SI01床面直上	碧玉		剥片	1.0	0.7	0.2	0.25
H-509			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	1.5	1.0	0.3	0.44
H-510			SI01P2内淡灰褐色土	碧玉		剥片	1.2	1.0	0.3	0.38
H-511			SI01床面直上	碧玉		剥片	2.4	1.4	1.7	2.60
H-512			SI01床面直上	碧玉		剥片	1.9	1.4	0.7	1.18
H-513			SI01床面直上227	碧玉		剥片	1.9	1.1	0.5	1.09
H-514			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	1.7	1.0	0.6	0.90
H-515			SI01床面直上	碧玉		剥片	0.7	0.7	0.1	0.07
H-516			SI01床面直上	碧玉		剥片	0.7	0.6	0.2	0.11
H-517			SI01床面直上	碧玉		剥片	0.3	0.2	0.05	計測不能
H-518			SI01床面直上174	碧玉		剥片	2.3	1.4	0.5	1.31
H-519			SI01床面直上	碧玉		剥片	1.9	1.5	0.7	1.95
H-520			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	1.0	0.7	0.2	0.15
H-521			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	1.7	1.8	0.9	2.27
H-522			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	2.0	1.7	1.2	3.88
H-523			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	1.8	1.0	0.4	0.83
H-524			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	1.3	1.3	0.3	0.60
H-525			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	1.9	1.9	0.5	1.12
H-526			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	1.5	0.7	0.3	0.26
H-527			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	0.8	0.7	0.2	0.21
H-528			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	1.1	1.0	0.3	0.30
H-529			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	3.5	2.0	0.5	2.94
H-530			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	2.3	2.1	0.9	2.73
H-531			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	1.5	1.4	1.0	2.25
H-532			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	0.9	0.5	0.1	0.07
H-533			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	1.8	1.6	0.5	1.12
H-534			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	2.1	1.0	0.1	0.33
H-535			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	3.1	2.6	1.0	5.71
H-536			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	1.1	0.4	0.1	0.05
H-537			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	1.4	1.2	0.4	0.62
H-538			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	1.4	0.9	0.2	0.22
H-539			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	0.9	0.8	0.05	0.10
H-540			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	1.7	0.8	0.4	0.65
H-541			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	1.3	1.0	0.2	0.25
H-542			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	1.4	0.8	0.3	0.42
H-543			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	1.4	1.2	0.3	0.42
H-544			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	0.7	0.6	0.1	0.10
H-545			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	1.6	1.2	0.8	0.99
H-546			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	1.9	1.4	0.7	1.61
H-547			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	2.4	1.3	0.4	1.04
H-548			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	2.0	1.5	0.5	1.59
H-549			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	1.8	1.0	0.2	0.40
H-550			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	1.7	1.2	0.5	0.83
H-551			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	1.8	1.0	0.2	0.46
H-552			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	1.2	1.0	0.5	0.55
H-553			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	2.0	1.0	0.6	0.73
H-554			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	1.4	1.1	0.2	0.38
H-555			SI01床面直上	碧玉		剥片	1.0	0.7	0.2	0.14
H-556			SI01床面直上	碧玉		剥片	1.4	0.8	0.4	0.47
H-557			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	1.6	0.8	0.4	0.40
H-558			SI01床面直上	碧玉		剥片	1.3	0.7	0.3	0.28
H-559			SI01床面直上	碧玉		剥片	2.6	1.9	1.1	4.52
H-560			SI01床面直上	碧玉		剥片	0.5	0.3	0.3	0.04
H-561			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	1.4	1.2	0.3	0.20

No.	挿図番号	図版番号	出土地点	石材	玉種類	工程	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)
H-562			SI01床面直上	碧玉		剥片	0.6	0.4	0.1	0.03
H-563			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	2.5	2.3	2.0	9.62
H-564			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	1.1	1.0	0.3	0.32
H-565			SI01床面直上	碧玉		剥片	0.4	0.4	0.1	0.02
H-566			SI01床面直上	碧玉		剥片	1.5	1.1	0.4	0.68
H-567			SI01床面直上	碧玉		剥片	0.8	0.6	0.2	0.10
H-568			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	3.4	1.7	0.5	2.08
H-569			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	1.4	0.9	0.2	0.28
H-570			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	3.0	1.5	0.7	3.71
H-571			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	2.6	2.4	1.2	6.00
H-572			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	2.2	1.8	0.4	1.58
H-573			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	1.9	1.5	0.6	1.38
H-574			SI01P2内淡灰褐色土	碧玉		剥片	1.1	0.9	0.5	0.55
H-575			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	4.1	2.5	1.7	13.41
H-576			SI01床面直上	碧玉		剥片	0.5	0.2	0.2	計測不能
H-577			SI01床面直上	碧玉		剥片	0.9	0.8	0.4	0.32
H-578			SI01床面直上236	碧玉		剥片	2.1	1.0	0.6	0.91
H-579			SI01床面直上	碧玉		剥片	1.3	0.8	0.3	0.37
H-580			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	1.3	0.9	0.7	0.73
H-581			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	3.7	1.9	0.7	4.71
H-582			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	0.8	0.7	0.1	0.08
H-583			SI01壁帯溝中	碧玉		剥片	1.2	0.7	0.8	0.68
H-584			SI01床面直上	碧玉		剥片	2.4	1.6	0.7	2.00
H-585			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	2.7	1.3	0.6	1.49
H-586			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	4.1	2.4	1.1	7.59
H-587			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	1.8	1.5	0.4	1.15
H-588			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	1.3	1.1	0.6	0.72
H-589			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	1.5	1.1	0.7	0.98
H-590			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	1.5	1.0	0.6	0.79
H-591			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	1.0	0.8	0.3	0.17
H-592			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	1.2	1.3	0.2	0.33
H-593			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	2.0	1.4	0.4	1.21
H-594			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	2.1	1.6	0.6	1.84
H-595			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	1.9	0.9	0.4	0.63
H-596			SI01床面直上	碧玉		剥片	1.7	1.0	0.2	0.31
H-597			SI01床面直上234	碧玉		剥片	1.4	0.6	0.3	0.30
H-598			SI01床面直上226	碧玉		剥片	1.3	0.9	0.3	0.26
H-599			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	1.6	1.2	0.2	0.40
H-600			SI01床面直上	碧玉		剥片	1.0	0.6	0.2	0.11
H-601			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	1.6	0.8	0.6	0.58
H-602			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	2.3	2.0	0.6	2.51
H-603			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	1.0	0.3	0.3	0.09
H-604			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	2.1	1.4	0.5	0.97
H-605			SI01P3内灰褐色土	碧玉		剥片	0.8	0.7	0.2	0.12
H-606			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	2.6	1.3	0.4	1.02
H-607			SI01床面直上	碧玉		剥片	0.7	0.6	0.1	0.05
H-608			SI01床面直上119	碧玉		剥片	1.5	0.9	0.2	0.31
H-609			SI01床面直上203	碧玉		剥片	2.8	1.9	0.8	4.03
H-610			SI01床面直上203	碧玉		剥片	1.6	0.6	0.4	0.40
H-611			SI01床面直上232	碧玉		剥片	2.8	1.6	0.6	2.31
H-612			SI01床面直上232	碧玉		剥片	0.6	0.5	0.1	0.04
H-613			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	1.7	0.5	0.3	0.25
H-614			SI01床面直上付近一括	碧玉		剥片	2.1	1.5	0.4	0.67
H-615			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	1.7	0.8	0.4	0.48
H-616			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	1.0	1.1	0.2	0.29
H-617			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	1.4	1.3	0.2	0.32
H-618			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	1.2	0.6	0.2	0.09
H-619			SI01床面直上	碧玉		剥片	1.3	0.8	0.6	0.60
H-620			SI01P1内灰褐色土	碧玉		剥片	1.7	0.9	0.5	0.59

合計　620点

杉谷遺跡 SI01床面付近出土　めのう

No.	挿図番号	図版番号	出土地点	石材	玉種類	工程	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)
M-1	123-7	85	SI01床面直上26	めのう	残核→ハンマー	石核	4.3	4.0	2.7	52.42
M-2	123-4	85	SI01床面直上付近一括	めのう		素材剥片	3.1	2.9	1.8	14.46
M-3			SI01壁帯溝中	めのう		素材剥片	2.8	2.6	3.2	28.35
M-4	123-1	85	SI01床面直上	めのう	勾玉	側面打裂(調整剥片)	2.5	1.8	0.95	4.79
M-5			SI01床面直上219	めのう		剥片	2.4	1.8	0.9	4.77
M-6			SI01床面直上198	めのう		剥片	2.6	1.8	0.8	4.00
M-7			SI01P5内灰褐色粘質土	めのう		剥片	3.2	2.2	2.0	18.78
M-8			SI01床面直上付近一括	めのう		剥片	2.7	2.1	1.2	3.91
M-9			SI01P1内灰褐色土	めのう		剥片	2.5	1.7	1.4	5.64
M-10			SI01床面直上付近一括	めのう		剥片	1.0	0.9	0.5	0.35
M-11			SI01床面直上170	めのう		剥片	2.0	1.1	0.6	1.17
M-12			SI01床面直上140	めのう		剥片	2.5	1.8	1.1	6.15
M-13			SI01床面直上39	めのう		剥片	3.0	2.7	1.9	13.84
M-14			SI01床面直上94	めのう		剥片	2.4	1.7	0.5	2.12

合計　14点

杉谷遺跡　SI01床面付近出土　水晶

No.	挿図番号	図版番号	出土地点	石材	玉種類	工程	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)
S-1			SI01床面直上付近一括	水晶		素材剥片	4.3	1.5	1.5	11.94
S-2			SI01床面直上付近一括	水晶		素材剥片	4.0	2.4	1.9	21.46
S-3	124-2	85	SI01床面直上88	水晶		側面打裂(調整剥片)	2.6	2.3	1.2	7.16
S-4			SI01P1内灰褐色土	水晶		剥片	2.6	1.3	1.2	4.52
S-5			SI01床面直上付近一括	水晶		剥片	1.7	1.2	0.6	1.11
S-6			SI01床面直上付近一括	水晶		剥片	1.7	1.6	0.8	1.41
S-7			SI01床面直上123	水晶		剥片	1.2	0.6	0.3	0.23
S-8			SI01床面直上付近一括	水晶		剥片	3.0	1.7	0.9	3.00
S-9			SI01床面直上	水晶		剥片	1.0	0.6	0.2	0.16
S-10			SI01P1内灰褐色土	水晶		剥片	1.4	1.2	0.6	1.25
S-11			SI01床面直上	水晶		剥片	1.0	0.8	0.3	0.22
S-12			SI01床面直上178	水晶		剥片	2.0	1.3	0.6	1.52
S-13			SI01床面直上208	水晶		剥片	1.9	1.1	0.7	1.48
S-14			SI01床面直上付近一括	水晶		剥片	1.1	1.0	0.6	0.51
S-15			SI01床面直上付近一括	水晶		剥片	3.3	2.7	0.9	8.88
S-16			SI01P2内淡灰褐色土	水晶		剥片	2.0	0.8	0.8	1.33
S-17			SI01床面直上214	水晶		剥片	1.7	0.9	0.8	1.60

合計　17点

杉谷遺跡　SI01覆土出土　碧玉　（剥片を除く）

No.	挿図番号	図版番号	出土地点	石材	玉種類	工程	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)
H-621	121-13	84	SI01灰褐色土	碧玉		石核	4.9	5.6	2.7	100.05
H-622			SI01灰褐色土	碧玉		石核	5.8	3.5	3.4	74.68
H-623			SI01灰褐色土	碧玉		石核	6.3	3.4	3.0	68.36
H-624			SI01灰褐色土	碧玉		石核	5.5	4.4	1.4	35.42
H-625			SI01灰褐色土	碧玉		石核	4.5	3.8	1.5	29.72
H-626			SI01灰褐色土	碧玉		石核	5.2	4.5	1.7	39.34
H-627			SI01灰褐色土	碧玉		石核	5.0	4.3	1.2	27.42
H-628			SI01下方灰褐色土	碧玉		石核	5.2	3.8	3.1	64.00
H-629			SI01灰褐色土	碧玉		石核	6.4	3.9	3.8	71.32
H-630			SI01灰褐色土	碧玉		石核	4.5	4.2	3.1	65.62
H-631			SI01灰褐色土	碧玉		石核	5.6	4.8	2.0	47.12
H-632			SI01灰褐色土	碧玉		石核	5.2	3.7	3.6	58.86
H-633			SI01灰褐色土	碧玉		石核	5.1	4.0	1.3	26.03
H-634			SI01灰褐色土	碧玉		石核	3.4	3.4	3.4	51.11
H-635			SI01灰褐色土	碧玉		石核	3.6	3.8	2.2	44.64
H-636			SI01灰褐色土	碧玉		石核	6.9	4.4	2.7	79.19
H-637			SI01灰褐色土	碧玉		石核	4.5	4.5	2.3	49.16
H-638			SI01灰褐色土	碧玉		石核	3.7	3.7	2.5	40.90
H-639			SI01灰褐色土	碧玉		石核	5.7	3.2	2.5	48.62
H-640			SI01灰褐色土	碧玉		石核	4.4	3.4	1.3	88.73
H-641			SI01灰褐色土	碧玉		石核	5.4	5.2	3.9	30.49
H-642	121-11	84	SI01灰褐色土	碧玉		素材剥片	4.2	2.3	2.3	15.12
H-643			SI01灰褐色土	碧玉		素材剥片	2.9	2.3	1.3	10.66
H-644			SI01灰褐色土	碧玉		素材剥片	3.0	2.7	0.9	9.71
H-645			SI01灰褐色土	碧玉		素材剥片	3.2	3.0	1.7	16.71
H-646			SI01灰褐色土	碧玉		素材剥片	5.3	2.7	1.5	19.87
H-647			SI01灰褐色土	碧玉		素材剥片	3.9	3.0	1.2	13.78
H-648			SI01灰褐色土	碧玉		素材剥片	4.4	2.1	2.5	24.35
H-649			SI01灰褐色土	碧玉		素材剥片	3.6	3.5	2.0	24.56
H-650			SI01灰褐色土	碧玉		素材剥片	5.3	3.0	2.0	28.33
H-651			SI01灰褐色土	碧玉		素材剥片	4.8	3.4	1.5	24.78
H-652			SI01灰褐色土	碧玉		素材剥片	3.7	2.5	1.0	11.83
H-653			SI01灰褐色土	碧玉		素材剥片	3.7	2.7	2.0	20.57
H-654			SI01灰褐色土	碧玉		素材剥片	3.5	2.4	2.5	24.35
H-655			SI01灰褐色土	碧玉		素材剥片	2.9	2.5	1.6	10.54
H-656			SI01灰褐色土	碧玉		素材剥片	3.3	2.2	1.7	12.31
H-657			SI01灰褐色土	碧玉		素材剥片	3.3	2.7	2.2	18.34
H-658			SI01灰褐色土	碧玉		素材剥片	3.5	3.2	2.8	38.07
H-659			SI01灰褐色土	碧玉		素材剥片	5.1	2.8	1.7	19.12
H-660			SI01灰褐色土	碧玉		素材剥片	3.4	3.0	2.5	27.93
H-661			SI01灰褐色土	碧玉		素材剥片	3.8	1.9	2.1	13.18
H-662			SI01灰褐色土	碧玉		素材剥片	4.0	2.7	1.6	19.95
H-663			SI01灰褐色土	碧玉		素材剥片	4.3	2.5	1.9	19.44
H-664			SI01灰褐色土	碧玉		素材剥片	3.7	2.3	1.6	10.15
H-665			SI01灰褐色土	碧玉		素材剥片	2.8	2.8	2.4	17.64
H-666			SI01灰褐色土	碧玉		素材剥片	4.9	3.5	1.6	34.22
H-667			SI01灰褐色土	碧玉		素材剥片	4.4	2.9	1.8	16.63
H-668			SI01灰褐色土	碧玉		素材剥片	3.5	3.6	2.8	36.68
H-669			SI01灰褐色土	碧玉		素材剥片	2.3	2.1	2.0	7.57
H-670			SI01灰褐色土	碧玉		素材剥片	3.3	2.8	3.0	29.95
H-671			SI01灰褐色土	碧玉		素材剥片	3.7	2.8	2.4	27.23
H-672			SI01灰褐色土	碧玉		素材剥片	2.8	2.7	2.0	15.22
H-673			SI01灰褐色土	碧玉		素材剥片	3.7	1.9	2.2	19.00
H-674			SI01灰褐色土	碧玉		素材剥片	4.4	2.3	2.6	23.93
H-675			SI01灰褐色土	碧玉		素材剥片	3.2	1.7	1.8	12.06
H-676			SI01灰褐色土	碧玉		素材剥片	3.5	2.5	2.0	16.09
H-677			SI01灰褐色土	碧玉		素材剥片	3.5	3.2	1.7	22.01
H-678			SI01灰褐色土	碧玉		素材剥片	4.3	2.6	2.6	21.35

No.	挿図番号	図版番号	出土地点	石材	玉種類	工程	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)
H-679			SI01灰褐色土	碧玉		素材剥片	4.3	3.2	1.2	17.76
H-680			SI01灰褐色土	碧玉		素材剥片	4.1	2.4	1.0	10.94
H-681			SI01灰褐色土	碧玉		素材剥片	4.6	2.2	1.2	13.17
H-682			SI01灰褐色土	碧玉		素材剥片	5.3	2.4	2.2	25.78
H-683			SI01灰褐色土	碧玉		素材剥片	5.2	2.8	1.6	22.40
H-684			SI01灰褐色土	碧玉		素材剥片	2.8	3.0	2.4	25.71
H-685			SI01灰褐色土	碧玉		素材剥片	2.4	1.7	1.3	6.29
H-686			SI01灰褐色土	碧玉		素材剥片	4.5	2.2	1.8	12.39
H-687			SI01灰褐色土	碧玉		素材剥片	3.5	2.7	2.0	18.68
H-688			SI01灰褐色土	碧玉		素材剥片	4.0	2.4	2.1	31.86
H-689			SI01灰褐色土	碧玉		素材剥片	4.4	3.7	2.3	30.14
H-690			SI01灰褐色土	碧玉		素材剥片	4.6	3.9	1.7	25.28
H-691	120-7	84	SI01灰褐色土	碧玉	管玉	側面打裂(調整剥片)	3.3	2.0	1.5	10.93
H-692	120-8	84	SI01灰褐色土	碧玉	管玉	側面打裂(調整剥片)	3.9	3.3	1.8	17.93
H-693			SI01灰褐色土	碧玉		側面打裂(調整剥片)	3.6	2.3	2.3	24.34
H-694			SI01灰褐色土	碧玉		側面打裂(調整剥片)	3.2	2.0	1.6	10.65
H-695			SI01灰褐色土	碧玉		側面打裂(調整剥片)	3.6	2.3	2.0	18.89
H-696			SI01灰褐色土	碧玉		側面打裂(調整剥片)	3.0	2.4	1.7	12.37
H-697			SI01灰褐色土	碧玉		側面打裂(調整剥片)	3.6	3.4	1.7	22.52
H-698			SI01灰褐色土	碧玉		側面打裂(調整剥片)	3.3	2.0	1.7	12.99
H-699			SI01灰褐色土	碧玉		側面打裂(調整剥片)	3.2	1.7	1.6	9.86
H-700			SI01灰褐色土	碧玉		側面打裂(調整剥片)	3.1	2.7	1.6	13.17
H-701			SI01灰褐色土	碧玉		側面打裂(調整剥片)	3.0	1.9	1.7	9.11
H-702			SI01灰褐色土	碧玉		側面打裂(調整剥片)	2.9	2.4	1.3	9.72
H-703			SI01灰褐色土	碧玉		側面打裂(調整剥片)	3.5	2.2	1.7	15.46
H-704			SI01灰褐色土	碧玉		側面打裂(調整剥片)	3.5	2.0	1.5	9.43
H-705			SI01灰褐色土	碧玉		側面打裂(調整剥片)	2.8	2.3	1.7	12.17
H-706			SI01灰褐色土	碧玉		側面打裂(調整剥片)	4.3	2.1	1.6	16.10
H-707			SI01灰褐色土	碧玉		側面打裂(調整剥片)	5.1	4.2	2.1	45.03
H-708			SI01灰褐色土	碧玉		側面打裂(調整剥片)	4.4	3.4	2.2	36.95
H-709			SI01灰褐色土	碧玉		側面打裂(調整剥片)	3.7	2.4	2.0	23.38
H-710			SI01灰褐色土	碧玉		側面打裂(調整剥片)	6.0	3.0	2.2	31.27
H-711			SI01灰褐色土	碧玉		側面打裂(調整剥片)	4.1	2.3	1.7	14.41
H-712			SI01灰褐色土	碧玉		側面打裂(調整剥片)	2.1	1.2	1.0	3.66
H-713			SI01灰褐色土	碧玉		側面打裂(調整剥片)	2.3	1.7	1.5	6.19
H-714			SI01灰褐色土	碧玉		側面打裂(調整剥片)	3.1	2.2	1.7	14.38
H-715			SI01灰褐色土	碧玉		側面打裂(調整剥片)	3.9	3.1	1.2	23.84
H-716	120-3	84	SI01灰褐色土	碧玉	勾玉	一次研磨	2.8	1.6	1.6	8.12
H-717	120-2	84	SI01灰褐色土	碧玉	勾玉	一次研磨	3.0	1.6	1.1	6.14
H-718	120-1	84	SI01灰褐色土	碧玉	勾玉	一次研磨	3.4	2.1	0.9	8.35
H-719	120-5	84	SI01灰褐色土	碧玉	管玉	側面打裂(角柱状加工品)	2.9	1.7	1.6	8.18
H-720	120-4	84	SI01灰褐色土	碧玉	勾玉	側面打裂(側面打製品)	2.5	1.4	1.4	5.29
H-721			SI01灰褐色土	碧玉	勾玉か	側面打裂(側面打製品)	2.6	1.4	1.2	5.54
H-722			SI01灰褐色土	碧玉	管玉か	側面打裂(角柱状加工品)	2.6	1.3	1.5	7.31
H-723			SI01灰褐色土	碧玉	管玉か	側面打裂(角柱状加工品)	1.4	1.3	1.3	2.81
H-724			SI01灰褐色土	碧玉	管玉か	側面打裂(角柱状加工品)	2.1	2.1	1.4	7.39
H-725			SI01灰褐色土	碧玉	管玉か	側面打裂(角柱状加工品)	2.8	1.2	1.2	5.26
H-726			SI01灰褐色土	碧玉	管玉か	側面打裂(角柱状加工品)	2.0	1.4	1.3	4.60
H-727			SI01灰褐色土	碧玉	管玉か	側面打裂(角柱状加工品)	2.7	1.6	1.5	7.61
H-728			SI01灰褐色土	碧玉	管玉か	側面打裂(角柱状加工品)	2.2	1.7	1.3	4.83
H-729			SI01灰褐色土	碧玉	管玉か	側面打裂(角柱状加工品)	1.9	2.2	1.2	4.59
H-730			SI01灰褐色土	碧玉	管玉か	側面打裂(角柱状加工品)	2.1	1.6	1.4	6.22
H-731			SI01灰褐色土	碧玉	管玉か	側面打裂(角柱状加工品)	2.2	1.3	2.2	4.44
H-732			SI01灰褐色土	碧玉	管玉か	側面打裂(角柱状加工品)	2.1	1.6	1.4	6.83

合計　112点(剥片を除く)

杉谷遺跡 SI01覆土出土　めのう　（剥片を除く）

No.	挿図番号	図版番号	出土地点	石材	玉種類	工程	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)
M-15	123-6	85	SI01灰褐色土	めのう		石核	5.5	4.2	2.2	56.00
M-16			SI01淡灰褐色土	めのう		石核	5.3	5.1	3.4	82.55
M-17	123-5	85	SI01灰褐色土	めのう		素材剥片	2.8	2.05	1.4	10.14
M-18			SI01灰褐色土	めのう		素材剥片	5.5	3.6	2.7	46.00
M-19	123-2	85	SI01灰褐色土	めのう	勾玉	側面打裂(調整剥片)	4.0	2.3	1.1	11.20
M-20	123-3	85	SI01灰褐色土	めのう	勾玉	側面打裂(調整剥片)	3.1	2.6	2.2	21.79
M-21			SI01灰褐色土	めのう		側面打裂(調整剥片)	4.1	3.4	1.9	26.46
M-22			SI01灰褐色土	めのう		側面打裂(調整剥片)	3.2	1.9	1.6	10.07
M-23			SI01灰褐色土	めのう		側面打裂(調整剥片)	4.2	2.9	2.6	33.34
M-24			SI01灰褐色土	めのう		側面打裂(調整剥片)	4.8	2.6	2.2	28.50
M-25			SI01灰褐色土	めのう		側面打裂(調整剥片)	3.0	2.9	2.3	19.33
M-26			SI01灰褐色土	めのう		側面打裂(調整剥片)	4.3	2.9	2.4	32.30

合計　12点(剥片を除く)

杉谷遺跡　SI01覆土出土　水晶　（剥片を除く）

No.	挿図番号	図版番号	出土地点	石材	玉種類	工程	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)
S-18	124-6	85	SI01灰褐色土	水晶		石核	4.1	2.45	2.0	24.12
S-19	124-4	85	SI01灰褐色土	水晶		素材剥片	2.7	2.5	1.6	10.21
S-20	125-5	85	SI01灰褐色土	水晶		素材剥片	4.15	1.9	1.8	14.75
S-21			SI01灰褐色土	水晶		素材剥片	3.0	2.8	1.4	11.88
S-22			SI01灰褐色土	水晶		素材剥片	3.2	1.7	1.2	5.97
S-23			SI01灰褐色土	水晶		素材剥片	3.2	1.9	1.5	8.63
S-24	124-1	85	SI01灰褐色土	水晶	丸玉	側面打裂(調整剥片)	1.6	1.6	1.1	3.66
S-25	124-3	85	SI01灰褐色土	水晶		側面打裂(調整剥片)	2.6	1.9	1.4	7.81
S-26			SI01灰褐色土	水晶		側面打裂(調整剥片)	2.6	1.3	1.1	4.66
S-27			SI01灰褐色土	水晶		側面打裂(調整剥片)	3.2	1.5	1.4	6.56
S-28			SI01灰褐色土	水晶		側面打裂(調整剥片)	2.2	1.3	1.3	3.80
S-29			SI01灰褐色土	水晶		側面打裂(調整剥片)	2.7	1.4	1.2	5.75
S-30			SI01灰褐色土	水晶		側面打裂(調整剥片)	2.1	1.8	1.3	5.69
S-31			SI01灰褐色土	水晶		側面打裂(調整剥片)	2.6	1.5	1.0	5.28
S-32			SI01灰褐色土	水晶		側面打裂(調整剥片)	1.1	1.0	1.0	1.47
S-33			SI01灰褐色土	水晶		側面打裂(調整剥片)	1.9	1.2	1.0	3.74
S-34			SI01灰褐色土	水晶		側面打裂(調整剥片)	1.1	0.8	0.6	1.05
S-35			SI01灰褐色土	水晶		側面打裂(調整剥片)	2.4	1.9	1.5	5.57

合計　18点(剥片を除く)

杉谷遺跡　SI01覆土出土　滑石

No.	挿図番号	図版番号	出土地点	石材	玉種類	工程	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)
KA-1			SI01灰褐色土	滑石		剥片	3.2	1.5	0.7	3.23
KA-2			SI01灰褐色土	滑石		剥片	1.9	0.7	0.2	0.28
KA-3			SI01灰褐色土	滑石		剥片	1.2	1.0	0.2	0.24
KA-4			SI01灰褐色土	滑石		剥片	3.1	2.7	0.4	3.82
KA-5			SI01灰褐色土	滑石		剥片	1.7	1.2	0.3	0.59
KA-6			SI01灰褐色土	滑石		剥片	2.5	1.8	1.0	3.02
KA-7			SI01灰褐色土	滑石		剥片	1.1	0.5	0.2	0.12
KA-8			SI01灰褐色土	滑石		剥片	1.0	0.5	0.4	0.26
KA-9			SI01灰褐色土	滑石		剥片	0.9	0.7	0.2	0.11
KA-10			SI01灰褐色土	滑石		剥片	1.3	1.0	0.2	0.29
KA-11			SI01灰褐色土	滑石		剥片	1.2	0.8	0.1	0.19
KA-12			SI01灰褐色土	滑石		剥片	2.5	1.5	0.6	2.95
KA-13			SI01灰褐色土	滑石		剥片	1.6	1.2	0.2	0.26
KA-14			SI01灰褐色土	滑石		剥片	2.0	0.9	0.3	0.54
KA-15			SI01灰褐色土	滑石		剥片	2.0	1.3	0.7	1.32
KA-16			SI01灰褐色土	滑石		剥片	3.9	1.5	0.6	4.95
KA-17			SI01灰褐色土	滑石		剥片	2.2	1.7	0.4	1.20
KA-18			SI01灰褐色土	滑石		剥片	1.3	0.8	0.3	0.40
KA-19			SI01灰褐色土	滑石		剥片	0.7	0.6	0.1	0.06

合計　19点

杉谷遺跡　SI01覆土出土　川原石

No.	挿図番号	図版番号	出土地点	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)
K-1	125-1	85	SI01灰褐色土	1.65	1.3	0.95	2.75
K-2	125-3	85	SI01灰褐色土	4.3	2.2	2.17	21.69
K-3	125-2	85	SI01灰褐色土	3.58	2.8	0.81	9.47
K-4	125-4	85	SI01灰褐色土	5.36	2.5	1.28	21.80
K-5			SI01灰褐色土	3.8	2.2	0.9	9.70

合計　5点

杉谷遺跡　SI01覆土　砥石

No.	挿図番号	図版番号	出土地点	石材	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)
T-1	125-5	86	SI01灰褐色土	結晶片岩か	7.1	2.9	0.6	15.39
T-2	125-7	86	SI01上層暗褐色土	結晶片岩か	4.65	3.75	1.5	34.86
T-3	125-6	86	SI01灰褐色土	結晶片岩か	10.4	8.2	7.7	631.22

合計　3点

杉谷遺跡　包含層出土　碧玉（剥片を除く）

No.	挿図番号	図版番号	出土地点	石材	玉種類	工程	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)
H-3428			SD01灰褐色土	碧玉		石核	5.2	3.2	3.1	56.81
H-3429			SD01灰褐色土	碧玉		石核	4.7	3.7	3.0	45.62
H-3430			SD01灰褐色土	碧玉		素材剥片	4.2	2.6	1.5	19.90
H-3431			SD01灰褐色土	碧玉		素材剥片	3.2	1.9	1.6	8.35
H-3432			SD01灰褐色土	碧玉		素材剥片	2.3	2.1	1.7	8.02
H-3433			SD01灰褐色土	碧玉		素材剥片	5.8	3.1	1.6	26.42
H-3434			SD01灰褐色土	碧玉		素材剥片	4.4	2.7	1.0	10.11
H-3435			SD01灰褐色土	碧玉		素材剥片	2.7	2.2	2.0	8.63
H-3436			SD01灰褐色土	碧玉		側面打裂(調整剥片)	3.2	2.2	1.2	9.82
H-3462			SX01淡灰褐色土一括	碧玉		石核	5.2	4.2	2.9	53.39
H-3463			SX01灰褐色粘質土	碧玉		石核	6.6	4.4	3.1	66.70
H-3464			SX01灰褐色粘質土	碧玉		石核	6.7	4.5	2.3	68.08
H-3465			SX01灰色土	碧玉		石核	6.7	6.7	4.3	162.47
H-3466			SX01黒褐色土	碧玉		石核	5.3	3.7	3.6	61.71
H-3467			SX01黒褐色土	碧玉		石核	8.3	5.9	4.3	129.55
H-3468			SX01黒褐色土	碧玉		石核	8.6	6.8	3.0	214.62
H-3469			SX01黒褐色土	碧玉		石核	7.3	3.4	3.3	90.32
H-3470			SX01黒褐色土	碧玉		石核	10.4	8.5	5.2	375.85
H-3471			SX01黒褐色土	碧玉		石核	5.7	3.4	2.2	54.56
H-3472			SX01黒褐色土	碧玉		石核	4.1	2.6	1.3	14.44
H-3473			SX01黒褐色土	碧玉		素材剥片	8.1	4.0	3.5	145.33
H-3474			SX01黒褐色土	碧玉		素材剥片	4.3	3.2	1.2	17.08
H-3475			SX01黒褐色土	碧玉		素材剥片	4.6	2.8	1.6	12.13
H-3476			SX01黒褐色土	碧玉		素材剥片	3.2	1.9	1.5	10.31
H-3477			SX01黒褐色土	碧玉		素材剥片	4.8	3.3	1.2	19.46
H-3478			SX01黒褐色土	碧玉		素材剥片	3.3	2.7	10.6	10.58
H-3479			SX01黒褐色土	碧玉		素材剥片	4.1	2.7	1.2	15.47
H-3480			SX01黒褐色土	碧玉		素材剥片	3.2	2.9	1.9	14.35
H-3481			SX01黒褐色土	碧玉		素材剥片	3.4	2.0	1.2	9.30
H-3482			SX01淡灰褐色土	碧玉		素材剥片	3.2	2.0	1.8	12.23
H-3483			SX01淡褐色土一括	碧玉		素材剥片	3.5	1.7	1.4	8.21
H-3484			SX01淡褐色土一括	碧玉		素材剥片	3.5	3.0	1.0	8.45
H-3485			SX01黒褐色土	碧玉		素材剥片	4.4	2.4	1.4	13.23
H-3486			SX01茶褐色土	碧玉		素材剥片	2.9	1.7	1.5	7.33
H-3487			SX01茶褐色土	碧玉		素材剥片	3.6	3.5	1.5	16.33
H-3488			SX01茶褐色土	碧玉		素材剥片	4.1	3.3	1.0	12.92
H-3489			SX01茶褐色土	碧玉		素材剥片	4.7	3.1	3.0	40.52
H-3490			SX01灰褐色粘質土	碧玉		素材剥片	4.9	3.1	1.9	26.99
H-3491			SX01黒褐色土	碧玉		素材剥片	4.6	2.8	1.7	26.59
H-3492			SX01灰色土	碧玉		素材剥片	2.9	2.3	1.6	10.00
H-3493			SX01灰色土	碧玉		素材剥片	4.4	3.4	2.4	24.25
H-3494			SX01黒褐色土	碧玉		素材剥片	5.0	3.7	1.3	28.38
H-3495			SX01黒褐色土	碧玉		素材剥片	3.8	2.4	1.4	12.26
H-3496			SX01茶褐色土	碧玉		素材剥片	3.6	2.3	1.1	12.16
H-3497			SX01黒褐色土	碧玉		素材剥片	4.9	2.7	1.8	18.65
H-3498			SX01灰褐色土	碧玉		素材剥片	5.1	2.7	1.2	17.10
H-3499			SX01黒褐色土	碧玉		素材剥片	3.2	1.9	1.4	8.83
H-3500			SX01黒褐色土	碧玉		素材剥片	4.4	2.9	1.6	18.36
H-3501			SX01灰色土	碧玉		素材剥片	4.6	3.5	1.2	23.05
H-3502			SX01淡灰褐色土一括	碧玉		素材剥片	3.8	1.9	1.1	6.96
H-3503			SX01黒褐色土	碧玉		素材剥片	3.4	2.6	1.5	11.97
H-3504			SX01黒褐色土	碧玉		素材剥片	5.3	1.9	1.6	15.66
H-3505			SX01灰褐色粘質土	碧玉		素材剥片	2.9	2.5	1.4	11.50
H-3506			SX01茶褐色土	碧玉		素材剥片	4.9	3.1	2.8	29.20
H-3507			SX01淡灰褐色土	碧玉		素材剥片	3.7	3.3	1.5	11.65
H-3508			SX01灰色土	碧玉		素材剥片	3.7	2.4	1.4	11.07
H-3509			SX01灰褐色土	碧玉		素材剥片	4.1	2.6	1.5	15.21
H-3510			SX01掘削土中	碧玉		側面打裂(調整剥片)	5.3	3.9	2.0	49.92

No.	挿図番号	図版番号	出土地点	石材	玉種類	工程	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)
H-3511			SX01西茶褐色土	碧玉		側面打裂(調整剥片)	4.1	3.5	1.2	19.42
H-3512			SX01茶褐色土	碧玉		側面打裂(調整剥片)	3.2	3.0	1.6	14.30
H-3513			SX01黒褐色土	碧玉		側面打裂(調整剥片)	2.7	1.5	1.3	5.98
H-3514			SX01灰褐色土	碧玉		側面打裂(調整剥片)	2.9	2.2	1.8	10.04
H-3515			SX01黒褐色土	碧玉		側面打裂(調整剥片)	3.1	2.4	1.4	12.99
H-3516			SX01灰褐色粘質土	碧玉		側面打裂(調整剥片)	3.2	2.5	1.7	10.39
H-3517			SX01灰褐色土	碧玉		側面打裂(調整剥片)	3.9	2.2	1.8	20.96
H-3518			SX01掘削土中	碧玉		側面打裂(調整剥片)	3.2	2.7	2.4	15.10
H-3519			SX01淡灰褐色土一括	碧玉		側面打裂(調整剥片)	5.2	3.8	1.4	29.73
H-3520			SX01黒褐色土	碧玉		側面打裂(調整剥片)	4.4	2.3	1.8	20.11
H-3521			SX01黒褐色土	碧玉		側面打裂(調整剥片)	2.3	1.9	1.3	6.05
H-3522			SX01灰褐色土	碧玉	勾玉	側面打裂(側面打製品)	2.5	1.9	1.0	7.28
H-3523			SX01灰褐色粘質土一括	碧玉	管玉か	側面打裂(角柱状加工品)	3.2	1.4	1.3	7.87
H-3524			SX01灰褐色土	碧玉	管玉か	側面打裂(角柱状加工品)	2.5	1.3	1.2	4.45
H-3525			SX01黒褐色土	碧玉	管玉か	側面打裂(角柱状加工品)	3.4	1.9	1.5	14.28
H-3697			SK01暗褐色土	碧玉		石核	5.3	3.9	2.9	55.75
H-3701			SX01黒褐色土	碧玉		原材	9.8	6.2	3.9	287.55
H-3702	132-6	90	SX01東方攪乱土中	碧玉		原材	11.3	10.5	5.7	831.22
H-3703	131-5	90	暗褐色土層一括	碧玉	ハンマーか	石核	7.6	4.4	4.1	120.61
H-3704			暗褐色土	碧玉	ハンマーか	石核	11.9	5.5	3.9	317.24
H-3705			褐色土層一括	碧玉		石核	7.4	6.3	4.9	258.78
H-3706			灰褐色土層一括	碧玉		石核	5.5	3.8	1.5	35.54
H-3707			暗褐色土	碧玉		石核	4.3	3.6	1.7	22.63
H-3708			暗褐色土	碧玉		石核	5.9	3.6	2.9	54.29
H-3709			地表面採取	碧玉		石核	5.9	4.0	2.7	54.26
H-3710			暗褐色土	碧玉		石核	5.8	4.4	3.0	92.20
H-3711			掘削土中	碧玉		石核	7.0	3.3	2.5	54.93
H-3712			地山上暗褐色土	碧玉		石核	5.5	3.5	2.6	48.33
H-3713			暗褐色土	碧玉		石核	7.0	4.5	4.0	154.11
H-3714			淡灰褐色土(SI01下方)	碧玉		石核	9.6	6.1	2.1	123.38
H-3715			暗褐色土	碧玉		石核	3.2	2.7	2.7	29.43
H-3716			地山上暗褐色土層一括	碧玉		石核	6.9	2.2	2.3	50.16
H-3717			暗褐色土	碧玉		石核	3.3	2.7	2.4	30.50
H-3718			暗褐色土層一括	碧玉		石核	5.1	3.9	2.5	48.04
H-3719			暗褐色土層一括	碧玉		石核	4.9	4.0	2.4	62.93
H-3720			掘削土中	碧玉		石核	6.4	4.6	2.8	112.17
H-3721			暗褐色土	碧玉		石核	4.9	4.5	2.7	51.64
H-3722			地山上暗褐色土層一括	碧玉		石核	5.8	5.8	2.2	87.57
H-3723			暗褐色土	碧玉		石核	6.3	3.1	2.1	31.71
H-3724			暗褐色土	碧玉		石核	2.7	2.7	2.1	20.97
H-3725			暗褐色土	碧玉		石核	3.4	3.2	2.2	27.52
H-3726			暗褐色土	碧玉		石核	4.4	4.1	1.6	27.08
H-3727			暗褐色土層一括	碧玉		石核	4.8	3.7	2.1	39.94
H-3728			淡灰褐色土(SI01下方)	碧玉		石核	3.4	3.1	2.5	40.67
H-3729			暗褐色土	碧玉		石核	4.6	4.3	2.8	52.41
H-3730			灰褐色土	碧玉		石核	8.1	4.1	3.7	138.61
H-3731			地山上暗褐色土層一括	碧玉		石核	5.1	3.8	3.0	59.73
H-3732			暗褐色土	碧玉		石核	4.2	3.6	1.9	41.43
H-3733			暗褐色土	碧玉		石核	6.4	3.9	2.4	42.40
H-3734			掘削土中	碧玉		石核	4.9	4.2	3.2	69.23
H-3735			灰褐色土	碧玉		石核	7.8	7.2	3.6	206.42
H-3736	131-4	90	灰褐色土	碧玉		素材剥片	5.3	3.7	1.3	24.37
H-3737			暗褐色土層一括	碧玉		素材剥片	3.0	2.3	1.2	9.79
H-3738			暗褐色土層一括	碧玉		素材剥片	4.0	3.6	2.0	24.83
H-3739			暗褐色土層一括	碧玉		素材剥片	3.5	2.2	2.1	18.66
H-3740			灰褐色土層一括	碧玉		素材剥片	2.6	2.3	1.7	13.26
H-3741			暗褐色土層一括	碧玉		素材剥片	5.1	2.3	1.7	20.25
H-3742			地山上暗褐色土層一括	碧玉		素材剥片	3.8	2.4	1.4	10.04
H-3743			地山上暗褐色土層一括	碧玉		素材剥片	3.9	3.4	2.6	25.04
H-3744			表土下褐色土	碧玉		素材剥片	3.5	2.8	1.2	13.07

No.	挿図番号	図版番号	出土地点	石材	玉種類	工程	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)
H-3745			地山上暗褐色土層一括	碧玉		素材剥片	3.4	1.7	1.1	8.77
H-3746			灰褐色土層一括	碧玉		素材剥片	4.2	1.9	2.0	17.74
H-3747			地山上暗褐色土層一括	碧玉		素材剥片	3.1	2.2	1.3	7.84
H-3748			暗褐色土層一括	碧玉		素材剥片	3.9	2.5	1.6	11.41
H-3749			地山上暗褐色土層一括	碧玉		素材剥片	5.0	2.5	1.5	16.76
H-3750			灰褐色土	碧玉		素材剥片	3.1	2.5	1.4	8.96
H-3751			灰褐色土	碧玉		素材剥片	3.0	2.0	1.8	8.52
H-3752			地山上暗褐色土層一括	碧玉		素材剥片	3.8	2.7	2.5	23.88
H-3753			地山上暗褐色土層一括	碧玉		素材剥片	2.9	2.4	1.9	12.66
H-3754			地山上暗褐色土層一括	碧玉		素材剥片	3.2	2.3	1.9	12.24
H-3755			地山上暗褐色土層一括	碧玉		素材剥片	4.1	2.9	1.6	13.30
H-3756			SI01下方斜面暗褐色地山上	碧玉		素材剥片	2.4	2.1	1.2	6.32
H-3757			掘削土中	碧玉		素材剥片	3.3	1.9	0.7	6.74
H-3758			暗褐色土	碧玉		素材剥片	3.6	2.0	1.2	8.11
H-3759			掘削土中	碧玉		素材剥片	3.4	2.8	1.7	21.99
H-3760			暗褐色土	碧玉		素材剥片	3.4	2.8	1.4	14.69
H-3761			灰褐色土	碧玉		素材剥片	3.5	2.9	2.2	15.26
H-3762			暗褐色土	碧玉		素材剥片	2.8	2.0	1.3	9.06
H-3763			暗褐色土	碧玉		素材剥片	4.4	3.8	1.5	19.09
H-3764			灰褐色土層一括	碧玉		素材剥片	2.7	1.9	1.1	6.14
H-3765			暗褐色土	碧玉		素材剥片	4.3	1.6	1.7	9.77
H-3766			灰褐色土層一括	碧玉		素材剥片	3.8	2.7	1.5	15.63
H-3767			灰褐色土	碧玉		素材剥片	2.7	2.3	1.4	9.13
H-3768			暗褐色土	碧玉		素材剥片	3.0	1.7	1.3	7.89
H-3769			灰褐色土	碧玉		素材剥片	2.5	1.8	1.4	4.80
H-3770			淡灰褐色土(SI01下方)	碧玉		素材剥片	3.7	3.5	0.9	9.87
H-3771			暗褐色土	碧玉		素材剥片	3.3	2.9	1.4	10.37
H-3772			灰褐色土	碧玉		素材剥片	1.9	1.9	1.7	8.84
H-3773			灰褐色土層一括	碧玉		素材剥片	4.6	2.3	1.5	12.22
H-3774			灰褐色土層一括	碧玉		素材剥片	3.0	1.7	1.1	6.27
H-3775			灰褐色土層一括	碧玉		素材剥片	3.8	3.2	1.1	14.97
H-3776			灰褐色土	碧玉		素材剥片	2.0	2.0	0.9	4.21
H-3777			灰褐色土層一括	碧玉		素材剥片	5.0	2.5	1.1	12.88
H-3778			灰褐色土	碧玉		素材剥片	3.3	2.7	1.4	11.38
H-3779			暗褐色土	碧玉		素材剥片	2.9	2.2	1.6	10.94
H-3780			灰褐色土	碧玉		素材剥片	3.4	2.3	0.9	8.47
H-3781			暗褐色土	碧玉		素材剥片	2.9	1.5	1.1	4.50
H-3782			灰褐色土層一括	碧玉		素材剥片	4.7	2.4	2.1	19.04
H-3783			灰褐色土	碧玉		素材剥片	3.1	1.8	1.2	6.73
H-3784			灰褐色土	碧玉		素材剥片	4.2	3.0	1.3	19.31
H-3785			灰褐色土層一括	碧玉		素材剥片	3.4	1.8	1.8	8.89
H-3786			暗褐色土	碧玉		素材剥片	4.3	3.1	1.1	12.22
H-3787	131-3	90	褐色土	碧玉	勾玉	側面打裂(調整剥片)	3.0	2.4	1.3	7.00
H-3788	131-2	90	暗褐色土7	碧玉	勾玉	側面打裂(調整剥片)	4.0	3.1	2.3	28.26
H-3789			地山上暗褐色土層一括	碧玉	勾玉	側面打裂(側面打製品)	2.9	2.2	0.8	5.34
H-3790			灰褐色土	碧玉		側面打裂(調整剥片)	3.1	2.2	1.4	12.21
H-3791			暗褐色土層一括	碧玉		側面打裂(調整剥片)	2.9	1.7	1.1	6.42
H-3792			地表面採取	碧玉		側面打裂(調整剥片)	1.8	1.1	0.9	2.43
H-3793			暗褐色土層一括	碧玉		側面打裂(調整剥片)	4.2	3.1	2.9	33.38
H-3794			暗褐色土	碧玉		側面打裂(調整剥片)	2.1	1.9	1.3	5.95
H-3795			掘削土中	碧玉		側面打裂(調整剥片)	3.8	2.9	1.8	22.94
H-3796			灰褐色土層一括	碧玉		側面打裂(調整剥片)	2.5	1.8	1.5	6.81
H-3797			灰褐色土	碧玉		側面打裂(調整剥片)	5.1	2.5	1.5	21.44
H-3798			褐色土一括	碧玉		側面打裂(調整剥片)	3.3	2.4	1.3	8.47
H-3799			褐色土	碧玉		側面打裂(調整剥片)	7.9	2.6	2.1	44.54
H-3800			暗褐色土	碧玉		側面打裂(調整剥片)	2.8	2.7	2.2	17.05
H-3801			褐色土一括	碧玉		側面打裂(調整剥片)	3.1	2.3	1.4	9.22
H-3802			灰褐色土	碧玉		側面打裂(調整剥片)	2.4	1.5	1.2	4.48
H-3803			灰褐色土	碧玉		側面打裂(調整剥片)	1.8	1.8	1.2	3.88
H-3804			灰褐色土	碧玉		側面打裂(調整剥片)	3.5	2.2	1.7	15.81

No.	挿図番号	図版番号	出土地点	石材	玉種類	工程	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)
H-3805			灰褐色土	碧玉		側面打裂(調整剥片)	5.3	3.1	1.0	20.25
H-3806			灰褐色土層一括	碧玉	勾玉	側面打裂(調整剥片)	3.8	2.3	1.4	12.40
H-3807			灰褐色土層一括	碧玉		側面打裂(調整剥片)	2.5	2.0	1.4	6.77
H-3808			淡灰褐色土(SI01下方)	碧玉		側面打裂(調整剥片)	3.6	2.0	1.2	11.33
H-3809			灰褐色土層一括	碧玉		側面打裂(調整剥片)	2.7	1.9	1.5	9.99
H-3810			暗褐色土	碧玉		側面打裂(調整剥片)	2.8	1.6	1.2	6.29
H-3811			灰褐色土	碧玉		側面打裂(調整剥片)	2.9	2.5	1.7	16.14
H-3812			灰褐色土	碧玉		側面打裂(調整剥片)	3.9	2.2	1.2	9.22
H-3813			掘削土中	碧玉		側面打裂(調整剥片)	3.1	1.6	1.0	6.08
H-3814			褐色土一括	碧玉		側面打裂(調整剥片)	3.1	2.5	2.4	15.28
H-3815			掘削土中	碧玉		側面打裂(調整剥片)	2.8	2.0	1.4	6.77
H-3816			灰褐色土	碧玉	管玉か	側面打裂(角柱状加工品)	3.2	1.6	1.6	10.94
H-3817			灰褐色土	碧玉	管玉か	側面打裂(角柱状加工品)	2.6	2.0	1.7	11.15
H-3818			淡灰褐色土(SI01下方)	碧玉	管玉か	側面打裂(角柱状加工品)	2.5	1.6	1.4	7.47
H-3819			表土下褐色土	碧玉	勾玉	側面打裂(側面打製品)	2.9	1.9	1.3	8.86
H-3820	131-1	90	SX01縦断ベルト淡灰褐色土一括	碧玉	勾玉	側面打裂(側面打製品)	3.0	2.1	0.8	5.26

合計　194点(剥片を除く)

杉谷遺跡　包含層出土　めのう　(剥片を除く)

No.	挿図番号	図版番号	出土地点	石材	玉種類	工程	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)
M-72			SD01灰褐色土	めのう		石核	5.0	4.7	3.0	67.73
M-73			SD01灰褐色土	めのう		石核	6.5	4.2	3.8	87.97
M-74			SD01灰褐色土	めのう		素材剥片	3.6	2.2	1.2	11.99
M-75			SD01灰褐色土	めのう		素材剥片	4.1	2.6	1.3	15.02
M-76			SD01灰褐色土	めのう		素材剥片	4.0	3.2	2.2	29.85
M-77			SD01灰褐色土	めのう		素材剥片	4.1	3.0	2.5	27.71
M-78			SD01灰褐色土	めのう		素材剥片	4.6	2.6	1.7	24.30
M-79			SD01灰褐色土	めのう		素材剥片	3.2	1.9	1.4	7.58
M-80			SD01灰褐色土	めのう		素材剥片	2.2	2.2	1.7	12.26
M-81			SD01灰褐色土	めのう		素材剥片	4.5	2.7	1.8	25.75
M-82			SD01灰褐色土	めのう		側面打裂(調整剥片)	4.7	2.9	2.2	38.20
M-83			SD01灰褐色土	めのう	勾玉	側面打裂(側面打製品)	3.0	2.1	1.1	7.63
M-84			SD01灰褐色土	めのう		側面打裂(調整剥片)	3.6	2.2	1.4	13.17
M-85			SD01灰褐色土	めのう		側面打裂(調整剥片)	2.3	1.7	1.6	8.21
M-86			SD01灰褐色土	めのう		側面打裂(調整剥片)	6.3	3.6	1.5	34.65
M-87			SD01灰褐色土	めのう		側面打裂(調整剥片)	4.4	3.6	1.3	29.50
M-88			SD01灰褐色土	めのう		側面打裂(調整剥片)	2.9	1.9	1.2	7.75
M-103			SX01黒褐色土	めのう		原材	14.0	7.1	6.4	726.89
M-104			SX01黒褐色土	めのう		石核	6.5	3.9	5.3	179.94
M-105			SX01黒褐色土	めのう		石核	7.9	6.6	2.2	196.33
M-106			SX01黒褐色土	めのう		石核	5.6	3.7	2.5	51.12
M-107			SX01黒褐色土	めのう		石核	3.6	3.4	1.2	20.03
M-108			SX01黒褐色土	めのう		石核	6.0	4.5	2.0	61.81
M-109			SX01灰褐色土	めのう		石核	4.0	3.6	1.7	33.00
M-110			SX01灰褐色土	めのう		石核	4.9	3.3	2.1	33.37
M-111			SX01茶褐色土	めのう	ハンマー?	石核	4.5	4.4	2.3	62.69
M-112			SX01黒褐色土	めのう		石核	5.1	3.6	3.1	55.40
M-113			SX01黒褐色土	めのう		石核	5.2	4.5	2.5	71.63
M-114			SX01黒褐色土	めのう		石核	6.9	2.2	2.3	50.05
M-115			SX01黒褐色土	めのう		石核	3.9	3.6	1.6	36.00
M-116			SX01黒褐色土	めのう		石核	3.8	3.4	1.4	26.18
M-117			SX01灰色土	めのう		石核	4.5	3.8	1.6	44.96
M-118			SX01黒褐色土	めのう		石核	4.0	3.5	2.3	33.43
M-119			SX01茶褐色土	めのう		石核	3.6	3.2	2.2	36.23
M-120			SX01黒褐色土	めのう		石核	6.9	6.4	3.1	186.02
M-121			SX01灰色土	めのう		石核	7.8	3.7	2.7	72.99
M-122			SX01黒褐色土	めのう		石核	6.0	4.0	3.2	69.52
M-123			SX01黒褐色土	めのう		石核	4.9	3.5	2.7	47.48

No.	挿図番号	図版番号	出土地点	石材	玉種類	工程	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)
M-124			SX01黒褐色土	めのう		石核	6.2	4.0	3.0	80.32
M-125			SX01黒褐色土	めのう		石核	6.0	3.8	0.9	26.13
M-126			SX01茶褐色土	めのう		石核	3.5	2.5	1.8	21.91
M-127			SX01黒褐色土	めのう		石核	3.7	2.8	1.6	22.76
M-128			SX01黒褐色土	めのう		石核	4.9	4.1	2.8	85.31
M-129			SX01茶褐色土	めのう		石核	4.5	4.3	3.4	82.00
M-130			SX01黒褐色土	めのう		石核	4.2	4.2	2.1	43.08
M-131			SX01黒褐色土	めのう		石核	4.0	3.5	2.3	37.37
M-132			SX01黒褐色土	めのう		石核	4.7	2.9	2.4	41.55
M-133			SX01灰褐色土	めのう		石核	5.0	4.2	1.8	58.96
M-134			SX01黒褐色土	めのう		石核	5.1	3.3	3.5	63.73
M-135			SX01黒褐色土	めのう		石核	3.9	2.8	3.1	50.80
M-136			SX01灰色土	めのう		素材剥片	2.2	2.3	1.0	7.23
M-137			SX01灰褐色土	めのう		素材剥片	5.4	2.6	2.4	34.97
M-138			SX01黒褐色土	めのう		素材剥片	2.0	1.9	1.5	9.23
M-139			SX01灰褐色粘質土	めのう		素材剥片	3.2	2.5	1.2	10.91
M-140			SX01黒褐色土	めのう		素材剥片	2.9	2.3	1.4	16.10
M-141			SX01黒褐色土	めのう		素材剥片	1.8	1.9	1.2	5.66
M-142			SX01黒褐色土	めのう		素材剥片	1.9	2.0	1.3	6.19
M-143			SK01暗褐色土	めのう		素材剥片	2.2	1.9	1.2	7.85
M-144			SX01灰褐色土	めのう		素材剥片	2.0	1.9	2.0	10.52
M-145			SX01西茶褐色土	めのう		素材剥片	2.3	2.4	1.7	12.62
M-146			SX01黒褐色土	めのう		素材剥片	4.0	2.7	1.9	21.24
M-147			SX01灰褐色土	めのう		素材剥片	3.8	2.5	2.0	18.62
M-148			SX01茶褐色土	めのう		素材剥片	3.2	2.5	1.7	20.03
M-149			SX01黒褐色土	めのう		素材剥片	3.9	2.7	1.7	24.47
M-150			SX01灰褐色土	めのう		素材剥片	4.5	2.3	1.7	22.91
M-151			SX01掘削土中	めのう		素材剥片	5.4	2.7	2.6	34.81
M-152			SX01黒褐色土	めのう		素材剥片	4.6	3.8	1.6	36.85
M-153			SX01黒褐色土	めのう		素材剥片	2.0	1.8	0.7	4.37
M-154			SX01灰褐色土	めのう		素材剥片	3.8	1.4	1.6	9.34
M-155			SX01灰色土	めのう		素材剥片	3.6	3.0	2.3	28.04
M-156			SX01灰褐色土	めのう		素材剥片	4.8	2.9	1.9	32.57
M-157			SX01茶褐色土	めのう		素材剥片	3.2	3.0	2.8	22.53
M-158			SX01黒褐色土	めのう		素材剥片	2.6	1.8	1.4	9.24
M-159			SX01灰褐色粘質土	めのう		素材剥片	3.9	2.2	1.7	23.30
M-160			SX01灰褐色土	めのう		素材剥片	3.4	1.7	1.5	11.36
M-161			SX01黒褐色土	めのう		素材剥片	1.9	2.0	1.5	7.65
M-162			SX01黒褐色土	めのう		素材剥片	5.8	3.2	1.7	32.52
M-163			SX01黒褐色土	めのう		素材剥片	3.0	2.2	1.4	11.11
M-164			SX01黒褐色土	めのう		素材剥片	2.5	1.6	1.3	5.73
M-165			SX01黒褐色土	めのう		素材剥片	3.2	2.8	3.0	24.63
M-166			SX01黒褐色土	めのう		素材剥片	5.6	3.2	1.7	42.78
M-167			SX01灰褐色土	めのう		素材剥片	2.6	1.7	1.5	10.80
M-168			SX01黒褐色土	めのう		素材剥片	3.2	2.7	2.3	18.72
M-169			SX01黒褐色土	めのう		側面打裂(調整剥片)	2.4	1.9	1.7	8.81
M-170			SX01灰褐色土	めのう		側面打裂(調整剥片)	3.2	2.2	1.9	17.85
M-171			SX01灰褐色土	めのう		側面打裂(調整剥片)	2.8	2.0	1.3	8.89
M-172			SK01暗褐色土	めのう	勾玉	側面打裂(側面打製品)	3.2	2.7	1.6	20.13
M-173			SX01黒褐色土	めのう		側面打裂(調整剥片)	1.9	1.5	1.2	5.81
M-174			SX01黒褐色土	めのう		側面打裂(調整剥片)	3.1	1.6	1.1	6.39
M-175			SX01黒褐色土	めのう		側面打裂(調整剥片)	2.2	1.5	1.3	5.57
M-176			SX01灰褐色粘質土	めのう		側面打裂(調整剥片)	2.8	1.7	0.9	5.79
M-177			SX01灰褐色土	めのう		側面打裂(調整剥片)	2.6	1.8	1.0	6.77
M-178			SX01灰褐色土	めのう		側面打裂(調整剥片)	2.0	1.6	0.7	3.13
M-179			SX01灰褐色粘質土	めのう		側面打裂(調整剥片)	3.1	2.5	1.5	15.79
M-180			SX01黒褐色土	めのう		側面打裂(調整剥片)	4.9	2.8	1.1	16.19
M-181			SX01黒褐色土	めのう		側面打裂(調整剥片)	3.2	2.5	1.5	17.16
M-182			SX01黒褐色土	めのう		側面打裂(調整剥片)	4.8	3.9	1.8	45.53
M-183			SX01灰色土	めのう		側面打裂(調整剥片)	3.5	1.5	1.2	7.10

No.	挿図番号	図版番号	出土地点	石材	玉種類	工程	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)
M-184			SX01黒褐色土	めのう		側面打裂(調整剥片)	3.0	2.3	1.2	11.85
M-185			SX01黒褐色土	めのう		側面打裂(調整剥片)	1.8	1.8	1.1	5.40
M-186			SX01黒褐色土	めのう		側面打裂(調整剥片)	5.2	2.0	1.6	24.85
M-187			SX01灰色土	めのう		側面打裂(調整剥片)	4.5	2.2	1.1	19.93
M-188			SX01黒褐色土	めのう		側面打裂(調整剥片)	3.7	2.2	1.9	18.84
M-189			SX01黒褐色土	めのう		側面打裂(調整剥片)	2.3	2.2	1.3	9.20
M-190			SX01黒褐色土	めのう		側面打裂(調整剥片)	4.0	2.4	1.8	18.16
M-191			SX01黒褐色土	めのう		側面打裂(調整剥片)	2.9	2.1	2.0	12.88
M-192			SX01黒褐色土	めのう		側面打裂(調整剥片)	6.2	3.8	1.3	26.95
M-193			SX01灰褐色土	めのう		側面打裂(調整剥片)	3.0	2.5	1.0	11.01
M-194			SX01黒褐色土	めのう		側面打裂(調整剥片)	3.5	2.0	1.1	13.87
M-195			SX01淡灰褐色土	めのう		側面打裂(調整剥片)	3.1	3.2	1.8	23.07
M-196			SX01黒褐色土	めのう		側面打裂(調整剥片)	3.2	2.3	1.7	17.47
M-197			SX01黒褐色土	めのう		側面打裂(調整剥片)	3.4	2.3	1.6	18.95
M-198			SX01黒褐色土	めのう		側面打裂(調整剥片)	3.0	1.9	1.6	15.56
M-199			SX01黒褐色土	めのう		側面打裂(調整剥片)	5.8	4.3	1.4	47.59
M-200			SX01黒褐色土	めのう		側面打裂(調整剥片)	3.0	2.3	1.8	10.96
M-201			SX01黒褐色土	めのう		側面打裂(調整剥片)	2.4	1.8	1.0	6.62
M-202			SX01灰褐色土	めのう		側面打裂(調整剥片)	2.1	1.7	0.9	5.47
M-347			SK01暗褐色土	めのう	ハンマーか	石核	12.0	5.8	4.5	406.95
M-348			SK01暗褐色土	めのう		素材剥片	3.8	2.6	1.1	11.31
M-349			SK01暗褐色土	めのう		素材剥片	2.7	1.6	1.0	5.89
M-350			SK01暗褐色土	めのう	勾玉	側面打裂(側面打製品)	3.8	2.1	0.8	9.16
M-351	133-5	90	地山上暗褐色土	めのう		原材に近い石核	9.7	8.4	4.3	468.40
M-352			地表面採取	めのう		石核	6.1	4.5	2.2	93.42
M-353			地山上暗褐色土	めのう		石核	3.5	2.9	1.9	24.47
M-354			暗褐色土	めのう		石核	6.7	3.4	2.8	69.92
M-355			褐色土	めのう		石核	4.9	3.8	1.4	34.12
M-356			暗褐色土	めのう		石核	4.0	3.6	3.0	45.87
M-357			暗褐色土層一括	めのう		石核	5.2	4.2	2.0	49.02
M-358			灰褐色土	めのう		石核	4.3	4.3	1.7	45.92
M-359			灰褐色土	めのう		石核	4.3	3.5	2.6	40.61
M-360			掘削土中	めのう		石核	3.5	2.7	1.5	14.42
M-361			掘削土中	めのう		石核	5.1	4.1	2.0	41.29
M-362	133-4	90	暗褐色土	めのう		素材剥片	4.9	2.95	3.0	43.28
M-363			暗褐色土	めのう		素材剥片	3.1	2.3	1.9	20.54
M-364			灰褐色土	めのう		素材剥片	4.1	1.5	0.9	9.51
M-365			地山上暗褐色土層一括	めのう		素材剥片	4.1	1.7	1.6	14.37
M-366			掘削土中	めのう		素材剥片	3.2	2.5	0.9	9.81
M-367			暗褐色土層一括	めのう		素材剥片	3.3	2.4	2.5	20.58
M-368			掘削土中	めのう		素材剥片	3.0	1.1	1.1	5.10
M-369			掘削土中	めのう		素材剥片	3.6	2.1	1.6	13.68
M-370			掘削土中	めのう		素材剥片	3.6	1.6	1.3	9.61
M-371			灰褐色土	めのう		素材剥片	3.3	2.4	1.7	14.17
M-372			掘削土中	めのう		素材剥片	3.0	1.6	1.1	7.31
M-373			掘削土中	めのう		素材剥片	3.7	2.4	1.5	16.55
M-374			掘削土中	めのう		素材剥片	4.4	2.6	2.0	19.54
M-375			掘削土中	めのう		素材剥片	3.6	3.0	1.4	19.45
M-376			掘削土中	めのう		素材剥片	3.3	2.7	1.1	17.24
M-377			褐色土一括	めのう		素材剥片	3.5	2.8	1.2	14.42
M-378			灰褐色土一括	めのう		素材剥片	3.3	2.6	1.8	12.28
M-379			掘削土中	めのう		素材剥片	2.7	2.0	1.7	10.87
M-380			灰褐色土一括	めのう		素材剥片	5.5	2.5	1.0	17.95
M-381			木根攪乱土中	めのう		素材剥片	3.4	2.5	2.2	23.01
M-382			地山上暗褐色土層一括	めのう		素材剥片	4.1	2.8	2.7	41.37
M-383			灰褐色土	めのう		素材剥片	4.5	2.6	2.3	28.54
M-384			地山上暗褐色土	めのう		素材剥片	3.7	3.3	1.8	27.69
M-385			掘削土中	めのう		素材剥片	3.6	2.4	1.6	18.01
M-386	133-3	90	掘削土中	めのう		側面打裂(調整剥片)	4.0	2.4	1.4	13.58
M-387			SI01西斜面茶褐色土	めのう		側面打裂(調整剥片)	2.0	1.4	1.0	5.23

No.	挿図番号	図版番号	出土地点	石材	玉種類	工程	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)
M-388			暗褐色土	めのう		側面打裂(調整剥片)	2.4	1.2	0.8	4.67
M-389			表土下褐色土	めのう		側面打裂(調整剥片)	2.9	1.8	0.9	7.32
M-390			掘削土中	めのう		側面打裂(調整剥片)	3.0	2.2	1.3	11.00
M-391			掘削土中	めのう		側面打裂(調整剥片)	3.8	2.3	1.5	15.93
M-392			表土下褐色土	めのう		側面打裂(調整剥片)	3.3	2.3	1.2	10.71
M-393			褐色土一括	めのう		側面打裂(調整剥片)	1.8	1.9	1.2	6.49
M-394			掘削土中	めのう		側面打裂(調整剥片)	2.5	1.8	1.1	7.37
M-395			掘削土中	めのう		側面打裂(調整剥片)	2.8	2.1	1.3	11.31
M-396			灰褐色土	めのう		側面打裂(調整剥片)	1.7	1.3	1.1	3.73
M-397			掘削土中	めのう		側面打裂(調整剥片)	2.2	1.4	0.9	3.09
M-398			暗褐色土	めのう		側面打裂(調整剥片)	3.5	2.2	1.5	18.25
M-399			SX01横断ベルト暗褐色砂質土	めのう		側面打裂(調整剥片)	4.3	3.2	2.0	35.45
M-400			表土下褐色土	めのう		側面打裂(調整剥片)	2.4	1.6	1.2	6.19
M-401			灰褐色土層一括	めのう		側面打裂(調整剥片)	2.0	1.6	1.3	5.57
M-402			灰褐色土	めのう		側面打裂(調整剥片)	2.0	1.6	1.2	6.33
M-403			掘削土中	めのう		側面打裂(調整剥片)	3.8	2.4	1.2	12.07
M-404			灰褐色土	めのう		側面打裂(調整剥片)	3.6	2.8	1.6	17.65
M-405			地山上暗褐色土層一括	めのう		側面打裂(調整剥片)	2.6	2.2	1.5	11.55
M-406			地山上暗褐色土	めのう	勾玉	側面打裂(側面打製品)	1.5	1.7	0.5	2.26
M-407			灰褐色土	めのう		側面打裂(調整剥片)	2.7	2.2	1.3	11.04
M-408			灰褐色土	めのう		側面打裂(調整剥片)	3.5	1.8	1.7	13.61
M-409			灰褐色土	めのう		側面打裂(調整剥片)	3.4	2.5	2.1	22.59
M-410			SX01灰色土	めのう		側面打裂(調整剥片)	2.0	1.3	1.2	4.22
M-411			暗褐色土	めのう		側面打裂(調整剥片)	2.5	2.3	1.7	13.20
M-412			地山上暗褐色土層一括	めのう		側面打裂(調整剥片)	4.1	3.0	1.4	25.11
M-413			灰褐色土層一括	めのう		側面打裂(調整剥片)	3.0	1.9	1.4	10.05
M-414	133-1	90	SX01茶褐色土	めのう	丸玉	側面打裂(側面打製品)	2.1	1.7	1.3	6.16
M-415	133-2	90	SX01灰色土	めのう	勾玉	側面打裂(側面打製品)	3.1	2.0	1.4	11.42

合計　186点(剥片を除く)

杉谷遺跡　包含層出土　水晶　(剥片を除く)

No.	挿図番号	図版番号	出土地点	石材	玉種類	工程	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)
S-94			SD01灰褐色土	水晶		素材剥片	3.8	2.5	1.9	24.14
S-98			SX01灰褐色粘質土	水晶		石核	4.0	3.2	2.5	30.45
S-99			SX01灰褐色土	水晶		石核	5.1	4.1	3.8	94.73
S-100			SX01黒褐色土	水晶		素材剥片	1.9	1.9	1.1	6.22
S-101			SX01黒褐色土	水晶		側面打裂(調整剥片)	2.0	1.6	0.8	3.65
S-102			SX01灰褐色土	水晶		側面打裂(調整剥片)	2.0	1.5	1.6	4.54
S-103			SX01黒褐色土	水晶		側面打裂(調整剥片)	2.1	1.9	1.5	9.58
S-104			SX01灰色土	水晶		側面打裂(調整剥片)	1.9	1.5	1.0	4.22
S-105			SX01黒褐色土	水晶		側面打裂(調整剥片)	3.4	1.8	1.5	10.91
S-120	134-6	91	暗褐色土	水晶		原材	8.5	6.7	5.1	316.54
S-121	134-5		地山上暗褐色土層一括	水晶		原材か	4.4	2.5	1.7	22.09
S-122			暗褐色土	水晶		原材	4.4	2.8	1.7	30.23
S-123			地山上暗褐色土層	水晶		原材	4.4	2.4	2.4	28.23
S-124	134-4	91	SX01東方攪乱土中	水晶		石核	6.5	4.7	3.4	124.27
S-125	134-3	91	暗褐色土	水晶		素材剥片	2.1	1.6	1.1	4.45
S-126	134-2	91	暗褐色土層一括	水晶	勾玉か	側面打裂(調整剥片)	2.7	4.4	1.7	22.29
S-127			表土下褐色土	水晶		側面打裂(調整剥片)	2.5	2.0	1.3	6.58
S-128			暗褐色土	水晶		側面打裂(調整剥片)	2.6	2.1	1.3	6.79
S-129			淡灰褐色土(SI01下方)	水晶		側面打裂(調整剥片)	1.5	1.3	0.9	2.66
S-130			褐色土一括	水晶		側面打裂(調整剥片)	2.5	1.8	1.3	5.94
S-131			地山上暗褐色土層一括	水晶		側面打裂(調整剥片)	3.1	1.9	1.8	10.25
S-132	134-1	91	灰褐色土	水晶		敲打整形品	2.7	2.9	0.95	6.75

合計　22点(剥片を除く)

杉谷遺跡　包含層出土　川原石

No.	挿図番号	図版番号	出土地点	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)
K-6			SX01黒褐色土	3.5	3.3	0.7	9.54
K-7			SX01黒褐色土	1.5	1.4	0.4	1.24
K-8			SX01黒褐色土	6.0	4.6	4.4	168.24
K-9			SX01黒褐色土	6.0	3.6	1.6	53.36
K-10			暗褐色土層一括	6.2	3.6	2.6	86.59
K-11			掘削土中	5.5	3.4	2.5	67.83
K-12			暗褐色土層一括	1.7	1.4	0.6	2.31

合計　7点

杉谷遺跡　包含層出土　砥石

No.	挿図番号	図版番号	出土地点	石材	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)
T-4			表土中	結晶片岩か	3.6	2.6	0.7	8.24
T-5			灰褐色土	結晶片岩か	1.9	1.4	0.5	2.05

合計　2点

第3節　小　結

今回の調査成果と課題について要点を整理し若干の所見を述べてまとめにかえる。

＜玉作関係資料について＞(註1)

調査の結果、竪穴建物跡と推定されるSI01は、古墳時代中期後葉、定型化須恵器出現期頃の玉作工房である蓋然性が極めて高いことが明らかとなった。前節でも述べたが、出土遺物からすると、少なくとも次のような玉作の様相が伺える。

まず、玉の石材として、碧玉、瑪瑙、水晶、滑石を使用していたことがわかる。ただし、この使用量には顕著な差があり、SI01付近出土の未成品、剥片の石材重量を比較すると、碧玉が全体の約90％と他を圧倒し、瑪瑙が約５％、水晶が約2.5％、滑石と川原石がそれぞれ１％以下とごく少量の値を示している。遺構、遺物の残存状況を加味すれば、この値が直ちに古墳時代中期の一玉作工房における石材使用量の割合を表象するものとは断言できないが、少なくとも碧玉の優位性には揺るぎが無いものと推察される。

次に、未成品から推定される玉製品の種類としては、碧玉製勾玉５・管玉15、瑪瑙製勾玉３、水晶製丸玉１の製作意図が看取された。偶然遺跡周辺に残存した限定的な資料から類推するには自ずと限界はあるが、一つの傾向を示す成果として留意すべきであろう。

出土資料の質量に制約があり、各石材、各玉の種類に応じた玉の製作工程の全容は明らかにすることはできなかった。しかし、未成品を観察する限り、従来考察されてきた古墳時代の碧玉・瑪瑙・水晶製玉類の製作工程と大いに相違する技術や工程を示唆する資料は認められなかった。このことは、少数ながら出土した砥石類についても同様で、いずれも該期の玉作遺跡に普遍的に認められる材質、形状、大きさからなるものであった。

なお、いわゆる穿孔や仕上げの工程を示唆する未成品が皆無であったことにも一応注意を払っておきたい。また、砥石を除く、錐状の鉄器など玉作関係の工具らしき遺物も検出されなかった。こ

れが、当工房の分担された機能を示すものか否かは、遺構・遺物の残存状況に資料上の大きな制約があるので現状では判断はしかねる。今後、類例の増加を待って検討すべき課題といえる。

さて、こうした当遺跡の玉作工房の様相を、これまでに知られる出雲地方のそれと比較検討してみよう。

出雲地方の古墳時代の玉生産については、米田克彦氏の最新の研究成果[註2]がある。米田氏の研究成果によれば、当遺跡と同じ古墳時代中期後葉頃の玉作遺跡としては、安来市の大原遺跡、平ラⅡ遺跡、柳Ⅱ遺跡、玉湯町の忌部中島遺跡、松江市の福富Ⅰ遺跡等があげられる。

このうち、当遺跡と時期的にも地理的にも最も近いのが、福富Ⅰ遺跡の玉作工房跡である。この遺跡で検出された石材には当遺跡と全く同種類のものが認められる。また、玉の種類の組成を見ると、水晶製の管玉・勾玉、滑石製の臼玉が認められる点が異なるほかは同じである。共伴した砥石や川原石とおぼしき小石も類似点といえる。

また、当遺跡出土の勾玉未成品については、米田氏が勾玉の製作技術の比較で指摘した「花仙山周辺地域では勾玉は石材に関係なく、側面打裂工程において半月形に製形するという点で共通している」[註3]との見解に合致する状況を示した。

他遺跡との詳細な検討は今後の大きな課題であるが、今のところSI01玉作工房の様相は、総じて当該期の玉作遺跡とほぼ同様の傾向を示すものと位置付けて大過ないものと予察される。

＜後期旧石器時代の湧別技法関連資料について＞[註4]

報告のとおり、当遺跡から出土した明らかに湧別技法に関連すると思われる資料は、細石刃1点、削片１点、削片の可能性のある石器１点の計３点である。

湧別技法とは、言うまでもなく旧石器時代末期頃、北海道から東北地方にかけてみられる特徴的な細石刃を取るための石器製作技術である。まず、丁寧に木の葉に形作った母形（両面加工石器）を作り、その一端から細長い削片を剥ぎ取って船底形細石核の甲板面を設け、そこを打面として、垂直方向に連続的に細石刃を剥ぎ取る技法をいう。

この種の両面加工石器の一端から削片を剥いで、細石刃を剥ぎ取る技術は、国内のみならずシベリアや中国華北など、ユーラシア大陸北部に広がっており、北海道を経由しつつ本州に伝わってきた北方系の技術と考えられている。

こうした技術の一端が、当遺跡の出土石器から看取られたことの旧石器時代研究における意義は大きい。

まず一つには、従来から知られていた松江市上立遺跡出土の東北産と推定される頁岩製掻器など出雲地方と東北地方との交流を裏付ける資料がさらに補強され、当該期における交流の様相がより明確になったことがあげられる。

もう一つは、湧別技法の西日本への波及が、山陰地方とりわけ出雲地方を一つの中継基点としている可能性が高まったことがあげられる。

従来、旧石器時代末期には、日本では大きく東北日本と西南日本では石器の様相が異なるとされてきた。そうした中で湧別技法に代表される東北日本の要素が、断片的ながら、西日本各地で確認されてきており、北方系の細石刃文化の波及が徐々に明らかにされつつある。

特に中国山間地の岡山県恩原遺跡では、まとまった、湧別技法資料や東北日本に特有の石器、東

北産と推定される頁岩製石器などが出土しており、当該期における東北地方からの人間の直接的な移動が想定されている。恩原遺跡では、湧別技法に関する石器の大部分が当時の石材としてはマイナーな玉髄・瑪瑙で制作されており、東北地方から到来した人間が故地で主に使用していた石材、頁岩の代用として、性質の類似する玉髄系の石材を意図的に選択したこと、玉髄系石材を多く産出する出雲地方がその供給地である可能性が高いことが指摘されてきた。また、数少ない西日本での湧別技法関連資料に玉髄系の石材が顕著に見られることなどもその傍証とされてきた。

当遺跡出土の湧別技法関連資料は、こうした予察をさらに裏付けるもので、旧石器時代末期頃、東北地方から到来した人間達が、出雲地方を基点に西日本各地へと広がっていった可能性さえも物語る重要な資料といえる。

（註）

1．玉作関係資料の分類については、柳浦 俊一氏の御教示を得た。

2．米田克彦「出雲における古墳時代の玉生産」『島根考古学会誌』第15集（1998年）

3．（註）2に同じ

4．旧石器の分類、図化については、丹羽野 裕氏の御教示、御協力を得た。また湧別技法関連資料の当地域における位置づけを把握するため、主に下記文献を参考にした。

・丹羽野 裕「島根県における旧石器時代研究の現状と課題―宍道湖周辺を中心に―」『島根考古学会誌』8（1991年）

・稲田孝司・絹川一徳・光石鳴巳「西日本の湧別技法」『岡山大学文学部紀要』第18号（1992年）

・竹広文明・丹羽野 裕「後期旧石器時代の中・四国地方における地域性」『考古学ジャーナル』370（1994年）

・稲田孝司　編『恩原遺跡―旧石器人の生活跡をさぐる―』（恩原遺跡発掘調査団・上斎原村教育委員会）（1988年）

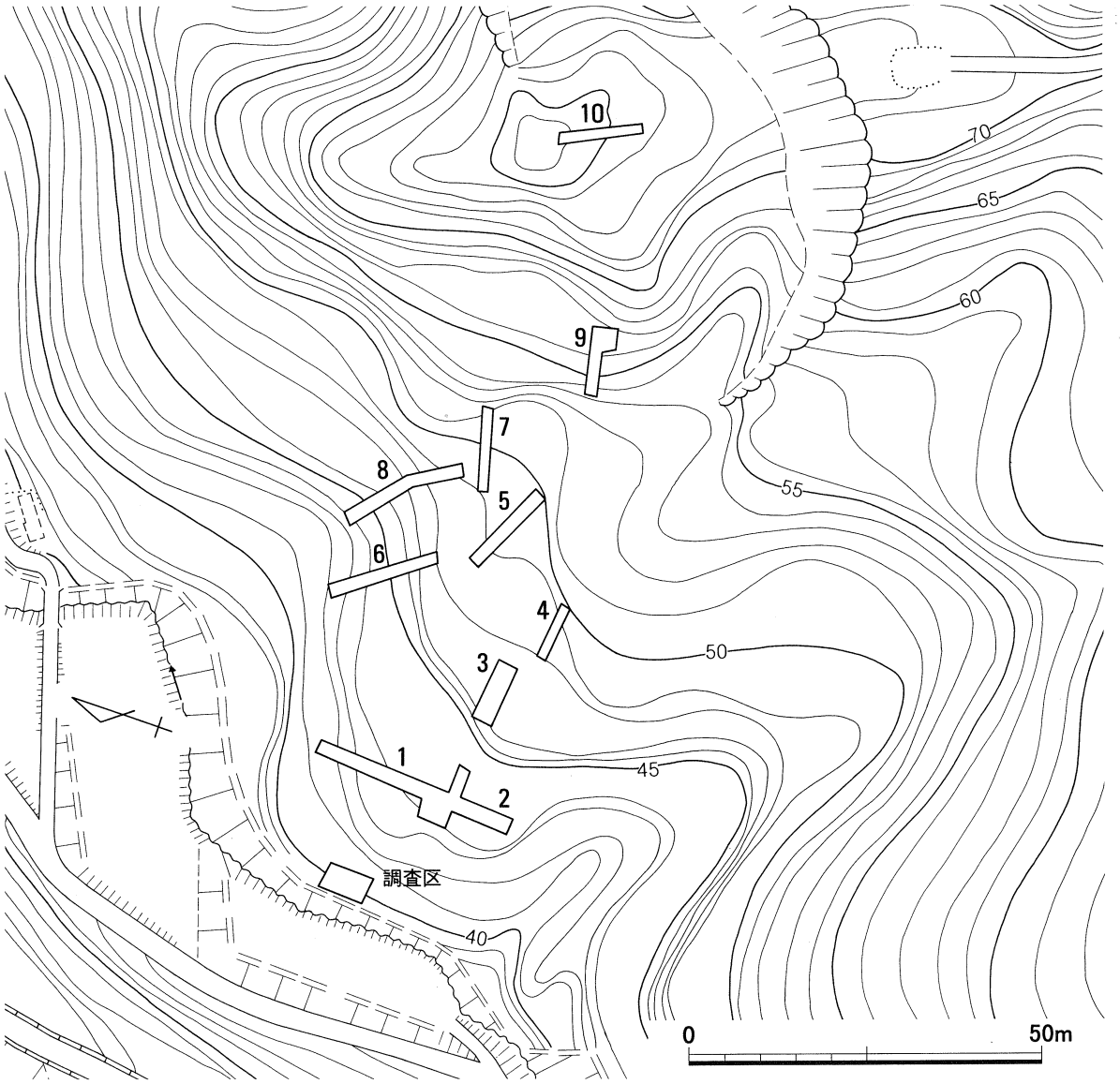
・稲田孝司　編『恩原2遺跡』（岡山大学文学部考古学研究室）（1996年）

第１０章　室山遺跡

第１節　位置と調査の概要

室山遺跡は八束郡玉湯町林村2056-8番地外に所在する。ここは玉湯町の南西部に聳える標高159ｍの室山から宍道湖方向に伸びている丘陵先端部西斜面に位置している。遺跡の前方には狭長な谷があり、本郷川を挟んで岩木原神社が存在する。また、この谷の西側丘陵には著名な林古墳群をはじめ頼清寺裏古墳群、マコモ谷古墳群等があり、東側丘陵には椎ノ木谷古墳群、中倉古墳群、小畑古墳群等、数多くの古墳の存在が知られている。この地は出雲地方の中でも前方後円墳を含む古墳群が密集している地域として注目されているところである。

室山遺跡は標高40ｍ～60ｍの緩やかな尾根状の斜面に広がっているもので、かって水田があり稲作を行っていたが地滑りのため現在は荒れ地となっている。調査はまず遺跡の範囲、性格を把握するため平成９年５月６日から10本あまりのトレンチを設置して試掘調査を行った。その結果、弥生



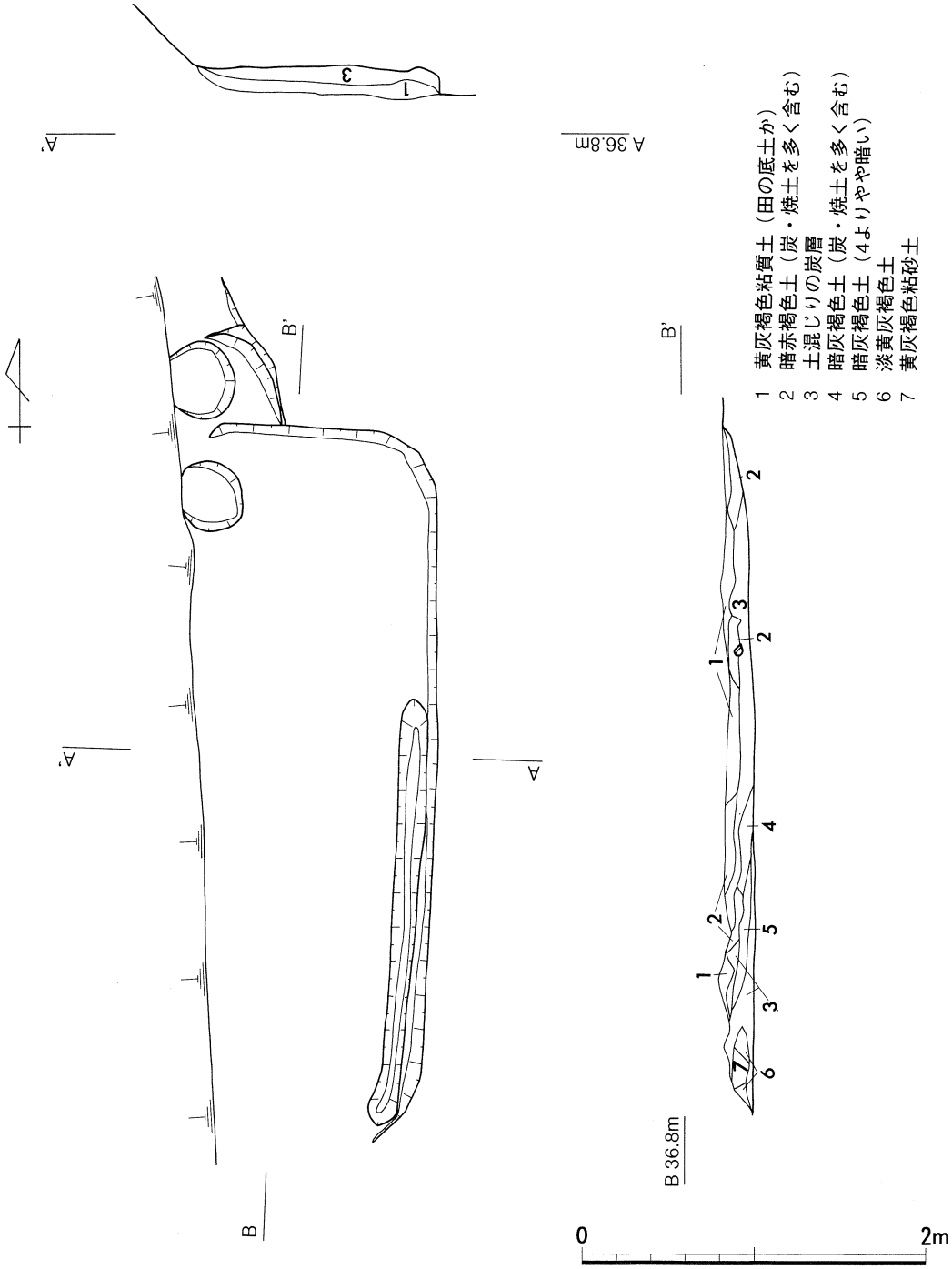
第136図　調査区配置図

時代及び古墳時代の土器片が10数点見つかった。しかし、これらの土器は小破片で磨滅しているものが多いことや、このあたりの地形が開墾と地滑りでかなり変形していることなどから遺構は残っていないものと判断した。ところが、試掘調査終了後、遺跡の西端にある水田の山手側斜面から遺構らしき落ち込みが見つかったので、その部分の本調査を実施することとなった。そして古墳時代の竪穴住居跡１棟を検出して６月９日に調査を終了した。

第２節　検出した遺構

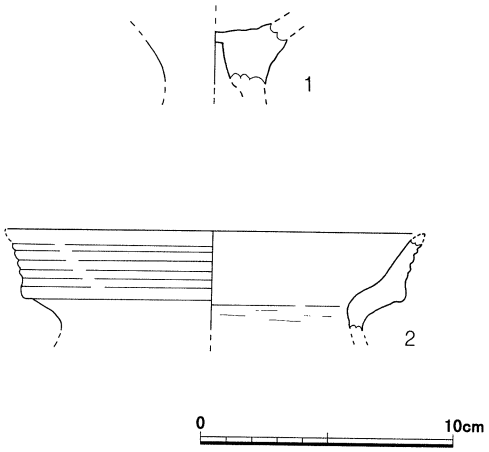
竪穴住居跡

この竪穴住居跡は室山遺跡西側の新しく造り直された水田と接する斜面に落ち込みが露出していたもので、遺構の大部分は開墾のため破壊され、わずかに山寄りのところに住居跡の痕跡が辛うじ



第137図　竪穴住居跡実測図

て残っていた。遺構の残存規模は南北4.14m、東西1.2mで、西側が水田のため削り取られている。残っていた北東隅や壁の平面形からこの竪穴住居跡は一辺4mあまりの隅丸方形を呈していたものと思われる。壁体溝は幅18cm、深さ5cm～8cmあまりで、長辺壁の南側に2.5mにわたって残存していた。壁は南及び西側が上面を削り取られて自然消滅していたが、最も残りが良かった北東隅で20cmあまりの高さがあった。柱跡は築造時の東西壁のほぼ中央付近に径約40cmの柱穴と思われるものを検出した。南側の柱があるところはすでに削り取られているが、北東隅あたりで柱穴が見つからなかったことから本来2本の主柱の構造を持つものと推測される。この建物跡で注目されるのが床面の直上に10cm～18cmにわたって木炭層が存在していたことである。この層の上下には焼け土を含む土層があり、南側の床面を埋めた後北側を埋めていることが層序で確認できた。しかし、床面から焼けた痕跡を見つけることができず、付近にもそのようなものを発見できなかったので、木炭層の性格は不明である。出土遺物としては焼土の中から古墳時代中期の高坏片と弥生時代後期の甕片2点が見つかった。なお、東西壁の西側は、段状遺構を切って造られているが、この段状遺構は径40cmの柱穴を伴っていることから竪穴住居跡になる可能性がある。



第138図　出土遺物実測図

第3節　出土遺物（第138図）

1は古墳時代中期の高坏脚部上方の土師器片である。脚基部の径4.0cmを計り、脚から坏部にかけては外反している。脚内側の中心には小孔が見られ、焼成はやや軟質である。色調は淡い褐色を呈しており、胎土は良好で、器面の調整は風化のため不明。2は弥生時代後期の甕の破片で、口径16.5cmあまりを計る。口縁部はいわゆる二重口縁で、やや外傾しており、その幅約2.6cmを計る。5本あまりの疑凹線が廻っていて先端に行くほど厚みが薄くなっている。頚部の内側にはケズリ、外側には横ナデがそれぞれ施されいる。色調はやや赤みがかった褐色を呈し、焼成は充分である。

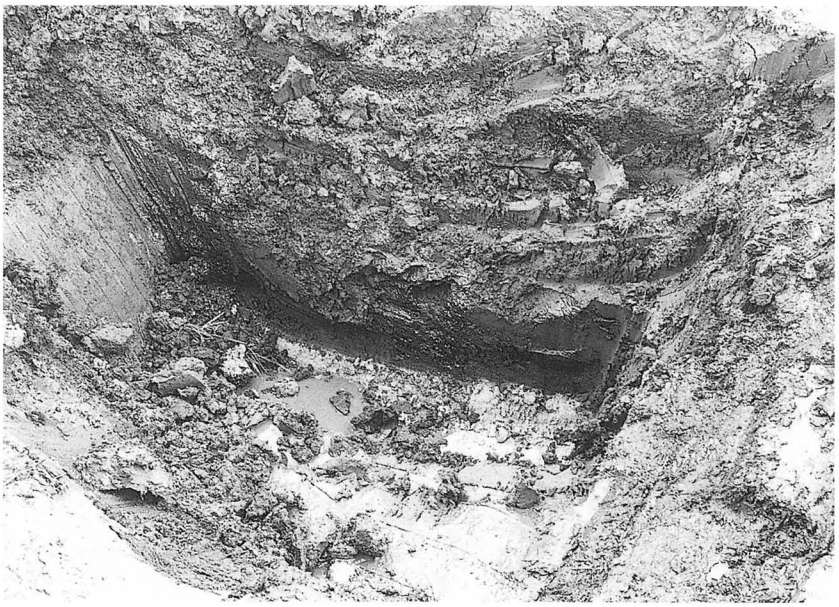
第4節　まとめ

今回の調査では開墾と地滑りによって地形が変形しているところが多かったため、遺構としてはわずかに半壊された住居跡1棟を検出したのみであった。この建物跡は一片約4mあまりの隅丸方形を呈した竪穴住居跡で、主柱が二本という珍しい構造を持っていた。築造された時期は床面から土器が出土しなかったので明確ではないが、竪穴住居跡の形態及び埋土中から発見した土器片等から考えて古墳時代中期～後期になるものと思われる。また、床面の上に堆積していた多量の木炭は床面に焼けた痕跡がないことや土層の層序から人為的に他から持ち込んで埋められていたことが判明した。この木炭は何を意味するものか今後の検討が必要である。室山遺跡が存在している林本郷地区では林古墳群等、前方後円墳を含む古墳群が数多く造られているが、これらの古墳とほぼ同じ時期の住居跡が今回の調査ではじめて発見されたことは、この地域の古墳文化の実態を知る手掛かりになるものと思われる。

写 真 図 版

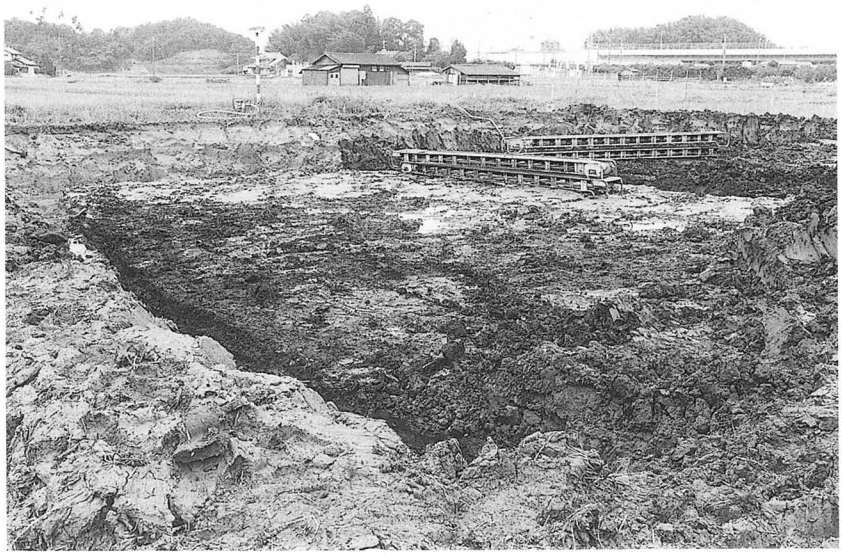
茂芳目遺跡
調査前全景
（東から）

茂芳目遺跡
重機掘削風景



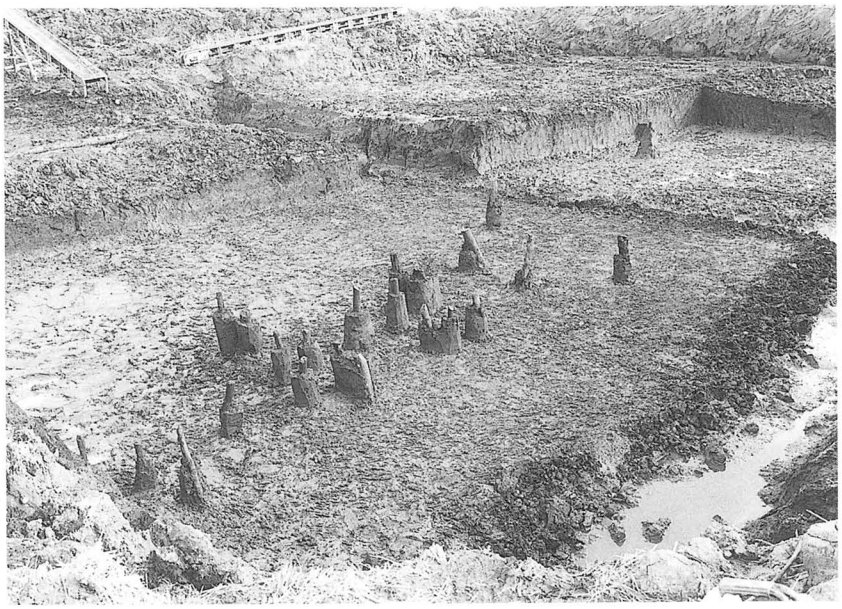
茂芳目遺跡
重機掘削状況

図版2

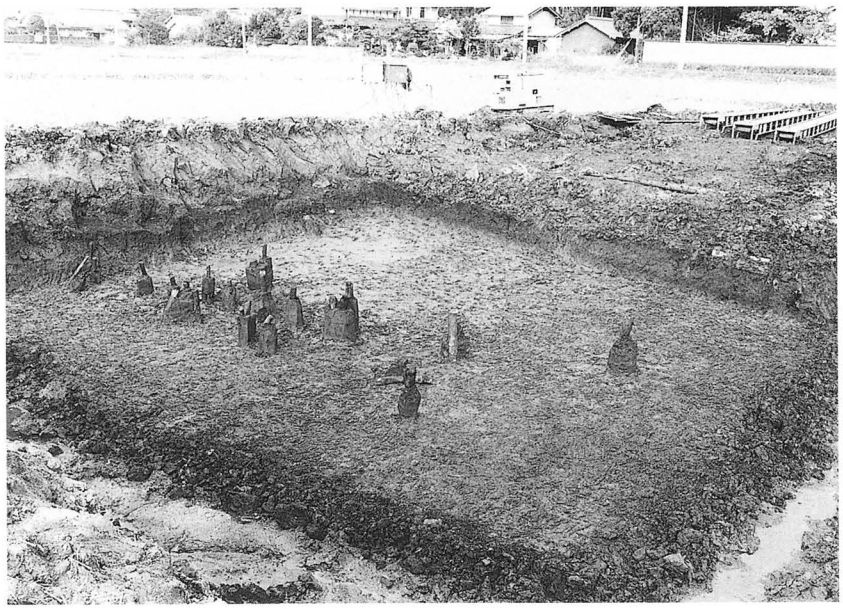


茂芳目遺跡
掘削状況（途中）
（南東から）

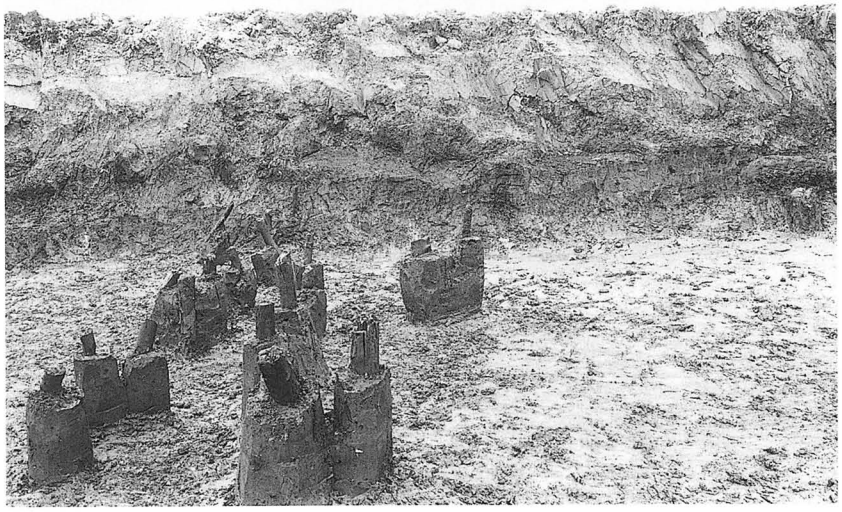
茂芳目遺跡
杭列状遺構近景（1）
（南から）



茂芳目遺跡
杭列状遺構近景（2）
（北西から）



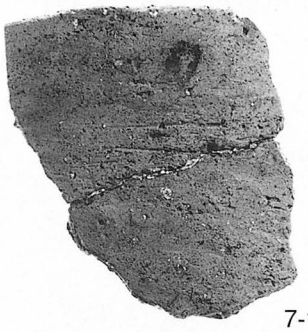
茂芳目遺跡
杭列状遺構近景（3）
（南西から）



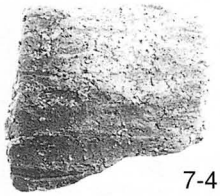
茂芳目遺跡
Ⅰ区北壁土層断面と
杭列状遺構近景
（南から）

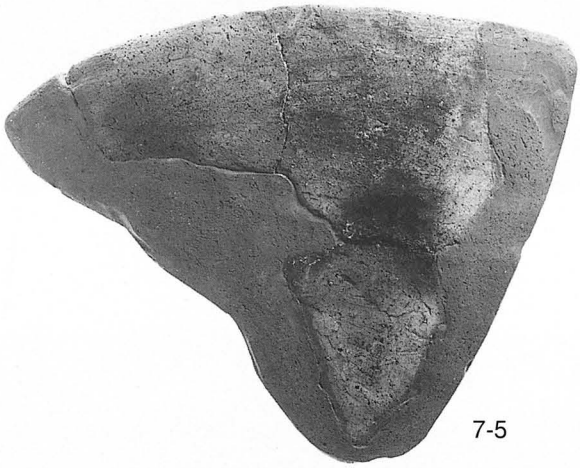
茂芳目遺跡
杭出土状況近景

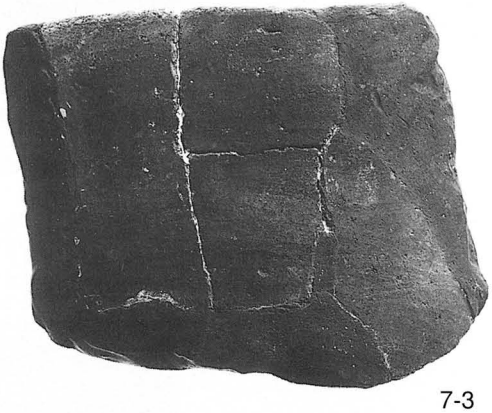
図版4

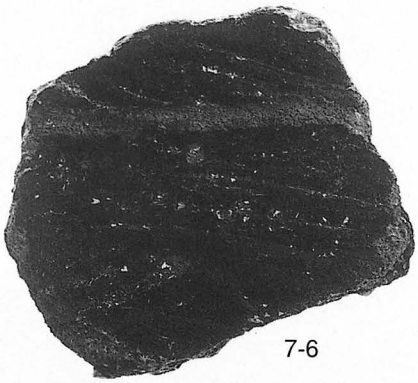

7-1

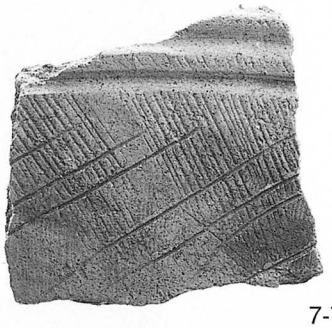
7-2

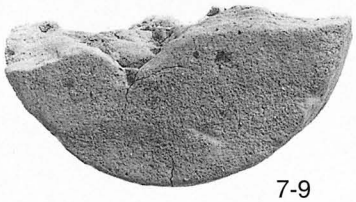

7-4

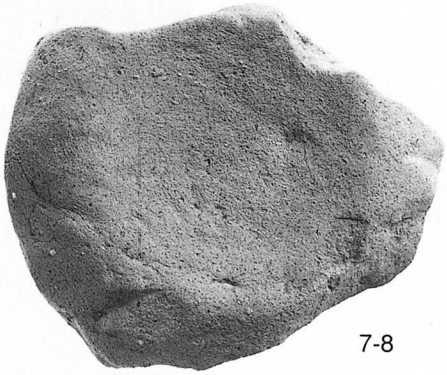

7-5


7-3


7-6


7-7


7-9

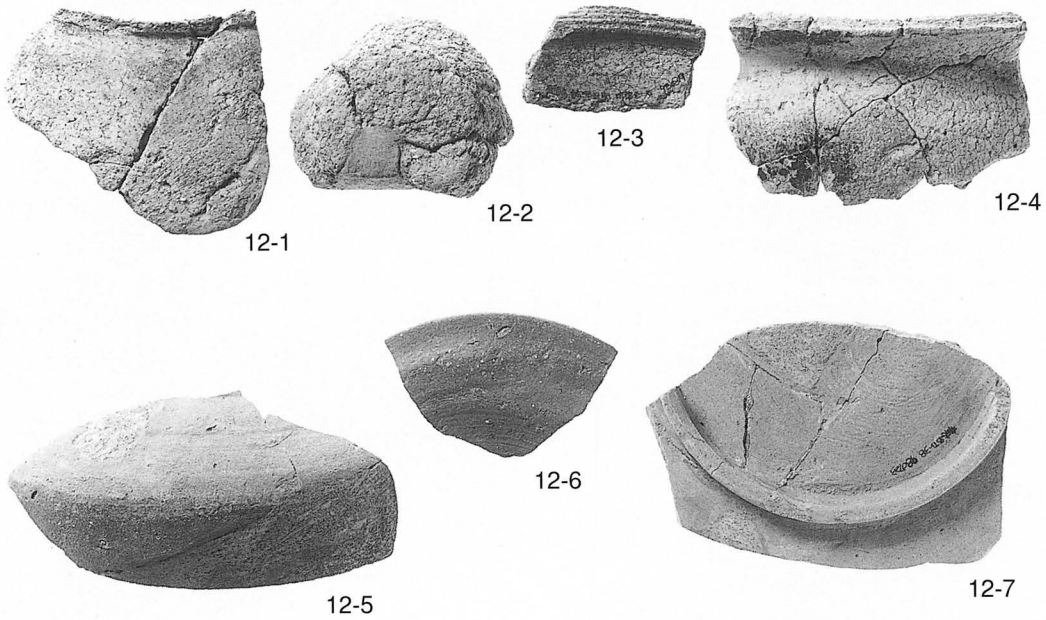

7-8

茂芳目遺跡　出土土器類

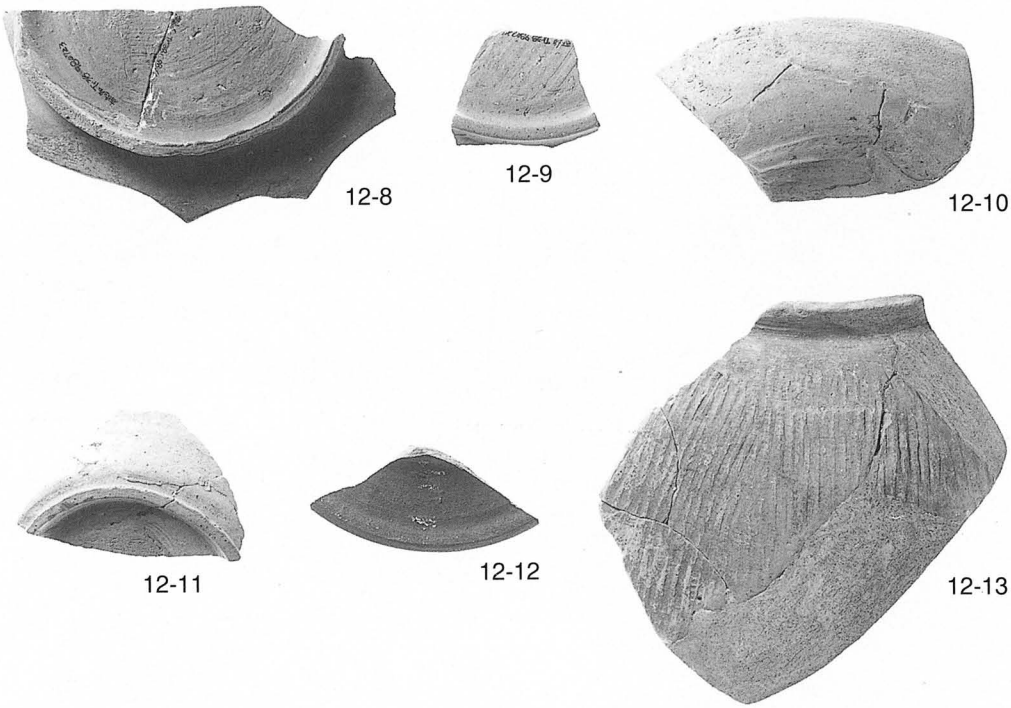
布志名遺跡調査後全景（南西から）

布志名遺跡　遺構検出状況（東から）

図版6

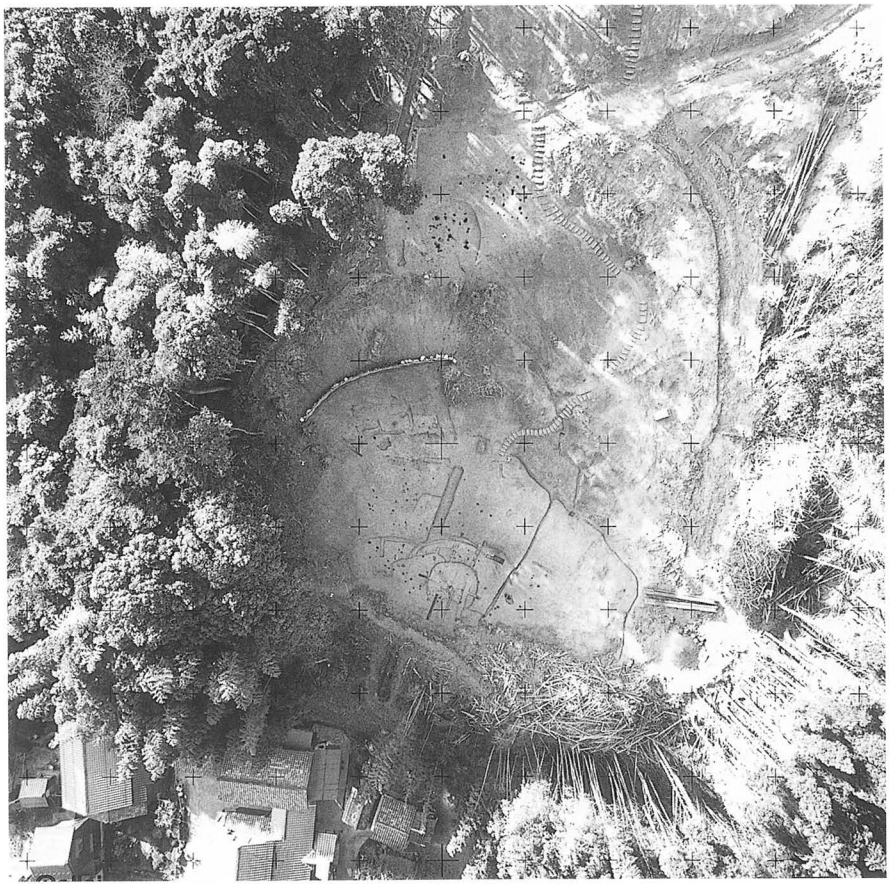


布志名遺跡　出土遺物



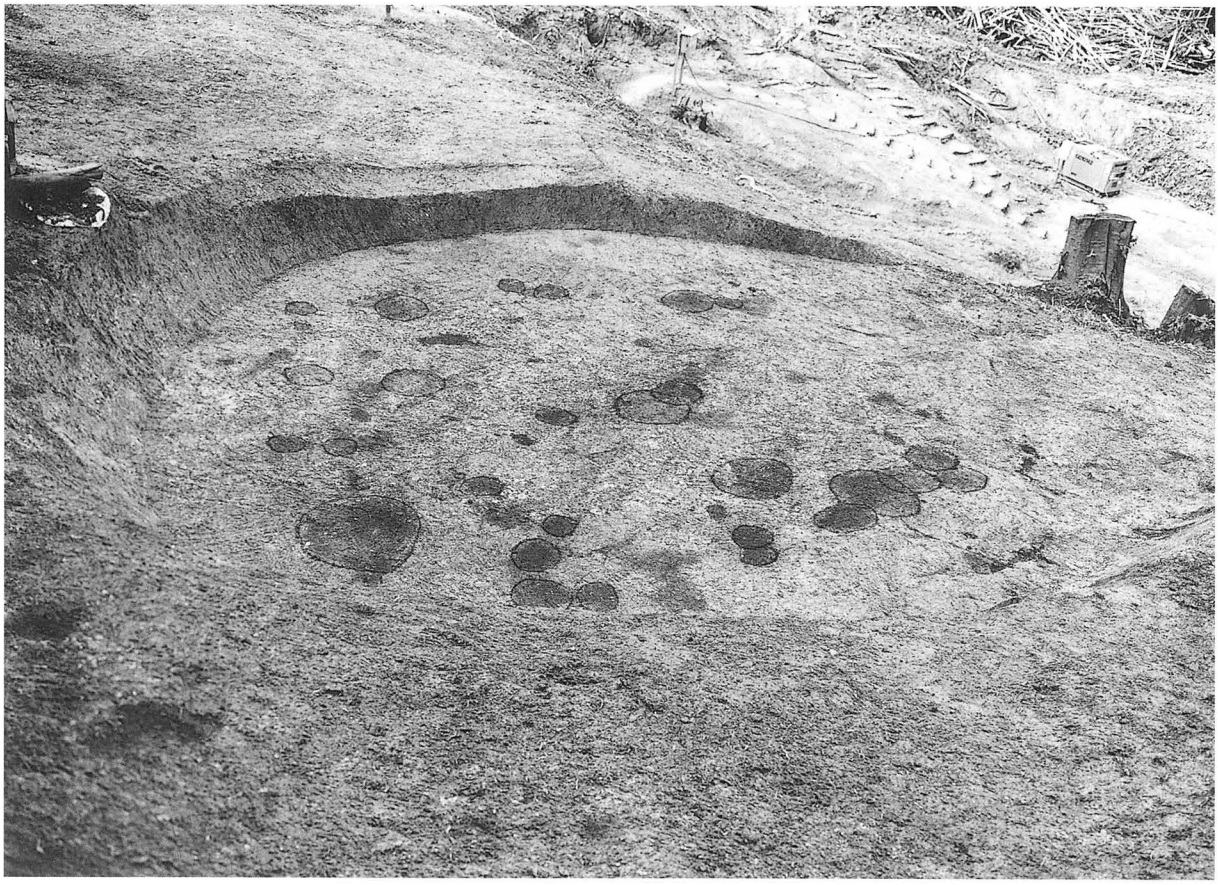
布志名遺跡　出土遺物

大堤Ⅱ遺跡　全景（上空から）

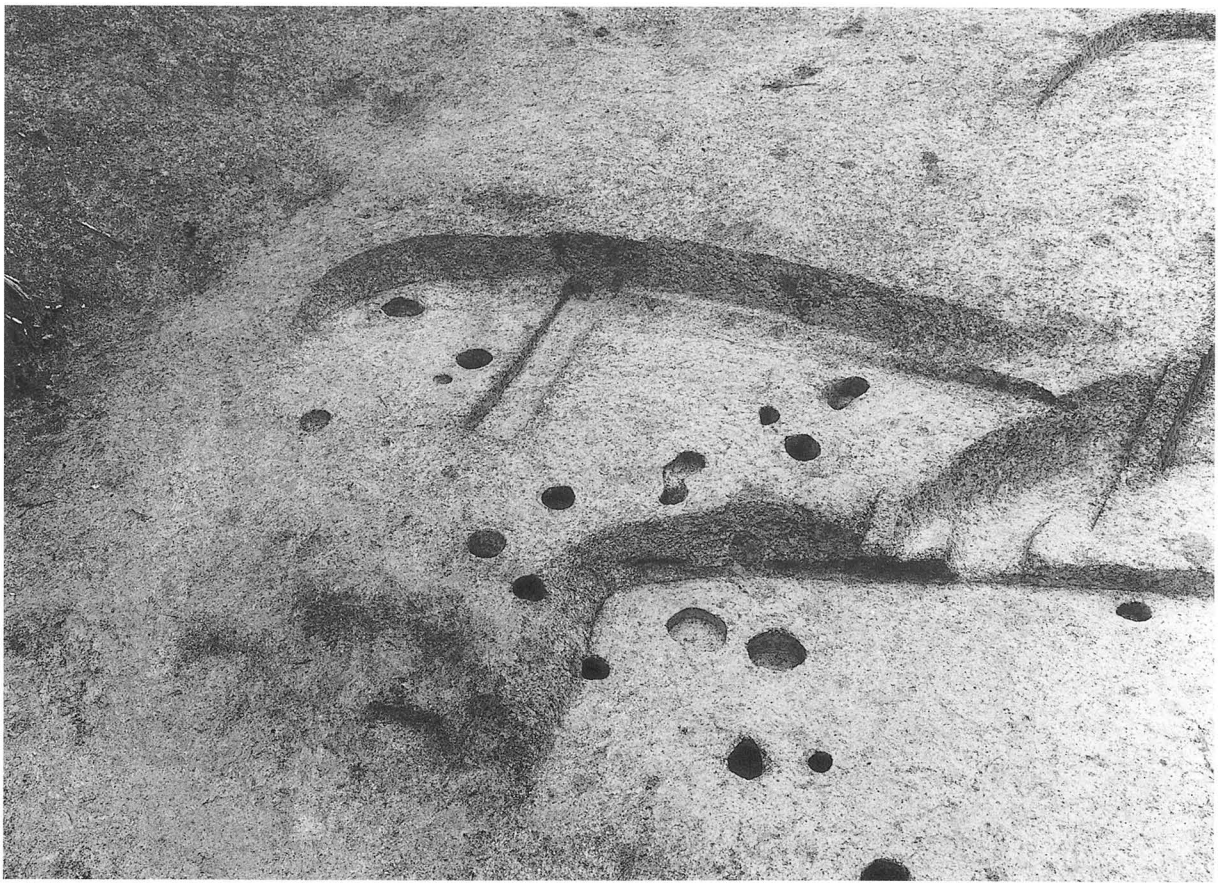


大堤Ⅱ遺跡　1区全景（上空から）

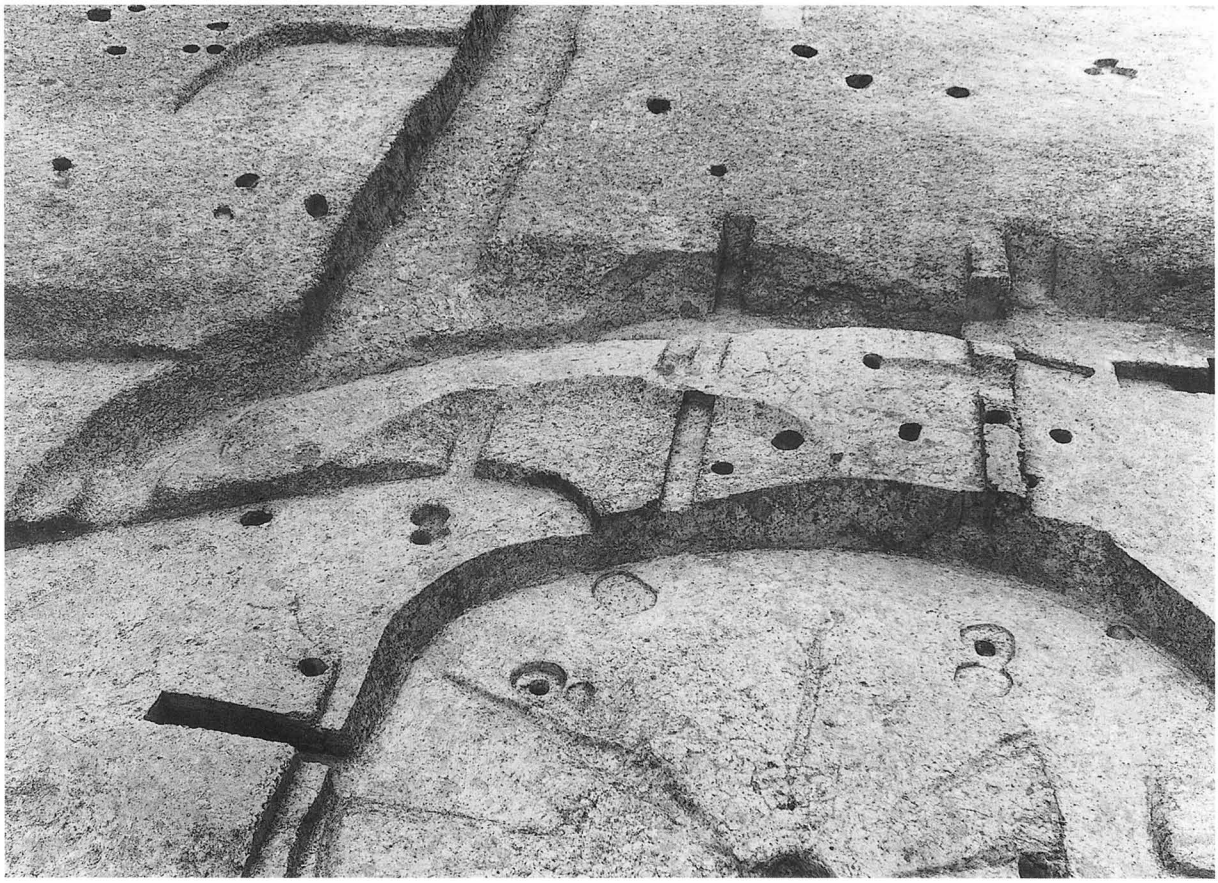
図版8



大堤Ⅱ遺跡　1区　SI01（ピット検出状況）（南から）



大堤Ⅱ遺跡　1区　SI01（調査後）（南西から）

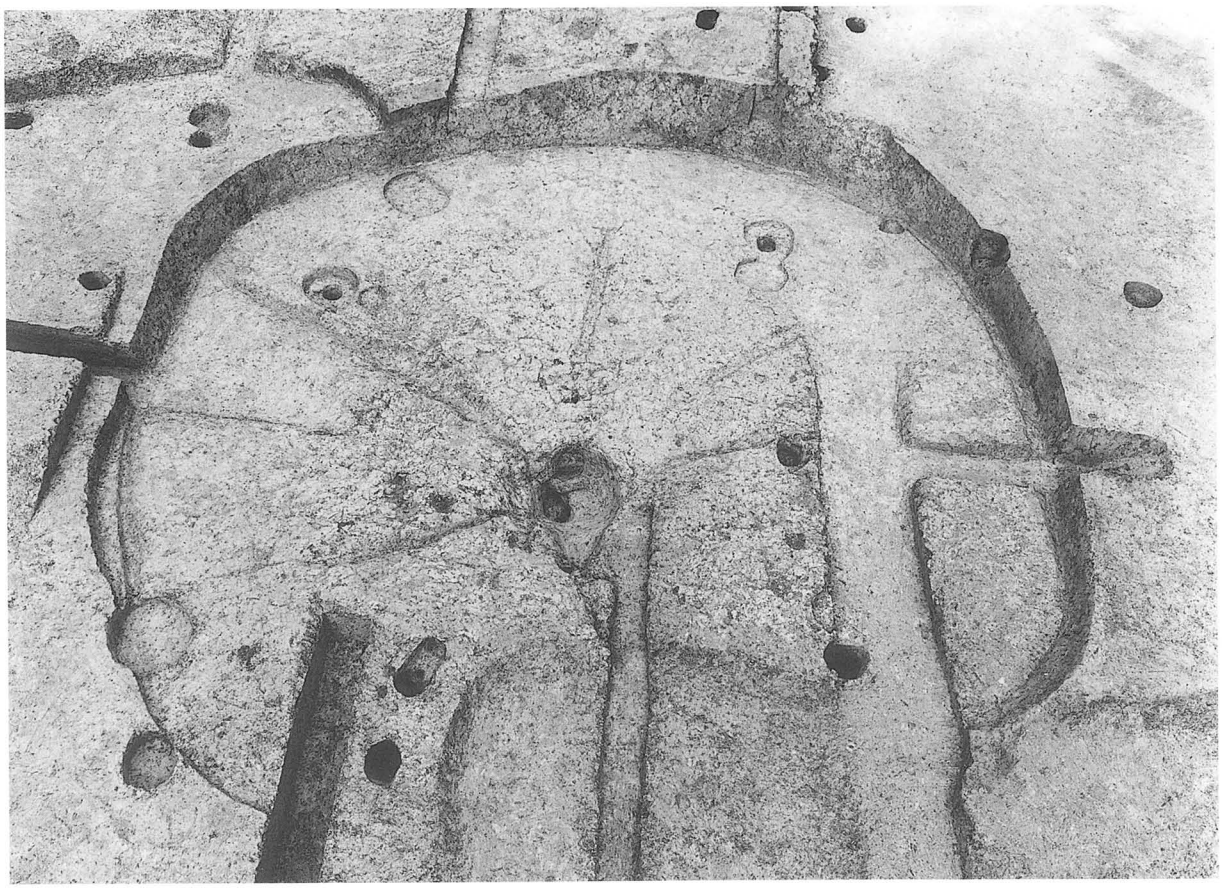


大堤Ⅱ遺跡　1区　SI06・SD02（東から）

大堤Ⅱ遺跡　1区　SD02（土層）

図版10

大堤Ⅱ遺跡　1区　SI06（遺物・炭化物出土状況）（東から）



大堤Ⅱ遺跡　1区　SI06（調査後）

大堤Ⅱ遺跡　1区　SI04・SI05（東から）

大堤Ⅱ遺跡　1区　加工段1（北東から）

図版12

大堤Ⅱ遺跡　2区　1号墳（調査前）（南東から）

大堤Ⅱ遺跡　2区　1号墳　SX01

大堤Ⅱ遺跡　2区　2号墳・SI01（調査前）（東から）

大堤Ⅱ遺跡　2区　2号墳（表土除去後）

大堤Ⅱ遺跡　2区　2号墳

大堤Ⅱ遺跡　2区　2号墳（土層）

大堤Ⅱ遺跡　2区　SI01（調査後）

大堤Ⅱ遺跡　2区　SI01（遺物出土状況）